令　和　７　年　度

（2025年度）

学　生　募　集　要　項

（学校推薦型選抜）

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

令和６年９月

目　　次

令和７年度学校推薦型選抜の主な変更点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
学校推薦型選抜Ⅱ（経済学部以外の学部）における
旧教育課程履修者に対する経過措置について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
１．アドミッション・ポリシー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
２．実施日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
３．募集人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
４．出願要件・選抜方法等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
（実施教科・科目等及び配点） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
５．出願手続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
６．障がい等のある入学志願者との事前相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
７．長期履修制度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
８．受験票の印刷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
９．大学入学共通テスト成績請求票の提出(学校推薦型選抜Ⅱ志願者のみ)・・・・ 56
10．試験日時・試験場 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
11．試験場までの交通機関 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
12．受験に際しての注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
13．不正行為について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
14．選抜結果の発送 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
15．入学手続等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
16．学生寮への入居(多文化社会学部へ入学する者) ・・・・・・・・・・・・・・・ 63
17．学校推薦型選抜志願者の一般選抜への出願 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
18．問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
19．個人情報の取扱 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
20．安全保障輸出管理について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
21．入試情報の提供
（１）個人成績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
（２）採点・評価基準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
（３）合否判定基準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
（４）過去３年間の入試状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
22．パソコン必携制度のご案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
23．出願書類作成上の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
＊大学入学共通テスト指定教科・科目確認表（学校推薦型選抜Ⅱ） ・・・・・・ 127

添　　付　　書　　類（76 ページ～125 ページ）

※ 実際の出願書類提出は，別途ＨＰに掲載している様式を利用してください。

https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/

１．推薦書　　:〔多文化社会学部〕,〔教育学部〕,〔経済学部〕,〔医学部〕,〔歯学部〕,
〔薬学部〕,〔情報データ科学部〕,〔工学部〕,〔環境科学部〕,〔水産学部〕
２．志望理由書:〔多文化社会学部〕,〔医学部〕,〔歯学部〕,〔薬学部〕,〔情報データ科学部〕,
〔工学部〕,〔環境科学部〕,〔水産学部〕
３．プレゼンテーション資料:〔多文化社会学部〕
４．確約書　　:〔歯学部〕
５．志願調書　:〔薬学科〕

令和７年度学校推薦型選抜の主な変更点

【女子枠導入】

情報データ科学部及び工学部の学校推薦型選抜において，女性が対象となる「女子枠」を導入します。

【共通テスト「情報」について】

共通テストにおいて「情報」が新教科として出題されることに伴い，学校推薦型選抜Ⅱにおいて課す共通テストの教科・科目，及び配点を変更します。

【学校推薦型選抜における出願要件の学習成績概評について】

学校推薦型選抜における出願要件の一部としている学習成績概評の段階について，Ⓐ又はＡ段階に属することを出願要件としていた学部等においてＡ段階に属することへ変更します。

【選抜方法及び合否判定基準の変更】

選抜方法及び合否判定基準を変更します。詳細は選抜方法及び合否判定基準を参照してください。

【教育学部】

(1)　教科・科目，及び配点の変更

学校推薦型選抜Ⅱにおいて課す共通テストの教科・科目，及び配点を以下のとおり変更します。

（中学校教育コース　理系）

＜令和６年度＞

	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計
共通テスト	500						500

※　国語（200点満点），地歴・公民（100点満点），数学（200点満点），理科（200点満点），外国語（200点満点）の合計得点（900点満点）を500点満点に換算する。

⇩

＜令和７年度＞

	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	合計
共通テスト				500				500

※　数学（200点満点），理科（200点満点），外国語（50点満点）の合計得点（450点満点）を500点満点に換算する。

(2)　その他の変更

学校推薦型選抜Ⅱにおいて志望理由書の提出を求めない。

【経済学部】

出願要件の変更

学校推薦型選抜Ⅰにおける出願要件に係る教科・科目の表を以下のとおり変更します。

3-2. 高等学校若しくは中等教育学校における専門教育を主とする学科若しくは総合学科を令和7年3月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部を令和7年3月に修了見込みの者。ただし，以下の(1)から(5)までのいずれかに該当する者には出願資格がない。

(1) 普通科に在籍している者

(2) 国語を主とする学科，系等に在籍し，下表の数学及び英語のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）

(3) 理数を主とする学科，系等に在籍し，下表の国語及び英語のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）

(4) 外国語又は国際関係を主とする学科，系等に在籍し，下表の国語及び数学のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）

(5) 専門教育を主とする学科，系等（国語，理数，外国語又は国際関係を主とする学科，系等を除く。）又は総合学科に在籍し，下表の国語，数学及び英語のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）

＜令和６年度＞

教　科	科　　目
国語	国語総合（又は国語表現），現代文Ｂ，古典Ｂ（又は古典Ａ）
数学	数学Ⅰ，数学Ａ，数学Ⅱ，数学Ｂ
英語	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ，英語表現Ⅱ

⇩

＜令和７年度＞

教　科	科　　目
国語	現代の国語，言語文化及び以下の科目を２科目以上 国語表現，論理国語，文学国語，古典探究
数学	数学Ⅰ，数学Ａ，数学Ⅱ，数学Ｂ
英語	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ（又は論理・表現Ⅲ），論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ

【医学部医学科】

(1)　募集人員について

①地域の医師確保の観点による募集人員

本学医学部医学科の令和６年度入学定員には，令和６年度までを期限とする文部科学省から認可を受けた暫定的な増員２０人が含まれており，その増員には医師不足の深刻な地域の医師確保の観点からの増員（以下，「地域枠増員」という。）１９人が含まれていました。

この地域枠増員の令和７年度における取扱いについては，暫定的な措置により，概ね現状の増員が維持される可能性がありますが，現時点では未定となっておりますので，詳細は決まり次第，本学ホームページ（入試情報サイト）でお知らせする予定です。

なお，この地域枠増員は現在，以下の各入試枠の募集人員に含まれており，その入学者には，各県からの修学資金貸与が義務付けられています。

今後，地域枠増員が維持される場合においても，地域枠増員の趣旨に鑑み，以下と同様に地域医療に従事し貢献する明確な意思を持った方を求めることになりますので，予めお知らせします。

＜令和６年度時点＞

入試枠名	募集人員	（うち地域の医師確保の観点からの増員分）	修学資金 貸与する県	修学資金名	医師免許取得後の従事要件及び年数（貸与金及び利息の返還免除要件）	問合せ先
学校推薦型選抜ⅡＢ（地域医療特別枠）	１５	（１５）	長崎県	長崎県医学修学資金	一定期間（貸与期間の1.5倍），長崎県病院企業団等に勤務（初期臨床研修含む）し，その期間の2分の1以上を離島に勤務	長崎県福祉保健部医療人材対策室（TEL 095-895-2421）
学校推薦型選抜ⅡＣ（佐賀県枠）	２	（ ２ ）	佐賀県	佐賀県医師修学資金	貸与期間の2分の3に相当する期間（1年未満切上げ），佐賀県キャリア形成プログラムの適用を受け，県内での2年間の初期臨床研修後，県内の公的医療機関等の総合診療科，内科，小児科，外科，産婦人科，脳神経外科，麻酔科又は救急科等で勤務	佐賀県健康福祉部医務課医療人材政策室（TEL 0952-25-7358）
学校推薦型選抜ⅡＣ（宮崎県枠）	２	（ ２ ）	宮崎県	宮崎県医師修学資金	医療法のキャリア形成プログラム（原則9年間）の適用を受け，貸与期間の1.5倍の期間，県が指定する公的医療機関等で勤務（初期臨床研修含む）	宮崎県福祉保健部医療政策課（TEL 0985-26-7451）

②令和６年度までを期限とする暫定的な増員（地域枠増員除く）

前述①のとおり，本学医学部医学科の令和６年度入学定員には，令和６年度までを期限とする文部科学省から認可を受けた暫定的な増員２０人が含まれていましたが，その増員のうち地域枠増員以外で１人の増員が以下の入試枠に含まれていました。

この地域枠増員分を除く１人についての令和７年度における取扱いについては，前述①の地域枠増員同様に，暫定的な措置により，概ね現状の増員が維持される可能性がありますが，現時点では未定となっておりますので，詳細は決まり次第，本学ホームページ（入試情報サイト）でお知らせする予定です。

＜令和６年度時点＞

入試枠名	募集人員	（うち暫定的な増員分）
学校推薦型選抜ⅡＤ（研究医枠）	5	（1）

(2) 教科・科目の変更

学校推薦型選抜Ⅱにおいて課す教科・科目を以下のとおり変更します。

（旧）面接（個人）

（新）面接（個人又はグループ）

【歯学部】

募集人員の変更

歯学部において，募集人員を次のとおり変更します。

入試区分	令和７年度	令和６年度
一般選抜（前期日程）	４０	３３
総合型選抜Ⅱ	5	7
学校推薦型選抜Ⅱ	5	１０

【情報データ科学部】

選抜区分・募集人員の変更

一般選抜（前期日程），学校推薦型選抜Ⅰ及び学校推薦型選抜Ⅱの選抜区分，募集人員を次のとおり変更します。

＜令和６年度＞

学科等	募集人員		
情報データ科学科	一般選抜（前期日程）	学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ
	75	8	12

＜令和７年度＞

学科等	募集人員				
情報データ科学科	一般選抜（前期日程）	学校推薦型選抜Ⅰ		学校推薦型選抜Ⅱ	
		一般枠	女子枠	一般枠	女子枠
	70	7	3	8	7

注）「一般枠」は性別によらず出願できる選抜区分を，「女子枠」は女子のみが出願できる選抜区分をいう。

【工学部】

選抜区分・募集人員の変更

学校推薦型選抜Ⅱの選抜区分，募集人員を次のとおり変更します。

＜令和６年度＞

学科等		募集人員		
		一般選抜（前期日程）		学校推薦型選抜Ⅱ
		a方式	b方式	
工学科	機械工学コース	160	50	7
	電気電子工学コース			6
	構造工学コース			7
	社会環境デザイン工学コース			2
	化学・物質工学コース			8

⇩

＜令和７年度＞

学科等		募集人員			
		一般選抜（前期日程）		学校推薦型選抜Ⅱ	
		a方式	b方式	一般枠（注）	女子枠（注）
工学科	機械工学コース	151	47	7	12
	電気電子工学コース			6	
	構造工学コース			7	
	社会環境デザイン工学コース			2	
	化学・物質工学コース			8	

注）「一般枠」は性別によらず出願できる選抜区分を，「女子枠」は女子のみが出願できる選抜区分をいう。

【環境科学部】

募集人員の変更

学校推薦型選抜Ⅱ②（普通科等以外）（募集人員４人）を廃止します。

入試区分	令和７年度	令和６年度
総合型選抜Ⅱ	4	
学校推薦型選抜Ⅱ ②（普通科等以外）	廃止	4

上記以外の入試の詳細は，本冊子の関係ページで確認してください。

学校推薦型選抜Ⅱ（経済学部以外の学部）における
旧教育課程履修者に対する経過措置について

①大学入学共通テストの経過措置

（学部・学科等毎に，必須◎・選択○の別を上欄に，必要な科目数等を下欄に記載している。）

大学入学共通テスト / 教科・科目 / 学部・学科等	地理歴史，公民										数学						情報
	旧世界史A	旧世界史B	旧日本史A	旧日本史B	旧地理A	旧地理B	旧現代社会	旧倫理	旧政治・経済	旧倫理，旧政治・経済	グループ①		グループ②				旧情報
											旧数学Ⅰ	旧数学Ⅰ・旧数学A	旧数学Ⅱ	旧数学Ⅱ・旧数学B	旧簿記・会計	旧情報関係基礎	
多文化社会学部 多文化社会学科		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			◎
	1(注1)										1(注2)						1
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
	1又は2(注3)(注4)										1(注2)						1
教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース(文系)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
	2(注3)(注5)																
教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース(理系)												◎		◎			
											1		1				
教育学部 学校教育教員養成課程 幼児教育コース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1(注6)																
教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1(注6)																
医学部 医学科		○		○		○	○	○	○	○		◎		◎			◎
	1(注1)										1		1				1
医学部 保健学科											○	○	○	○			◎
											1		1				1
歯学部 歯学科		○		○		○	○	○	○	○		◎		◎			◎
	1(注1)										1		1				1
薬学部 薬学科												◎		◎			◎
											1		1				1
薬学部 薬科学科												◎		◎			◎
											1		1				1
情報データ科学部 情報データ科学科												◎		◎			◎
											1		1				1
工学部 工学科												◎		◎			◎
											1		1				1
環境科学部 環境科学科 選抜方法A(文系受験)		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			◎
	1(注1)										1		1				1
環境科学部 環境科学科 選抜方法B(理系受験)		○		○		○	○	○	○	○		◎	○	○			◎
	1(注1)										1		1				1
水産学部 水産学科		○		○		○	○	○	○	○		◎		◎			◎
	1(注1)										1		1				1

※ 地歴・公民及び理科の試験において２科目を選択する場合は，解答順に「第１解答科目」及び「第２解答科目」とする。
（注１）地歴・公民を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。
（注２）数学を２科目受験している場合は，高得点科目を採用する。
（注３）地歴・公民を２科目選択する際に，同一名称を含む科目の組合せで２科目を選択することはできない。（教育学部）
（注４）地歴・公民及び理科のそれぞれの第１解答科目を採用する。第２解答科目は高得点の科目を採用する。（教育学部）
（注５）「旧世界史Ｂ」，「旧日本史Ｂ」，「旧地理Ｂ」及び「旧倫理，旧政治・経済」から１科目以上選択すること。（教育学部）
（注６）複数科目を受験している場合は，高得点科目を採用する。ただし，地歴・公民及び理科の第２解答科目は採用しない。（教育学部）

○ 旧教育課程とは，平成２１年３月告知の高等学校学習指導要領に基づく課程をいう。
○ 新教育課程とは，平成３０年３月告知の高等学校学習指導要領に基づく課程をいう。
○ 上表は，旧教育課程履修者等が希望する場合に選択できる旧教育課程による出題科目である（旧教育課程履修者等も，新教育課程による出題科目を選択できる。）。

② 学校推薦型選抜Ⅱにおける学力検査等の経過措置

学力検査等については，旧教育課程履修者に対する特別な経過措置は行いません。

１．アドミッション・ポリシー

〔全学共通のアドミッション・ポリシー〕

長崎大学は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 専門的な知識や技術の習得に必要な知識・技能・理解の基礎が充実している。
- ものごとの本質を学修するために必要となる基礎的な論理的・批判的思考力，判断力がある。
- 日本語・英語・その他の外国語で積極的にコミュニケーションを行おうとする姿勢とその基盤となる基礎的な言語運用力を持っている。
- 自ら考えようとする態度がある。
- 自らを高めるために継続的に学ぼうとする態度・意欲がある。
- 多様性を認め，他者と協働しようとする態度がある。
- 国際社会，地域社会への関心を持っている。

本学では，これらの資質・素養を大学入学共通テスト，個別試験，調査書，小論文・課題論文，実技，面接等により総合的に評価し，入学者の選抜を行います。

〔多文化社会学部のアドミッション・ポリシー〕

多文化社会学部は，全学共通のアドミッション・ポリシーに加えて，学部の教育理念，教育研究上の目的，ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえて，入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の基礎的・基本的知識を有している。
- 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
- 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ，それらについて批判的に思考できる基礎を有する。
- 世界の多文化状況を客観的に捉え，見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる基礎を有する。
- 自らの考えを整理し，表現するライティング能力（文章力）を有する。
- 多様な人々と共生的な関係を築き，協働する為に必要なコミュニケーション能力・自己表現力の基礎を有する。
- 世界の多文化状況や異文化交流に興味・関心を持ち，グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等 ＼ 求める資質等（学力の３要素）			基礎学力（知識・技能）	語学力(英語)（知識・技能）（思考力等）	批判的・論理的思考力（思考力等）（主体性等）	ライティング能力（知識・技能）	コミュニケーション・自己表現能力（思考力等）（主体性等）	多文化状況への興味・関心（思考力等）（主体性等）
一般選抜	前期日程（４コース）	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査		○	◎	○		○
		調査書					○	
		ペーパー・インタビュー					○	○
	前期日程（オランダ）	共通テスト	◎	◎				
		個別学力検査		○	◎	○		○
		調査書					○	
		面接		○	◎		○	◎
総合型選抜Ⅰ	一般枠（４コース，オランダ）	筆記試験			◎	○		
		自己推薦書	○	○			○	○
		諸活動の記録	○	○			○	○
		調査書	○	○			○	○
		個人面接		○			○	◎
	グローバル・国際バカロレア枠（４コース）	筆記試験			◎	○		
		自己推薦書	○	○			○	○
		諸活動の記録	○	○			○	○
		調査書	○	○			○	○
		個人面接		○			○	◎
学校推薦型選抜Ⅱ（４コース）		共通テスト	◎	○				
		推薦書	○	○			○	○
		志望理由書				◎	○	◎
		調査書	○	○			○	○
		面接		◎	◎		○	◎
帰国生徒選抜		提出書類	◎	○				
		面接	○	○	◎	○	○	◎
外国人留学生選抜		提出書類（日本留学試験を含む）	◎	○				
		面接	○	○	◎	○	○	◎

〔教育学部のアドミッション・ポリシー〕

教育学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
- 専門的な学修に必要となる基礎的な論理的・批判的思考力や判断力，表現力がある。
- 幼児・児童・生徒および保護者，同僚その他の人々との良好な対人関係を構築するために必要な非言語的要素を含むコミュニケーション能力がある。
- 主体的に学修を継続し，発展させようとする意欲と態度がある。
- 現代の教育課題への関心を持ち，教職を志望している。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

【小学校教育コース】

選抜方法等 ＼ 求める資質等（学力の３要素）		基礎学力（知識・技能）	思考力・判断力・表現力（思考力等）	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力（主体性等）	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度（主体性等）
一般選抜 前期日程	共通テスト	◎	○		
	個別学力検査	○	◎		
	調査書	○			○
	面接			◎	◎
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○		
	自己推薦書				○
	諸活動の記録				○
	調査書	○			○
	面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎			
	小論文		◎		
	推薦書				○
	調査書	○			○
	面接			◎	◎
外国人留学生選抜	日本留学試験	○			
	面接		○	◎	◎

【中学校教育コース　文系】

選抜方法等 ＼ 求める資質等（学力の３要素）		基礎学力（知識・技能）	思考力・判断力・表現力（思考力等）	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力（主体性等）	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度（主体性等）
一般選抜 前期日程	共通テスト	◎	○		
	個別学力検査	○	◎		
	調査書	○			○
	面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○		
	推薦書				○
	調査書	○			○
	面接		◎	○	◎
外国人留学生選抜	日本留学試験	○			
	個別学力検査	◎	◎		
	面接			◎	◎

【中学校教育コース　理系】

選抜方法等		求める資質等（学力の３要素）	基礎学力（知識・技能）	思考力・判断力・表現力（思考力等）	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力（主体性等）	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接	○	○	○	○
外国人留学生選抜		日本留学試験	○			
		個別学力検査	○	○		
		面接			○	○

【幼児教育コース】

選抜方法等		求める資質等（学力の３要素）	基礎学力（知識・技能）	思考力・判断力・表現力（思考力等）	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力（主体性等）	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接		◎	◎	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎			
		面接		○	◎	◎

【特別支援教育コース】

選抜方法等		求める資質等（学力の３要素）	基礎学力（知識・技能）	思考力・判断力・表現力（思考力等）	対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力（主体性等）	教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・態度（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書				○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		小論文		◎		
		推薦書				○
		調査書	○			○
		面接		○	◎	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	○			
		面接		○	◎	◎

〔経済学部のアドミッション・ポリシー〕

経済学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 基礎的学力が身についている。
- 論理的思考力が身についている。
- 英語を含むコミュニケーション力が身についている。
- 強い学習意欲，主体性や行動力がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等		求める資質等（学力の３要素）	基礎的学力が身についている（知識・技能）	論理的思考力が身についている（思考力等）	コミュニケーション力が身についている（思考力等）	学習意欲，主体性や行動力がある（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	○	
		個別学力検査	○	◎	◎	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
	後期日程	共通テスト	◎	○	○	
		小論文	○	◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー				○
総合型選抜Ⅰ		筆記試験	◎	◎		
		自己推薦書		○		◎
		調査書				○
		面接(ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ型)		◎	◎	◎
総合型選抜Ⅱ		共通テスト	○	○	○	
		自己推薦書				○
		諸活動の記録			○	○
		調査書			○	○
		面接			○	○
学校推薦型選抜Ⅰ		小論文	○	◎	○	
		推薦書				○
		調査書			○	○
		面接			○	○
外国人留学生選抜		小論文	○	◎	○	
		英語外部試験	○		○	
		日本留学試験	◎		○	
		面接			○	○

〔医学部（医学科）のアドミッション・ポリシー〕

医学科では入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 入学後の学修に必要な基礎学力を有している。
  医学に関する専門的知識を修得するために必要な科学的素養を広く有する。
  専門的情報を収集・理解する上で必要な日本語および英語の読解力・表現力を有する。
- 医学・医療分野の職業に生涯にわたり従事するというプロフェッショナリズムを認知して，強い目的意識と高い志を持つ。また，その実践のために必要な思考力，判断力を有する。
- 生命の尊厳を重んじ，高い倫理観と豊かな人間性を持つ。
- チーム医療への貢献のために必要な協調性，コミュニケーション能力，リーダーシップと強い責任感を有する。
- 広く生命科学分野への探求心を有し，さらに，社会的諸問題や国際問題などへのグローバルな問題意識を常に持つ。
- 地域社会における問題点解決に取り組む積極性を有する。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等		求める資質等（学力の３要素）	基礎学力（知識・技能）	読解力・表現力（知識・技能）（思考力等）	コミュニケーション能力（思考力等）	思考力・判断力・表現力（思考力等）	態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		○	
		個別学力検査	○	◎		◎	
		調査書					○
		面接			◎		◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎		○	
		小論文（学校推薦型選抜ⅡＢのみ）	○	○	○	◎	○
		推薦書	○			○	○
		志望理由書				○	○
		調査書	○				○
		面接			◎		◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎	○		○	
		個別学力検査	○	◎		◎	
		面接			◎		◎

〔医学部（保健学科）のアドミッション・ポリシー〕

保健学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

1．専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。

2．対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力がある。

　実習では患者さんやその家族との間に良好な信頼関係を構築する必要があることから，非言語的要素を含むコミュニケーション能力を重視します。そのため全ての入学試験に面接を課します。

3．専門的な学修に必要となる基礎的な論理的・批判的思考力や判断力，表現力がある。

4．主体的に学修を継続する態度と意欲がある。

5．基礎的な倫理性と，他者への共感性や協調性，リーダーシップを持つ。

6．国際社会や地域社会における保健への関心がある。

7．国際的な学術文献の講読に必要となる基本的な英語読解力がある。

　最新の科学的根拠を収集するために必要な英語読解力の基礎が養われていることを重視します。そのため前期日程と外国人留学生選抜では個別試験で英語，学校推薦型選抜Ⅱおよび社会人選抜では小論文で英語の問題を課します。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等		求める資質等（学力の３要素）	基礎学力（知識・技能）	コミュニケーション能力（思考力等）（主体性等）	思考力・判断力・表現力（思考力等）	態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心（思考力等）（主体性等）	英語読解力（知識・技能）（思考力等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎		○		○
		個別学力検査			○		◎
		調査書				○	
		面接		◎		◎	
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎		○		○
		小論文			◎		○
		調査書	○			○	
		推薦書				○	
		志望理由書				○	
		面接		◎		◎	
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎				
		個別学力検査			○		◎
		面接		◎		◎	
社会人選抜		小論文			◎		○
		面接		◎		◎	

〔歯学部のアドミッション・ポリシー〕

【一般コース】

歯学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 専門科目の修学に要する基礎学力を有している。
- 専門科目の修学に要する思考力，判断力，表現力を有している。
- 歯科口腔医学，歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感を持っている。
- 主体性を持って学ぶ態度と多様な人々と協働するコミュニケーション能力を有している。

【歯学研究コース】

一般コースに加え，以下の資質・素養を求めます。

- 将来我が国の最先端歯科口腔医療，歯科口腔医学または歯科口腔医学教育を担うことを目指し，本学部卒業後，大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学するための，歯学研究コースを履修することを確約し，遂行する強い意思を持っている。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等		求める資質等（学力の３要素）	基礎学力（知識・技能）	思考力，判断力，表現力（思考力等）	歯科口腔医学，歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感（主体性等）	主体性を持って学ぶ態度と多様な人々と協働するコミュニケーション能力（主体性等）	最先端歯科医療，歯学研究，歯学教育を担うことを目指し，大学院に進学する強い意思（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査	○	◎			
		調査書	○			○	
		志願調書			○		
		面接			◎	◎	
総合型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎			
		歯学部ゼミナール	◎			◎	
		調査書	○				
		自己推薦書			○		
		面接			◎	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎			
		小論文		○	○		
		調査書	○				
		推薦書			○		○
		志望理由書			○		○
		面接			◎	◎	◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎	◎			
		修了(修了見込)証明書および成績証明書	○				
		個別学力検査	○	◎			
		面接			◎	◎	

〔薬学部のアドミッション・ポリシー〕

＜薬学科（６年制）＞

薬学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- 専門的な学修に必要となる数学と理科の学力が優れている。
- 英語論文の読解・解説をはじめ，グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語の学力が優れている。
- 論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- 協調性やコミュニケーション能力を持つ。
- 薬学，生命科学に高い関心があり，研究や持続的な学修への意欲を持つ。

【薬学科】選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎,大きい比重:○)）

選抜方法等 ＼ 求める資質等（学力の３要素）		基礎学力（知識・技能）	数学，理科，英語の学力（知識・技能）	思考能力，問題解決能力（思考力等）	協調性，コミュニケーション能力，関心，意欲（思考力等）（主体性等）
一般選抜	前期日程 共通テスト	○	○		
	前期日程 個別学力検査		◎	○	
	前期日程 調査書				○
	前期日程 面接			○	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	○	◎		
	推薦書				○
	調査書				○
	志望理由書				○
	面接		○	○	◎
外国人留学生選抜	日本留学試験	○	○		
	個別学力検査		◎	○	
	面接			○	◎

＜薬科学科（４年制）＞

薬科学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- 専門的な学修に必要となる数学と理科の学力が優れている。
- 英語論文の読解・解説をはじめ，グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語の学力が優れている。
- 論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- 積極的な自己表現力や行動力を持つ。
- 薬学，生命科学に高い関心があり，研究や持続的な学修への意欲を持つ。

【薬科学科】選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎,大きい比重:○)）

選抜方法等 ＼ 求める資質等（学力の３要素）		基礎学力（知識・技能）	数学，理科，英語の学力（知識・技能）	思考能力，問題解決能力（思考力等）	自己表現力，行動力，関心，意欲（思考力等）（主体性等）
一般選抜	前期日程 共通テスト	○	○		
	前期日程 個別学力検査		◎	○	
	前期日程 調査書				○
	前期日程 ペーパー・インタビュー			○	○
	後期日程 共通テスト	○	◎		
	後期日程 個別学力検査		○	○	
	後期日程 調査書				○
	後期日程 面接			○	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	○	◎		
	推薦書				○
	調査書				○
	志望理由書				○
	面接		○	○	◎
外国人留学生選抜	日本留学試験	○	○		
	個別学力検査		◎	○	
	面接			○	◎

〔情報データ科学部のアドミッション・ポリシー〕

情報データ科学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 情報の収集，伝達，整理・分析，加工・提示に関する基礎的な知識または技能を有する。
- 専門的な学修に必要となる高校程度の数学および英語の基礎学力を有し，科学的な思考・判断・表現に応用できる。
- 知識とデータに基づく推論がさまざまな課題解決や新たな価値の創出に活かされることを理解している。
- 自ら学びを深めようとする姿勢と行動力を備え，多様な人々と協力して文系・理系の枠を超えた課題に取り組める。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等 ＼ 求める資質等（学力の３要素）				知識・技能・基礎学力（知識・技能）	思考力・判断力・表現力（思考力等）	主体性・協調性（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト		◎	○	
		個別学力検査		◎	◎	
		調査書		○		○
		ペーパー・インタビュー				○
	後期日程	共通テスト		◎	○	
		小論文		○	◎	
		調査書		○		○
		ペーパー・インタビュー				○
学校推薦型選抜Ⅰ		面接(口述試験を含む)	一般枠	○	◎	○
			女子枠	○	◎	◎
		小テスト（数学・情報関連科目）		◎		
		推薦書				○
		調査書		○	○	○
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト		◎		
		面接	一般枠		◎	○
			女子枠		◎	◎
		小テスト（課題作文）		○	◎	○
		推薦書				○
		調査書		○	○	○
外国人留学生選抜Ａ		日本留学試験		◎		
		小テスト		◎		
		面接（口述試験を含む）			◎	○
外国人留学生選抜Ｂ		小テスト		◎		
		面接（口述試験を含む）			◎	○
		成績証明書		◎		
		志望理由書				○
外国人留学生選抜Ｃ		IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書		○		
		面接（口述試験を含む）		○	◎	○
		志望理由書				○

〔工学部のアドミッション・ポリシー〕

工学部は，入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 数学，理科，英語の基礎学力を有している。
- 論理的思考力や読解力を有している。
- 工学に強い関心を持ち，主体的に学修を継続する強い意志と実行力がある。
- 協調性やコミュニケーション能力がある。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等 ＼ 求める資質等（学力の３要素）			数学・理科・英語の基礎学力（知識・技能）	論理的思考力 読解力（思考力等）	主体性 実行力 関心度（主体性等）	協調性・コミュニケーション能力（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書			◎	○
		ペーパー・インタビュー			○	◎
	後期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査	○	◎		
		調査書			◎	○
		ペーパー・インタビュー			○	◎
総合型選抜Ⅰ		基礎学力テスト	◎	○		
		面接	○	○	○	◎
		調査書			◎	○
		自己推薦書			○	
学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）		共通テスト	◎	○		
		面接			○	◎
		調査書	○		◎	○
		志望理由書			○	
		推薦書			○	○
学校推薦型選抜Ⅱ（女子枠）		共通テスト	◎	○		
		面接			◎	◎
		調査書	○		○	○
		志望理由書		○	◎	
		推薦書			○	○
外国人留学生選抜		面接(口述試験を含む)	○	○	○	◎
		日本留学試験	○			
		外部英語検定試験	○			

〔環境科学部のアドミッション・ポリシー〕

環境科学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 多様な環境科学を学修する基盤となる高等学校卒業程度の知識･技能･理解が充実している。
  このため，大学入学共通テストでは幅広い科目に対して配点しています。前期日程試験の選抜方法Ａ（文系受験）では国語と地歴・公民，選抜方法Ｂ（理系受験）では数学と理科の配点を高くしています。
- 学修・研究に必要となる基本的な英語能力がある。
  前期日程の選抜方法Ａ（文系受験）の個別学力検査で英語を課し，選抜方法Ｂ（理系受験）では英語を選択可能な科目として位置づけています。
- 環境科学を専門的に学修するために必要となる判断力や思考力を有する。
  後期日程試験では，小論文試験でこれらの資質を評価します。
- 環境をめぐる諸問題に強い関心を持ち，環境科学を学ぶ意欲にあふれ，主体的に学修を継続する姿勢がある。
  このため，前期日程ではペーパー・インタビューで，後期日程や総合型選抜，学校推薦型選抜，外国人留学生選抜等では面接で，これらの資質・素養を評価します。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等 ＼ 求める資質等（学力の３要素）			基礎学力（知識・技能）	英語能力（知識・技能）（思考力等）	判断力・表現力・思考力（思考力等）	意欲・積極性，環境への関心度（思考力等）（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		
		個別学力検査		○	○	
		調査書			○	○
		ペーパー・インタビュー			○	○
	後期日程	共通テスト	◎	○		
		小論文			○	○
		面接			○	○
総合型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		自己推薦書				◎
		調査書	○			○
		面接			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	○		
		調査書			○	○
		面接			○	○
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎			
		小論文			○	○
		面接		○	○	○

〔水産学部のアドミッション・ポリシー〕

水産学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 海洋環境と海洋生物に代表される水圏と社会の関わりに強い関心を持っている。
- 地域の様々な問題に対し地球規模の視野で柔軟に対応できる分野横断的な問題解決能力を獲得する意欲を有している。
- 将来，国内外の第一線で活躍し各分野のリーダーになれるような自主的，主体的学修・研究姿勢を有している。
- 知識偏重ではなく，将来，実社会で活躍できる論理的思考能力を有している。
- 諸課題を解決するために必要な基礎的知識や技能を習得している。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等		求める資質等（学力の３要素）	基礎的知識・技能（知識・技能）	論理的思考力（思考力等）	学修・研究姿勢（主体性等）	問題解決能力（思考力等）	水圏と社会の関わりへの関心（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査	◎	◎			
		調査書	○		○		
		ペーパー・インタビュー			○	○	○
	後期日程	共通テスト	◎	◎			
		個別学力検査（総合問題）		○			
		調査書	○		○		
		面接			◎	○	○
総合型選抜Ⅰ		小テスト	◎	◎		○	
		調査書	○				
		諸活動の記録	◎		◎		○
		課題論文		○		○	
		自己推薦書			○		○
		面接			◎		◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎			
		調査書	○				
		推薦書	○	○	○	○	○
		志望理由書			◎		○
		面接			◎	○	◎
帰国生徒選抜		小論文	○	◎			
		面接	○	○	◎	○	◎
外国人留学生選抜		面接	○	◎	◎	○	◎

２．実施日程

本学は，下記のとおり，入学定員の一部について，在籍する（在籍した）学校長から推薦された者について，入学者選抜を行う。

なお，国公立大学の学校推薦型選抜への出願は，大学入学共通テストを課すもの（学校推薦型選抜Ⅱ）及び課さないもの（学校推薦型選抜Ⅰ）を含めて，一つの大学・学部に限られているので注意すること。

ただし，情報データ科学部の学校推薦型選抜Ⅰにおいて不合格となった者は，同学部の学校推薦型選抜Ⅱへ出願することができる。

また，本学の学校推薦型選抜Ⅱへ出願した者は，本学の総合型選抜Ⅱに出願することはできない。

<table>
<tr><th>区分
（注１）</th><th colspan="2">学　部　名</th><th>出願期間</th><th>試 験 日</th><th>合格者発表</th><th>入学手続</th></tr>
<tr><td rowspan="2">学校推薦型選抜Ⅰ</td><td colspan="2">情報データ科学部</td><td rowspan="2">11/ 1(金)
～
11/ 7(木)
※インターネット出願登録は 10/25(金)から可能</td><td>11/20(水)</td><td rowspan="2">12/ 2(月)</td><td rowspan="2">12/13(金)</td></tr>
<tr><td colspan="2">経　済　学　部</td><td>11/21(木)</td></tr>
<tr><td rowspan="8">学校推薦型選抜Ⅱ</td><td rowspan="2">教育学部</td><td>小学校教育コース
特別支援教育コース</td><td rowspan="3">11/ 1(金)
～
11/ 7(木)
※インターネット出願登録は 10/25(金)から可能</td><td>11/13(水)
11/14(木)</td><td rowspan="7">2/12(水)</td><td rowspan="7">2/19(水)</td></tr>
<tr><td>中学校教育コース
幼児教育コース</td><td>11/14(木)</td></tr>
<tr><td colspan="2">水　産　学　部</td><td>11/14(木)
（注 2）</td></tr>
<tr><td colspan="2">多文化社会学部</td><td>11/30(土)</td></tr>
<tr><td colspan="2">薬　学　部</td><td rowspan="5">12/ 9(月)
～
12/17(火)
※インターネット出願登録は 12/9 (月)から可能</td><td>1/23(木)</td></tr>
<tr><td colspan="2">医学部(医学科)
歯　学　部</td><td>1/24(金)</td></tr>
<tr><td colspan="2">工　学　部</td><td>1/28(火)</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報データ科学部</td><td>1/30(木)</td></tr>
<tr><td colspan="2">医学部(保健学科)
環境科学部</td><td>1/31(金)</td></tr>
</table>

注１）「学校推薦型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないもの，「学校推薦型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものを表す。

２）学校推薦型選抜Ⅱの試験日で，水産学部は志願者多数の場合，面接が翌日にわたることがある。

３．募集人員

区分	学部	学科・課程等		募集人員（人）※		備考
学校推薦型選抜Ⅰ	経済学部	総合経済学科		20		
	情報データ科学部			（一般枠）	（女子枠）	
		情報データ科学科		7	3	
学校推薦型選抜Ⅱ	多文化社会学部	多文化社会学科	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	15		
	教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校推薦型選抜Ａ	20	一般推薦枠
				学校推薦型選抜Ｂ	5	離島教育推薦枠
			中学校教育コース　文系	9		
			中学校教育コース　理系	7		
			幼児教育コース	5		
			特別支援教育コース	4		
		計		50		
	医学部	医学科		学校推薦型選抜ⅡＡ	15	長崎医療枠
				学校推薦型選抜ⅡＢ	未定	地域医療特別枠
				学校推薦型選抜ⅡＣ	未定	佐賀県枠
				学校推薦型選抜ⅡＣ	未定	宮崎県枠
				学校推薦型選抜ⅡＤ	4+α	研究医枠
		計		19+α		
	医学部	保健学科	看護学専攻	学校推薦型選抜①	16	一般推薦枠
				学校推薦型選抜②	2	離島看護師推薦枠
			理学療法学専攻	3		
			作業療法学専攻	3		
		計		24		
	歯学部	歯学科		5		
	薬学部	薬学科		6		
		薬科学科		4		
		計		10		
	情報データ科学部			（一般枠）	（女子枠）	
		情報データ科学科		8	7	
	工学部			（一般枠）	（女子枠）	
		工学科	機械工学コース	7	12	
			電気電子工学コース	6		
			構造工学コース	7		
			社会環境デザイン工学コース	2		
			化学・物質工学コース	8		
		計		30	12	
	環境科学部	環境科学科		選抜方法Ａ（文系受験）	9	
				選抜方法Ｂ（理系受験）	9	
		計		18		
	水産学部	水産学科		25		
合計				253+α		

※）「学校推薦型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないもの，「学校推薦型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものを表す。
※）学校推薦型選抜（医学部医学科の学校推薦型選抜ⅡB及びCを除く。）による入学手続者数が募集人員に満たない場合は，その不足した人員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えて選抜する。
※）多文化社会学部の国際公共政策コース，社会動態コース，共生文化コース及び言語コミュニケーションコースについては，1年次終了時にコースを決定する。
※）教育学部小学校教育コースの選抜方法A（一般推薦枠）は，コースで募集し，入学後に所属する系を決定する。
※）教育学部中学校教育コース文系及び理系の入学後に専攻する教科は，志願者が出願時に希望する教科を届け出，合格発表時に通知する。
※）医学部医学科の入学定員は，令和6年度までを期限とする文部科学省から認可を受けた学校推薦型選抜Ⅱへの暫定的な増員20人を除いているが，その増員は概ね現状が維持される可能性がある。現時点では未定となっているため，その増員人数を「未定」又は「+α」とする。募集人員等の詳細は決まり次第，本学ホームページ（入試情報サイト）で発表する。

４．出願要件・選抜方法等

学力検査等において，志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全て受験していなければ，合格者とはなれない。

【多文化社会学部】　　**〔学校推薦型選抜Ⅱ〕**

実施学部・学科名	**多文化社会学部　　多文化社会学科**
募　集　人　員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース　１５人
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を修了した者及び令和７年３月修了見込みの者で，次の各号に該当するもの （本学では，過去の大学入試センター試験及び大学入学共通テストの成績は利用しない。） １．人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 ２．大学入学共通テストで，多文化社会学部が指定した教科・科目を受験する者 ３．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テストの成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 個人面接では，プレゼンテーション（注１）を課す。個人面接のプレゼンテーション及びその後の質疑応答を通じて意欲や思考力などを評価する。質疑応答では提出された書類を参考にする。 ただし，面接の得点率が 50%未満の者は，不合格とする。また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総得点の得点率が，原則として 50%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 50%未満の者でも不合格者としない場合がある。 （大学入学共通テスト指定教科・科目） 国　：　国 地歴：「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」 「地総／歴総／公」 公民：「公，倫」，「公，政・経」 } から１（注２） 数　：「数Ⅰ」，「数Ⅰ，数A」 「数Ⅱ，数B，数C」 } から１（注３） 理　：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」， 「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１（注４） 外　：　英，独，仏，中，韓 から１ 情　：　情報Ⅰ ［６教科６科目］ ※「地総／歴総／公」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については２つを選択解答するため，選択解答した２つを１科目として採用する。 （注１）プレゼンテーションは，出願時に提出した「プレゼンテーション資料」を基に，多文化社会において相対する見解が生じている時事問題（ニュースを含む。）について一つ取り上げ，それについて説明し，自分の見解を述べること。時間は５分以内とする。 （注２）地歴・公民を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。 （注３）数学を２科目受験している場合は，高得点科目を採用する。 （注４）理科を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。
出　願　期　間	令和６年 11 月１日（金）　～　令和６年 11 月７日（木）
試　　験　　日	令和６年 11 月 30 日（土）
合　格　者　発　表	令和７年　２月 12 日（水）
そ　　の　　他	１学校あたりの推薦人員は，１人とする。

【教　育　学　部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜Ａ：一般推薦枠）

実施学部・学科名	教育学部　学校教育教員養成課程
募　集　人　員	小学校教育コース　２０人 中学校教育コース　文系（国語，社会，英語）９人，理系（数学，理科）７人 幼児教育コース　５人 特別支援教育コース　４人
出　願　要　件	大学入学共通テストで教育学部が指定した教科・科目を受験する者で，次のコース・系ごとに掲げる各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** １．小学校教育コース (1) 高等学校又は中等教育学校を令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和７年３月に修了見込みの者 (2) 地域とともにすすめる小学校教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評がＡ段階に属し，人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は，入学することを確約できる者 ２．中学校教育コース　文系（国語，社会，英語） (1) 高等学校又は中等教育学校を令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和７年３月に修了見込みの者 (2) 国語科教育，社会科教育又は英語科教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評がＡ段階に属し，人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は，入学することを確約できる者 ３．中学校教育コース　理系（数学，理科） (1) 高等学校又は中等教育学校を令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和７年３月に修了見込みの者 (2) 数学教育又は理科教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評がＡ段階に属し，人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は，入学することを確約できる者 ４．幼児教育コース (1) 高等学校又は中等教育学校を令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和７年３月に修了見込みの者 (2) 幼児教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評がＡ段階に属し，人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は，入学することを確約できる者 ５．特別支援教育コース (1) 高等学校又は中等教育学校を令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和７年３月に修了見込みの者 (2) 特別支援教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評がＡ段階に属し，人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等 （次ページへ続く）	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，各コース・系が指定する次の検査及び大学入学共通テストの成績等を審査し，その結果を総合して以下のとおり合格者を決定する。 (1)　面接の得点率が 20%未満の者は不合格とする。 また，各コース・系が指定する大学入学共通テストの総得点の得点率が，原則として 50%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 50%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2)　(1)を除いた者の中から，大学入学共通テストと学力検査等の総得点の高い順に合格者を決定する。（中学校教育コースにおいては，出願時に届け出た入学後に専攻を希望する教科ごとに合格者を決定する。） (3)　合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。 (4)　なお，中学校教育コース文系及び理系は，次のとおり実施する。 ①　文系 志願者は，出願時に，入学後に専攻する希望教科「国語，社会，英語」のうちから１教科選択する。 面接は，希望教科ごとに実施し，「国語」又は「社会」を選択した場合は日本語で，「英語」を選択した場合は日本語及び英語でそれぞれ行う。 ②　理系 志願者は，出願時に，入学後に専攻する希望教科「数学，理科」のうちから１教科選択する。面接は，希望教科ごとに実施する。

<table>
<tr><td>選抜方法等</td><td>
小学校教育コース　【小論文，面接】
中学校教育コース　文系（国語，社会，英語）　【面接】
中学校教育コース　理系（数学，理科）　【面接】
幼児教育コース　【面接】
特別支援教育コース　【小論文，面接】
<table>
<tr><th>コース・系</th><th>大学入学共通テスト指定教科・科目</th></tr>
<tr><td>小学校教育コース</td><td>国　：国
地歴：「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」
「地総／歴総／公」
公民：「公，倫」，「公，政・経」
理　：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，
「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１又は２（注３）
数　：「数Ⅰ」，「数Ⅰ，数A」
「数Ⅱ，数B，数C」
外　：英，独，仏，中，韓から１
情　：情報Ⅰ
［６教科７科目］又は［７教科７科目］</td></tr>
<tr><td>中学校教育コース
文系</td><td>国　：国
地歴：「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」
公民：「公，倫」，「公，政・経」
外　：英，独，仏，中，韓から１
［３教科４科目］又は［４教科４科目］</td></tr>
<tr><td>中学校教育コース
理系</td><td>数　：「数Ⅰ，数A」
「数Ⅱ，数B，数C」
理　：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，
「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２（注３）
外　：英，独，仏，中，韓から１
［３教科５科目］</td></tr>
<tr><td>幼児教育コース</td><td>国　：国
地歴：「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」
「地総／歴総／公」
公民：「公，倫」，「公，政・経」
数　：「数Ⅰ」，「数Ⅰ，数A」
「数Ⅱ，数B，数C」
理　：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，
「物理」，「化学」，「生物」，「地学」
外　：英，独，仏，中，韓
情　：情報Ⅰ
［２教科２科目］</td></tr>
<tr><td>特別支援教育コース</td><td>国　：国
地歴：「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」
「地総／歴総／公」
公民：「公，倫」，「公，政・経」
数　：「数Ⅰ」，「数Ⅰ，数A」
「数Ⅱ，数B，数C」
理　：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，
「物理」，「化学」，「生物」，「地学」
外　：英，独，仏，中，韓
情　：情報Ⅰ
［１教科１科目］</td></tr>
</table>
※「地総／歴総／公」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については２つを選択解答するため，選択解答した２つを１科目として採用する。
（注１）地歴・公民を２科目選択する場合
(1)「公，倫」と「公，政・経」を選択することはできない。
(2)「地総／歴総／公」を選択する場合は，選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称（「地総」と「地総，地探」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。
（注２）地歴・公民及び理科のそれぞれの第１解答科目を採用する。第２解答科目は高得点の科目を採用する。
（注３）「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する際に，同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。
（注４）数学を２科目受験している場合は，高得点科目を採用する。
（注５）複数科目を受験している場合は，高得点科目を採用する。ただし，地歴・公民及び理科の第２解答科目は採用しない。
</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td>令和６年 11 月１日（金）　～　令和６年 11 月７日（木）</td></tr>
<tr><td>試験日</td><td>小学校教育コース，特別支援教育コース　令和６年 11 月 13 日（水）・14 日（木）
中学校教育コース，幼児教育コース　令和６年 11 月 14 日（木）</td></tr>
<tr><td>合格者発表</td><td>令和７年 ２月 12 日（水）</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>１．１学校あたりの推薦人員は次のとおり。
(1)　小学校教育コース　：　２人以内とする。
(2)　中学校教育コース　文系　：　３人以内とする。
(3)　中学校教育コース　理系　：　２人以内とする。
(4)　幼児教育コース　：　制限しない。
(5)　特別支援教育コース　：　１人とする。
２．中学校教育コース文系及び理系における合格者の入学後に専攻する教科は，出願時に選択した教科とし，合格発表時に通知する。
３．小学校教育コース各系（子ども理解系，教科授業開発系，離島・地域文化系）への所属は，入学後に，所属系志望調査を行った上で決定する。詳細は，入学後のオリエンテーションで説明する（小学校教育コース各系の説明に関しては，教育学部ホームページを参照すること。）。
（URL：https://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/）</td></tr>
</table>

【教　育　学　部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜Ｂ:離島教育推薦枠）

実施学部・学科名	**教育学部　学校教育教員養成課程**
募　集　人　員	小学校教育コース　　５人
出　願　要　件	大学入学共通テストで教育学部が指定した教科・科目を受験する者で，次に掲げる各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** (1) 高等学校又は中等教育学校を令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和７年３月に修了見込みの者 (2) 離島における教育に強い関心を持ち，卒業後は長崎県内の離島地区小学校において教職に就くことを強く希望する者 (3) 学習成績概評がＡ段階に属し，人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，小論文，面接及び大学入学共通テストの成績等を総合して以下のとおり合格者を決定する。 (1) 面接の得点率が 20%未満の者は不合格とする。 また，各コース・系が指定する大学入学共通テストの総得点の得点率が，原則として 50%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 50%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テストと学力検査等の総得点の高い順に合格者を決定する。(中学校教育コースにおいては，出願時に届け出た入学後に専攻を希望する教科ごとに合格者を決定する。) (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 国　：国 地歴：「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」 「地総／歴総／公」 公民：「公，倫」，「公，政・経」 （から１又は２（注１）） 理　：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」， 「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１又は２（注３） （から３（注２）） 数　：「数Ⅰ」，「数Ⅰ，数Ａ」 「数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ」 （から１（注４）） 外　：英，独，仏，中，韓から１ 情　：情報Ⅰ ［６教科７科目］又は［７教科７科目］ ※「地総／歴総／公」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については２つを選択解答するため，選択解答した２つを１科目として採用する。 （注１）地歴・公民を２科目選択する場合 (1)「公，倫」と「公，政・経」を選択することはできない。 (2)「地総／歴総／公」を選択する場合は，選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称（「地総」と「地総，地探」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。 （注２）地歴・公民及び理科のそれぞれの第１解答科目を採用する。第２解答科目は高得点の科目を採用する。 （注３）「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する際に，同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。 （注４）数学を２科目受験している場合は，高得点科目を採用する。
出　願　期　間	令和６年 11 月１日（金）　～　令和６年 11 月７日（木）
試　験　日	令和６年 11 月 13 日（水）・令和６年 11 月 14 日（木）
合　格　者　発　表	令和７年 ２月 12 日（水）
そ　の　他	１．１学校あたりの推薦人員は，２人以内とする。 ２．入学後の所属する系は，離島・地域文化系とする。

<table>
<tr><td>実施学部・学科名</td><td>経済学部　　総合経済学科</td></tr>
<tr><td>募　集　人　員</td><td>２０人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td>次の 1，2 及び 3（3-1 又は 3-2）を満たすもの
1．合格した場合は，入学することを確約できる者
2．学習成績概評がＡ段階に属し，人物が優れ，高等学校長等が責任をもって推薦できる者
3-1．高等専門学校第 3 年次を令和 7 年 3 月修了見込みの者
3-2. 高等学校若しくは中等教育学校における専門教育を主とする学科若しくは総合学科を令和 7 年 3 月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部を令和 7 年 3 月に修了見込みの者。ただし，以下の(1)から(5)までのいずれかに該当する者には出願資格がない。
(1) 普通科に在籍している者
(2) 国語を主とする学科，系等に在籍し，下表の数学及び英語のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）
(3) 理数を主とする学科，系等に在籍し，下表の国語及び英語のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）
(4) 外国語又は国際関係を主とする学科，系等に在籍し，下表の国語及び数学のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）
(5) 専門教育を主とする学科，系等（国語，理数，外国語又は国際関係を主とする学科，系等を除く。）又は総合学科に在籍し，下表の国語，数学及び英語のすべての科目を履修した者（履修中を含む。）
<table>
<tr><td>教科</td><td>科　　目</td></tr>
<tr><td>国語</td><td>現代の国語，言語文化及び以下の科目を２科目以上
国語表現，論理国語，文学国語，古典探究</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>数学Ⅰ，数学Ａ，数学Ⅱ，数学Ｂ</td></tr>
<tr><td>英語</td><td>英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ（又は論理・表現Ⅲ），論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選　抜　方　法　等</td><td>大学入学共通テストを免除し，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，小論文（英語の問題を含む。）及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。
(1) 次のいずれかに該当する者は不合格とする。
（ア）小論文の得点率が 30%未満の者
（イ）面接の得点率が 40%未満の者
(2) (1)を除いた者の中から，小論文と面接の総得点の高い順に合格者を決定する。
(3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。</td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td>令和 6 年 11 月 1 日（金）　～　令和 6 年 11 月 7 日（木）</td></tr>
<tr><td>試　　験　　日</td><td>令和 6 年 11 月 21 日（木）</td></tr>
<tr><td>合　格　者　発　表</td><td>令和 6 年 12 月 2 日（月）</td></tr>
<tr><td>そ　　の　　他</td><td>１学校あたりの推薦人員は，５人以内とする。</td></tr>
</table>

【医　学　部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜ⅡＡ：長崎医療枠）

実施学部・学科名	**医学部　　医学科**
募　集　人　員	１５人
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和5年4月以降に修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** １．次のいずれかに該当するもの ①　長崎県内の小学校，中学校，高等学校又は中等教育学校を卒業した者 ②　長崎県内の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者 ③　長崎県内の特別支援学校の小学部，中学部若しくは高等部又は高等専門学校第3年次を修了した者 ④　長崎県内の特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を修了見込みの者 ２．地域医療を志し，学習成績概評がA段階に属する者で，人物に優れ，長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの ３．令和6年度「地域医療ゼミナール」を受講修了している者 ４．入学後は医学部医学科の所定のカリキュラムを履修し，大学卒業後は長崎大学病院及び長崎大学が指定する医療機関等で，①2年間の初期研修に従事すること，②初期研修終了後から引続き3年間の業務に従事することを確約できる者。 ５．大学入学共通テストで，医学部医学科が指定した教科・科目を受験する者 ６．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	(1) 面接の得点率が30%未満の者は不合格とする。 また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として75%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が75%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 出願時に届け出た第１希望及び第２希望に基づき，次のように合格者を決定する。 ① 第１希望について，(2)の総得点の高い順に合格者を決定する。 ② 第１希望の合格者で募集人員に満たない場合は，その不足した人員を第２希望の受験者を対象に(2)の総得点の高い順に合格者を決定する。 (4) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点が上位の者 (5)個別学力検査等の得点が小数第3位以下まである場合は，課す科目毎に小数第3位を切り捨てる。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 国　：　国 地歴　：　「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」 「地総／歴総／公」 公民　：　「公，倫」，「公，政・経」 } から１（注） 数　：　「数Ⅰ，数A」 「数Ⅱ，数B，数C」 理　：　「物理」，「化学」，「生物」から２ 外　：　英，独，仏 から１ 情　：　情報Ⅰ ［６教科８科目］ ※「地総／歴総／公」については２つを選択解答するため，選択解答した２つを１科目として採用する。 （注）地歴・公民を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。
出　願　期　間	令和6年12月9日（月）　～　令和6年12月17日（火）
試　　験　　日	令和7年1月24日（金）
合　格　者　発　表	令和7年2月12日（水）
そ　　の　　他	１．１学校あたりの推薦人員は，学校推薦型選抜ⅡＢと合わせて１２人以内とする。 ２．学校推薦型選抜ⅡＡ・Ｂは，入学希望順位を付して併せて出願することができる。 ただし，第２希望の出願は任意である。 ３．学校推薦型選抜ⅡＢを第２希望として出願する者は，長崎県の推薦を受け，小論文を受験すること。 ４．学校推薦型選抜ⅡＣ，Ｄのいずれとも併願することはできない。 ５．「地域医療ゼミナール」の概要 開講日時 令和6年8月3日（土）午後：講義，グループディスカッション・レポート作成 ※ ゼミナールにおいて提出されるレポート等は，入学者選抜時の面接の参考資料とする。

【医　学　部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜ⅡＢ：地域医療特別枠）

実施学部・学科名	医学部　医学科
募集人員	未定 ※詳細は４ページ「【医学部医学科】(1)募集人員について①地域の医師確保の観点による募集人員」参照
出願要件	高等学校又は中等教育学校を令和５年４月以降に卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和５年４月以降に修了した者及び令和７年３月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** １．次のいずれかに該当するもの ①　長崎県内の小学校，中学校，高等学校又は中等教育学校を卒業した者 ②　長崎県内の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者 ③　長崎県内の特別支援学校の小学部，中学部若しくは高等部又は高等専門学校第３年次を修了した者 ④　長崎県内の特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を修了見込みの者 ２．地域医療を志し，学習成績概評がＡ段階に属する者で，人物に優れ，長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの ３．長崎県の推薦がある者 ４．令和６年度「地域医療ゼミナール」を受講修了している者 ５．長崎県と本人及び保護者もしくは法定代理人が地域医療特別枠の従事要件等に同意していること。また，入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け，医学部医学科の所定のカリキュラムを履修し，在学中に「長崎県キャリア形成卒前支援プラン」の適用を受けること。また，大学卒業後は「長崎県キャリア形成プログラム」の適用を受け，新専門医制度における専門医選択について，原則として県指定基本領域（内科，小児科，外科，整形外科，産婦人科，救急科又は総合診療科）を選択し，長崎県が指定する医療機関等で一定期間勤務することを確約できる者 ６．大学入学共通テストで，医学部医学科が指定した教科・科目を受験する者 ７．合格した場合は，入学することを確約できる者
選抜方法等	(1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として 75%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 75%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト，小論文及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 出願時に届け出た第１希望及び第２希望に基づき，次のように合格者を決定する。 ① 第１希望について，(2)の総得点の高い順に合格者を決定する。 ② 第１希望の合格者で募集人員に満たない場合は，その不足した人員を第２希望の受験者を対象に(2)の総得点の高い順に合格者を決定する。 (4) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点が上位の者 (5)個別学力検査等の得点が小数第３位以下まである場合は，課す科目毎に小数第３位を切り捨てる。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 国　：　国 地歴　：　「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」 「地総／歴総／公」　} から１（注） 公民　：　「公，倫」，「公，政・経」 数　：　「数Ⅰ，数Ａ」 「数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ」 理　：　「物理」，「化学」，「生物」から２ 外　：　英，独，仏 から１ 情　：　情報Ⅰ［６教科８科目］　※ 「地総／歴総／公」については２つを選択解答するため，選択解答した２つを１科目として採用する。 （注）地歴・公民を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。
出願期間	令和６年 12 月９日（月）　～　令和６年 12 月 17 日（火）
試験日	令和７年１月 24 日（金）
合格者発表	令和７年２月 12 日（水）
その他	１．１学校あたりの推薦人員は，学校推薦型選抜ⅡＡと合わせて１２人以内とする。 ２．学校推薦型選抜ⅡＡ・Ｂは，入学希望順位を付して併せて出願することができる。 ただし，第２希望の出願は任意である。 ３．学校推薦型選抜ⅡＣ，Ｄのいずれとも併願することはできない。 ４．合格者の受験番号・氏名・住所・連絡先電話番号については，長崎県における医師修学資金の手続きで用いるため，本学から長崎県に提供する。よって，受験予定者はこのことに同意の上で出願すること。なお，本学では出願書類を受理した時点で同意したものとして取扱う。 ５．「長崎県医学修学資金」及び「長崎県キャリア形成プログラム」については，長崎県福祉保健部医療人材対策室（TEL.095-895-2421）まで問い合わせること。 ６．「地域医療ゼミナール」の概要 開講日時 令和６年８月３日（土）午後：講義，グループディスカッション・レポート作成 ※ ゼミナールにおいて提出されるレポート等は，入学者選抜時の面接の参考資料とする。

医学部医学科学校推薦型選抜ⅡＢの出願（学校推薦型選抜ⅡＡとの併願含む）について

１．長崎県による選考

学校推薦型選抜ⅡＢの志願者（学校推薦型選抜ⅡＡとの併願者を含む。以下「志願者」という。）は，長崎県による選考を行います。

本選考により，志願者としてふさわしいと判断されれば，「長崎県の推薦書」が交付されます。

「長崎県の推薦書」が交付されなかった場合，学校推薦型選抜ⅡＢ（学校推薦型選抜ⅡＡとの併願を含む。）へ出願することはできません。

なお，本選考については，直接下記に問い合わせいただくか，ホームページをご覧ください。

問合せ先：長崎県福祉保健部医療人材対策室
ホームページ：https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/iryo/isinoyousei/
TEL．０９５－８９５－２４２１

【注意事項】

本選考のために長崎県に提出した出願書類のうち，長崎大学医学部における選抜の際の資料として本学部が必要と認めた出願書類は，長崎県から本学部に提出されることがあります（※「長崎県の推薦書」が交付された者に限る。）。

２．併願

学校推薦型選抜ⅡＡと学校推薦型選抜ⅡＢは，それぞれ入学希望順位を付して併願することができます。この場合，インターネット出願登録時に入学希望順位の第１位を初めに，第２位を最後に選択して登録してください。

入学希望順位順に選択していない場合は，選考の対象外となるので注意してください。

なお，併願はあくまで任意であり，学校推薦型選抜ⅡＡあるいは学校推薦型選抜ⅡＢのどちらか一方のみの出願もできます。

３．出願書類

志願者は出願書類に注意してください。詳しくは「５．出願手続（４）出願書類②出願者が各自で準備するもの（52 ページ）」を参照してください。

【医　学　部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜ⅡＣ：佐賀県枠）

実施学部・学科名	**医学部　　医学科**
募　集　人　員	未定 ※詳細は 4 ページ「【医学部医学科】(1)募集人員について①地域の医師確保の観点による募集人員」参照
出　願　要　件	佐賀県内の高等学校を令和 5 年 4 月以降に卒業した者及び令和 7 年 3 月に卒業見込みの者，あるいは佐賀県内の特別支援学校の高等部を令和 5 年 4 月以降に修了した者及び令和 7 年 3 月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** 1．学習成績概評がA段階に属する者 2．人物に優れ，佐賀県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できる者 3．入学後は，6 年間の「佐賀県医師修学資金」の貸与を受け，在学中にキャリア形成卒前支援プランの適用を受けること。また，大学卒業後は「佐賀県キャリア形成プログラム」の適用を受け，2 年間の初期臨床研修（佐賀県内の基幹型臨床研修病院が設ける研修プログラムに限る）を含む 9 年間，佐賀県内の医療機関等で診療に従事することを確約し，佐賀県にその旨の確約書を提出した者（初期臨床研修の終了後は，総合診療科，内科，小児科，外科，産婦人科，脳神経外科，麻酔科又は救急科等の医師として，佐賀県キャリア形成プログラムに定める医療機関等で勤務すること。）。 4．大学入学共通テストで，医学部医学科が指定した教科・科目を受験する者 5．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	(1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として 75%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 75%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点が上位の者 (4) 個別学力検査等の得点が小数第 3 位以下まである場合は，課す科目毎に小数第 3 位を切り捨てる。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 国　：　国 地歴　：　「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」 「地総／歴総／公」　} から１（注） 公民　：　「公，倫」，「公，政・経」 数　：　「数Ⅰ，数A」 「数Ⅱ，数B，数C」 理　：　「物理」，「化学」，「生物」から２ 外　：　英，独，仏 から１ 情　：　情報Ⅰ ［６教科８科目］ ※「地総／歴総／公」については２つを選択解答するため，選択解答した２つを１科目として採用する。 （注）地歴・公民を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。
出　願　期　間	令和 6 年 12 月 9 日（月）　～　令和 6 年 12 月 17 日（火）
試　　験　　日	令和 7 年 1 月 24 日（金）
合　格　者　発　表	令和 7 年 2 月 12 日（水）
そ　　の　　他	1．１学校あたりの推薦人員は，２人以内とする。 2．学校推薦型選抜ⅡＡ，Ｂ，Ｃ（宮崎県枠），Ｄのいずれとも併願することはできない。 3．出願者の受験番号，氏名及び合否については，佐賀県における医師修学資金の手続き及び志望動向の調査・分析に用いるため，本学から佐賀県に提供する。よって，受験予定者はこのことに同意の上で出願すること。なお，本学では出願書類を受理した時点で同意したものとして取扱う。 4．「佐賀県医師修学資金」及び「佐賀県キャリア形成プログラム」については，佐賀県健康福祉部医務課医療人材政策室（TEL. 0952-25-7358）まで問い合わせること。

【医　学　部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜ⅡＣ：宮崎県枠）

実施学部・学科名	**医学部　　医学科**
募　集　人　員	未定 ※詳細は 4 ページ「【医学部医学科】(1)募集人員について①地域の医師確保の観点による募集人員」参照
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和5年4月以降に修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** 1．次のいずれかに該当するもの ① 宮崎県内の小学校，中学校，高等学校又は中等教育学校を卒業した者 ② 宮崎県内の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者 ③ 宮崎県内の特別支援学校の小学部，中学部若しくは高等部又は高等専門学校第3年次を修了した者 ④ 宮崎県内の特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を修了見込みの者 2．学習成績概評がA段階に属し，人物に優れた者で，高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 3．宮崎県の推薦がある者 4．入学後は「宮崎県医師修学資金」の貸与を受け，在学中に「宮崎県キャリア形成卒前支援プラン」の適用を受けること。また，大学卒業後は臨床研修及び専門研修を含む原則9年間「宮崎県キャリア形成プログラム」の適用を受け，県が指定する公的医療機関等で勤務し，同プログラムの満了に努めることを確約できる者 5．大学入学共通テストで，医学部医学科が指定した教科・科目を受験する者 6．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	(1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として 75%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 75%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点が上位の者 (4) 個別学力検査等の得点が小数第 3 位以下まである場合は，課す科目毎に小数第 3 位を切り捨てる。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 国　：　国 地歴　：　「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」 「地総／歴総／公」 公民　：　「公，倫」，「公，政・経」 } から1（注） 数　：　「数Ⅰ，数A」 「数Ⅱ，数B，数C」 理　：　「物理」，「化学」，「生物」から2 外　：　英，独，仏 から1 情　：　情報Ⅰ ［6教科8科目］ ※「地総／歴総／公」については2つを選択解答するため，選択解答した2つを1科目として採用する。 （注）地歴・公民を2科目受験している場合は，第1解答科目を採用する。
出　願　期　間	令和6年12月9日（月）　～　令和6年12月17日（火）
試　験　日	令和7年1月24日（金）
合　格　者　発　表	令和7年2月12日（水）
そ　の　他	1．1学校あたりの推薦人員は，2人以内とする。 2．学校推薦型選抜ⅡA，B，C（佐賀県枠），Dのいずれとも併願することはできない。 3．合格者の受験番号・氏名・住所・連絡先電話番号については，宮崎県における医師修学資金の手続きで用いるため，本学から宮崎県に提供する。よって，受験予定者はこのことに同意の上で出願すること。なお，本学では出願書類を受理した時点で同意したものとして取扱う。 4．「宮崎県医師修学資金」，「宮崎県キャリア形成卒前支援プラン」及び「宮崎県キャリア形成プログラム」については，宮崎県福祉保健部医療政策課（TEL.0985-26-7451）まで問い合わせること。

【医　学　部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜ⅡＤ：研究医枠）

実施学部・学科名	**医学部　　医学科**
募　集　人　員	４人＋α ※詳細は５ページ「【医学部医学科】(1)募集人員について②令和６年度までを期限とする暫定的な増員（地域枠除く）」参照
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校を令和５年４月以降に卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和５年４月以降に修了した者及び令和７年３月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** １．学習成績概評がＡ段階に属し，人物に優れた者で，高等学校長等が責任をもって推薦できるもの ２．入学後は所定のカリキュラムを履修し，大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学し，グローバルヘルスあるいは基礎医学研究等に貢献する者 ３．大学入学共通テストで，医学部医学科が指定した教科・科目を受験する者 ４．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	(1) 日本語及び英語によるいずれかの面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として 75%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 75%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト，日本語及び英語による面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接（学校推薦型選抜ⅡＤにおいては，日本語による面接）の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点が上位の者 (4) 個別学力検査等の得点が小数第３位以下まである場合は，課す科目毎に小数第３位を切り捨てる。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 国　：　国 地歴　：　「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」 「地総／歴総／公」　} から１（注） 公民　：　「公，倫」，「公，政・経」 数　：　「数Ⅰ，数Ａ」 「数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ」 理　：　「物理」，「化学」，「生物」から２ 外　：　英，独，仏 から１ 情　：　情報Ⅰ ［６教科８科目］ ※「地総／歴総／公」については２つを選択解答するため，選択解答した２つを１科目として採用する。 （注）地歴・公民を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。
出　願　期　間	令和６年 12 月９日（月）　～　令和６年 12 月 17 日（火）
試　験　日	令和７年１月 24 日（金）
合　格　者　発　表	令和７年２月 12 日（水）
そ　の　他	１．１学校あたりの推薦人員は，４人以内とする。 ２．学校推薦型選抜ⅡＡ，Ｂ，Ｃのいずれとも併願することはできない。 ３．入学後は，以下の４つのプログラムのいずれか１つに所属する。 ①研究医プログラム（基礎医学研究に貢献する者） ②熱帯医学プログラム（熱帯医学の基礎研究に貢献する者） ③国際保健プログラム（国際保健医療，放射線健康科学分野に貢献する者） ④法医学プログラム（法医学研究に貢献する者）

【医　学　部】　　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜①：一般推薦枠）

実施学部・学科名	**医学部　　保健学科**
募　集　人　員	看護学専攻　　１６人 理学療法学専攻　　３人 作業療法学専攻　　３人
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校を令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和７年３月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** １．医療技術者を志し，学習成績概評がＡ段階に属し，人物に優れ，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 ２．大学入学共通テストで，医学部保健学科が指定した教科・科目を受験する者 ３．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テストの成績，小論文（英語の問題を含む）及び面接の評価を総合して合格者を決定する。 ただし，小論文又は面接のいずれかの得点率が20%未満の者は不合格とする。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 国　：　国 数　：　「数Ⅰ」,「数Ⅰ，数Ａ」から１ 「数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ」 理　：　「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」,「化学」,「生物」から１（注） 外　：　英，独，仏，中，韓から１ 情　：　情報Ⅰ ［５教科６科目］ ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については，地学基礎を除く『物理基礎／化学基礎／生物基礎』から２つを選択解答することとし，選択解答した２つを１科目として採用する。 （注）理科を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。
出　願　期　間	令和６年12月９日（月）　～　令和６年12月17日（火）
試　　験　　日	令和７年１月31日（金）
合　格　者　発　表	令和７年２月12日（水）
そ　　の　　他	１．１学校あたりの推薦人員は制限しない。 ２．保健師，助産師国家試験受験資格について 保健師，助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため，学部教育では保健師国家試験，助産師国家試験受験資格を取得できない。

【医　学　部】　　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜②：離島看護師推薦枠）

実施学部・学科名	**医学部　　保健学科**
募　集　人　員	看護学専攻　　２人
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校を令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和７年３月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** １．学習成績概評がＡ段階に属し，人物に優れ，長崎県の離島医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できる者 ２．卒業後は，長崎県内の離島に勤務することを確約できる者 ３．大学入学共通テストで，医学部保健学科が指定した教科・科目を受験する者 ４．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テストの成績，小論文（英語の問題を含む）及び面接の評価を総合して合格者を決定する。 ただし，小論文又は面接のいずれかの得点率が 20%未満の者は不合格とする。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 国　：　国 数　：　「数Ⅰ」,「数Ⅰ，数Ａ」から１ 「数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ」 理　：　「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」,「化学」,「生物」から１（注） 外　：　英，独，仏，中，韓から１ 情　：　情報Ⅰ ［５教科６科目］ ※「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については，地学基礎を除く『物理基礎／化学基礎／生物基礎』から２つを選択解答することとし，選択解答した２つを１科目として採用する。 （注）理科を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。
出　願　期　間	令和６年 12 月９日（月）　～　令和６年 12 月 17 日（火）
試　　験　　日	令和７年１月 31 日（金）
合　格　者　発　表	令和７年２月 12 日（水）
そ　　の　　他	１．１学校あたりの推薦人員は制限しない。 ２．保健師，助産師国家試験受験資格について 保健師，助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため，学部教育では保健師国家試験，助産師国家試験受験資格を取得できない。

実施学部・学科名	**歯学部　　歯学科**
募　集　人　員	５人
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校を令和５年４月以降に卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和５年４月以降に修了した者及び令和７年３月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** １．学習成績概評がＡ段階に属する者で，人物に優れ，長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）まで進学することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの ２．入学後は歯学研究コース（大学院の進学を目指す学生を対象とした所定のカリキュラムコースで，第３年次から履修する。）を履修し，大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学することを確約できる者 ３．大学入学共通テストで，歯学部が指定した教科・科目を受験する者 ４．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テストの成績，小論文及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 (1) 面接の得点率が51%未満の者は不合格とする。 また，大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として65%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が65%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テストの得点と小論文，調査書，推薦書，志望理由書及び面接の得点の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 大学入学共通テストの総合計の得点が上位の者 ② 小論文の得点が上位の者 ③ 面接の得点が上位の者 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 国　：　国 地歴　：　「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」 「地総／歴総／公」　} から１（注） 公民　：　「公，倫」，「公，政・経」 数　：　「数Ⅰ，数Ａ」 「数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ」 理　：　「物理」，「化学」，「生物」から２ 外　：　英，独，仏 から１ 情　：　情報Ⅰ ［６教科８科目］ ※「地総／歴総／公」については２つを選択解答するため，選択解答した２つを１科目として採用する。 （注）地歴・公民を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。
出　願　期　間	令和６年12月９日（月）　～　令和６年12月17日（火）
試　　験　　日	令和７年１月24日（金）
合　格　者　発　表	令和７年２月12日（水）
そ　　の　　他	１学校あたりの推薦人員は制限しない。

実施学部・学科名	**薬学部　　薬学科**
募　集　人　員	6人
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和5年4月以降に修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** 1．地域医療を志し，学習成績概評がA段階に属する者で，人物に優れ，長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2．大学卒業後あるいは博士課程修了後，長崎大学病院あるいは長崎大学病院の推薦する病院，薬局等にて3年間，薬剤師業務に従事することを確約できる者 3．大学入学共通テストで，薬学部が指定した教科・科目を受験する者 4．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テストの成績及び個人面接の評価を総合して以下のとおり合格者を決定する。 (1) 面接の得点率が30%未満の者は不合格とする。 また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として70%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が70%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，調査書，推薦書，志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テストの総得点が上位の者 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 数　：「数Ⅰ，数A」 「数Ⅱ，数B，数C」 理　：「物理」，「生物」から1 「化学」 外　：英，独，仏，中，韓 から1 情　：情報Ⅰ ［4教科6科目］
出　願　期　間	令和6年12月9日（月）　～　令和6年12月17日（火）
試　験　日	令和7年1月23日（木）
合　格　者　発　表	令和7年2月12日（水）
そ　の　他	1学校あたりの推薦人員は制限しない。

【薬　学　部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

実施学部・学科名	**薬学部　　薬科学科**
募　集　人　員	4人
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和5年4月以降に修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** 1．薬学・生命科学分野の研究者・技術者を志し，学習成績概評がA段階に属する者で，人物に優れ，博士号の取得を目指して長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程又は博士課程まで進学することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2．令和6年度「長崎大学薬学部・薬科学ゼミナール」を受講修了している者 3．大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程に進学し，その後，博士号の取得を目指して同研究科博士後期課程又は博士課程に進学することを確約できる者 4．大学入学共通テストで，薬学部が指定した教科・科目を受験する者 5．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テストの成績及び個人面接の評価を総合して以下のとおり合格者を決定する。 (1) 面接の得点率が30%未満の者は不合格とする。 また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として60%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が60%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，調査書，推薦書，志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テストの総得点が上位の者 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 数　：「数Ⅰ，数A」 「数Ⅱ，数B，数C」 理　：「物理」，「生物」から1 「化学」 外　：英，独，仏，中，韓 から1 情　：情報Ⅰ ［4教科6科目］
出　願　期　間	令和6年12月9日（月）　～　令和6年12月17日（火）
試　験　日	令和7年1月23日（木）
合　格　者　発　表	令和7年2月12日（水）
そ　の　他	1．1学校あたりの推薦人員は制限しない。 2．「長崎大学薬学部・薬科学ゼミナール」の概要 令和6年8月17日（土）13時～17時 薬科学科の説明，長崎大学薬学部教員による先端研究に関する講義，グループ討論など

【情報データ科学部】　　〔学校推薦型選抜Ⅰ〕

（学校推薦型選抜：一般枠）

実施学部・学科名	**情報データ科学部　　情報データ科学科**
募　集　人　員	7 人
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校における**専門教育を主とする学科又は総合学科**を令和 5 年 4 月以降に卒業した者及び令和 7 年 3 月卒業見込みの者，あるいは，特別支援学校の高等部（専門教育を主とする学科）を令和 5 年 4 月以降に修了した者及び令和 7 年 3 月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの なお，女子が出願する場合は，「一般枠」，「女子枠」又は「一般枠と女子枠の併願」が選択でき，「一般枠と女子枠の併願」で出願した場合で，女子枠で合格した者は，一般枠の合格の対象としない。 1．学習指導要領に記載の主として専門学科において開設される各教科に属する科目のうち，**工業又は情報に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び**令和 7 **年 3 月までに修得見込みの者** 2．学習成績概評がＢ段階以上に属し，数学の学習成績の状況が 4.0 以上あり，人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 3．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	大学入学共通テストを免除し，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，小テスト（数学・情報関連科目）及び面接（英語能力及び適性を問う口述試験を含む。）の評価を総合して以下のとおり合格者を決定する。 (1) 面接の得点率が 33%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から，提出された書類等を参考に，小テスト及び面接（口述試験を含む）の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
出　願　期　間	令和 6 年 11 月 1 日（金）　～　令和 6 年 11 月 7 日（木）
試　　験　　日	令和 6 年 11 月 20 日（水）
合　格　者　発　表	令和 6 年 12 月 2 日（月）
そ　　の　　他	1．１学校あたりの推薦人員は制限しない。 2．入学手続者に対しては，入学前教育を行う。内容については，合格者発表後に通知する。

【情報データ科学部】　〔学校推薦型選抜Ⅰ〕

（学校推薦型選抜：女子枠）

実施学部・学科名	**情報データ科学部　情報データ科学科**
募集人員	3人
出願要件	高等学校又は中等教育学校における**専門教育を主とする学科又は総合学科**を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者，あるいは，特別支援学校の高等部（専門教育を主とする学科）を令和5年4月以降に修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの なお，女子が出願する場合は，「一般枠」，「女子枠」又は「一般枠と女子枠の併願」が選択でき，「一般枠と女子枠の併願」で出願した場合で，女子枠で合格した者は，一般枠の合格の対象としない。 1．学習指導要領に記載の主として専門学科において開設される各教科に属する科目のうち，**工業又は情報に関する教科・科目を20単位以上修得した者及び**令和7年3月までに**修得見込みの者** 2．学習成績概評がB段階以上に属し，数学の学習成績の状況が 4.0 以上あり，人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 3．合格した場合は，入学することを確約できる者
選抜方法等	大学入学共通テストを免除し，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，小テスト（数学・情報関連科目）及び面接（英語能力及び適性を問う口述試験を含む。）の評価を総合して以下のとおり合格者を決定する。 (1) 面接の得点率が33%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から，提出された書類等を参考に，小テスト及び面接（口述試験を含む）の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
出願期間	令和6年11月1日（金）　～　令和6年11月7日（木）
試験日	令和6年11月20日（水）
合格者発表	令和6年12月 2日（月）
その他	1．1学校あたりの推薦人員は制限しない。 2．入学手続者に対しては，入学前教育を行う。内容については，合格者発表後に通知する。

【情報データ科学部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜：一般枠）

実施学部・学科名	**情報データ科学部　情報データ科学科**
募集人員	8人
出願要件	高等学校又は中等教育学校を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者，あるいは，特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和5年4月以降に修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの なお，女子が出願する場合は，「一般枠」，「女子枠」又は「一般枠と女子枠の併願」が選択でき，「一般枠と女子枠の併願」で出願した場合で，女子枠で合格した者は，一般枠の合格の対象としない。 **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** 1．学習成績概評がB段階以上に属し，数学の学習成績の状況が 4.0 以上あり，人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2．大学入学共通テストで，情報データ科学部が指定した教科・科目を受験する者 3．合格した場合は，入学することを確約できる者
選抜方法等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テストの成績，課題作文及び面接の評価を総合して以下のとおり合格者を決定する。 (1) 以下のいずれかに該当する者は不合格とする。 （ア）大学入学共通テストの成績，課題作文及び面接の総得点の得点率が，原則として 60%未満の者。ただし，大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）を考慮して，総得点の得点率が 60%未満の者でも不合格者としない場合がある。 （イ）面接の得点率が 33%未満の者 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テスト，課題作文及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 数　：「数Ⅰ，数A」 「数Ⅱ，数B，数C」 理　：「物理」，「化学」，「生物」，「地学」 から1（注） 外　：英 情　：情報Ⅰ ［4教科5科目］ （注）理科を2科目受験している場合は，第1解答科目を採用する。
出願期間	令和6年12月9日（月）　～　令和6年12月17日（火）
試験日	令和7年1月30日（木）
合格者発表	令和7年2月12日（水）
その他	1学校あたりの推薦人員は制限しない。

【情報データ科学部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

(学校推薦型選抜：女子枠)

実施学部・学科名	**情報データ科学部　情報データ科学科**
募集人員	7人
出願要件	高等学校又は中等教育学校を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者，あるいは，特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和5年4月以降に修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの なお，女子が出願する場合は，「一般枠」，「女子枠」又は「一般枠と女子枠の併願」が選択でき，「一般枠と女子枠の併願」で出願した場合で，女子枠で合格した者は，一般枠の合格の対象としない。 **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** 1．学習成績概評がB段階以上に属し，数学の学習成績の状況が 4.0 以上あり，人物が優秀で，大学教育を受けるにふさわしい能力，適性を備え，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2．大学入学共通テストで，情報データ科学部が指定した教科・科目を受験する者 3．合格した場合は，入学することを確約できる者
選抜方法等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テストの成績，課題作文及び面接の評価を総合して以下のとおり合格者を決定する。 (1) 以下のいずれかに該当する者は不合格とする。 （ア）大学入学共通テストの成績，課題作文及び面接の総得点の得点率が，原則として 60%未満の者。ただし，大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）を考慮して，総得点の得点率が 60%未満の者でも不合格者としない場合がある。 （イ）面接の得点率が 33%未満の者 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テスト，課題作文及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 数　：「数Ⅰ，数A」 「数Ⅱ，数B，数C」 理　：「物理」，「化学」，「生物」，「地学」 から1（注） 外　：英 情　：情報Ⅰ ［4教科5科目］ （注）理科を2科目受験している場合は，第1解答科目を採用する。
出願期間	令和6年12月9日（月）　～　令和6年12月17日（火）
試験日	令和7年1月30日（木）
合格者発表	令和7年2月12日（水）
その他	1学校あたりの推薦人員は制限しない。

【工学部】　　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

（学校推薦型選抜：一般枠）

<table>
<tr><td>実施学部・学科名</td><td colspan="2">工学部　　工学科</td></tr>
<tr><td rowspan="5">募　集　人　員</td><td>機械工学コース</td><td>７人</td></tr>
<tr><td>電気電子工学コース</td><td>６人</td></tr>
<tr><td>構造工学コース</td><td>７人</td></tr>
<tr><td>社会環境デザイン工学コース</td><td>２人</td></tr>
<tr><td>化学・物質工学コース</td><td>８人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td colspan="2">高等学校又は中等教育学校を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者，あるいは，特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和5年4月以降に修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの
なお，女子が出願する場合は，「一般枠」，「女子枠」又は「一般枠と女子枠の併願」のいずれか１つの枠を選択できる。出願の際，志望するコースを選択する必要があるが，「一般枠と女子枠の併願」で出願した場合，「一般枠」と「女子枠」とで異なるコースを選択することはできない。
また，「一般枠と女子枠の併願」で出願した場合で，女子枠で合格した者は，一般枠の合格の対象としない。
（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）
１．工学を志し，全体の学習成績の状況が 3.6 以上あり，人物，学業に優れ，高等学校長等が責任をもって推薦できる者
２．大学入学共通テストで，工学部が指定した教科・科目を受験する者
３．合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>選　抜　方　法　等</td><td colspan="2">高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の成績等を審査し，その結果を総合して以下のとおり合格者を決定する。
(1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。
また，大学入学共通テストと面接の総得点の得点率が，原則として 60%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮し，総得点の得点率が 60%未満の者でも不合格者としない場合がある。
(2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テストと面接の総得点の高い順に合格者を決定する。
(3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。

【大学入学共通テスト指定教科・科目】
数　：「数Ⅰ，数A」
「数Ⅱ，数B，数C」
理　：「物理」
「化学」
情　：情報Ⅰ
［３教科５科目］</td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td colspan="2">令和 6 年 12 月 9 日（月）　～　令和 6 年 12 月 17 日（火）</td></tr>
<tr><td>試　験　日</td><td colspan="2">令和 7 年 1 月 28 日（火）</td></tr>
<tr><td>合 格 者 発 表</td><td colspan="2">令和 7 年 2 月 12 日（水）</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="2">１学校あたりの推薦人員は制限しない。</td></tr>
</table>

（学校推薦型選抜：女子枠）

実施学部・学科名	工学部　工学科	
募集人員	機械工学コース	１２人
	電気電子工学コース	
	構造工学コース	
	社会環境デザイン工学コース	
	化学・物質工学コース	
出願要件	高等学校又は中等教育学校を令和5年4月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者，あるいは，特別支援学校の高等部又は高等専門学校第3年次を令和5年4月以降に修了した者及び令和7年3月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの なお，女子が出願する場合は，「一般枠」，「女子枠」又は「一般枠と女子枠の併願」のいずれか１つの枠を選択できる。出願の際，志望するコースを選択する必要があるが，「一般枠と女子枠の併願」で出願した場合，「一般枠」と「女子枠」とで異なるコースを選択することはできない。 また，「一般枠と女子枠の併願」で出願した場合で，女子枠で合格した者は，一般枠の合格の対象としない。 **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** １．工学を志し，全体の学習成績の状況が 3.6 以上あり，人物，学業に優れ，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 ２．大学入学共通テストで，工学部が指定した教科・科目を受験する者 ３．合格した場合は，入学することを確約できる者	
選抜方法等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の成績等を審査し，その結果を総合して以下のとおり合格者を決定する。 (1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 また，大学入学共通テストと面接の総得点の得点率が，原則として 60%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮し，総得点の得点率が 60%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テストと面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。 【大学入学共通テスト指定教科・科目】 数　：「数Ⅰ，数A」 「数Ⅱ，数B，数C」 理　：「物理」 「化学」 情　：情報Ⅰ ［３教科５科目］	
出願期間	令和 6 年 12 月 9 日（月）　～　令和 6 年 12 月 17 日（火）	
試験日	令和 7 年 1 月 28 日（火）	
合格者発表	令和 7 年 2 月 12 日（水）	
その他	１学校あたりの推薦人員は制限しない。	

<table>
<tr><td>実施学部・学科名</td><td colspan="2">環境科学部　　環境科学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">募　集　人　員</td><td>選抜方法Ａ（文系受験）</td><td>９人</td></tr>
<tr><td>選抜方法Ｂ（理系受験）</td><td>９人</td></tr>
<tr><td>出　願　要　件</td><td colspan="2">高等学校又は中等教育学校を令和５年４月以降に卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者，あるいは特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和５年４月以降に修了した者及び令和７年３月に修了見込みの者で，次の各号に該当するもの
（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）
１．環境科学を志し，人物，学業に優れ，高等学校長等が責任をもって推薦できる者
２．大学入学共通テストで，環境科学部が指定した教科・科目を受験する者
３．合格した場合は，入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>選　抜　方　法　等</td><td colspan="2">高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の成績等を審査し，その結果を総合して以下のように合格者を決定する。
(1) 面接の得点が 50 点未満の者は不合格とする。
(2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テスト，調査書及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。
(3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。

【大学入学共通テスト指定教科・科目】
選抜方法Ａ（文系受験）
国　：国
地歴　：「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」「地総／歴総／公」　｝から１（注１）
公民　：「公，倫」，「公，政・経」　｝から１（注１）
数　：「数Ⅰ」，「数Ⅰ，数Ａ」から１「数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ」
理　：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１（注２）
外　：英，独，仏，中，韓から１
情　：情報Ⅰ
［６教科７科目］

選抜方法Ｂ（理系受験）
国　：国
地歴　：「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」「地総／歴総／公」　｝から１（注１）
公民　：「公，倫」，「公，政・経」　｝から１（注１）
数　：「数Ⅰ，数Ａ」「数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ」
理　：「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１（注２）
外　：英，独，仏，中，韓から１
情　：情報Ⅰ
［６教科７科目］

※「地総／歴総／公」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については２つを選択解答するため，選択解答した２つを１科目として採用する。
（注１）地歴・公民を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。
（注２）理科を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。</td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td colspan="2">令和６年 12 月９日（月）　～　令和６年 12 月 17 日（火）</td></tr>
<tr><td>試　　験　　日</td><td colspan="2">令和７年１月 31 日（金）</td></tr>
<tr><td>合　格　者　発　表</td><td colspan="2">令和７年２月 12 日（水）</td></tr>
<tr><td>そ　　の　　他</td><td colspan="2">１学校あたりの推薦人員は，制限しない。</td></tr>
</table>

【水　産　学　部】　〔学校推薦型選抜Ⅱ〕

実施学部・学科名	**水産学部　　水産学科**
募　集　人　員	２５人
出　願　要　件	高等学校又は中等教育学校を令和７年３月卒業見込みの者，あるいは，特別支援学校の高等部又は高等専門学校第３年次を令和７年３月修了見込みの者で，次の各号に該当するもの **（本学では，過去の大学入学共通テストの成績は利用しない。）** １．学習成績概評がＢ段階以上に属し，人物が優秀で，高等学校長等が責任をもって推薦できる者 ２．大学入学共通テストで，水産学部が指定した教科・科目を受験する者 ３．合格した場合は，入学することを確約できる者
選　抜　方　法　等	高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の評価を総合して以下のように合格者を決定する。 (1) 面接の得点率が 21%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テストと面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。 【大学共通テスト指定教科・科目】 国　：　国 地歴　：　「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」 「地総／歴総／公」　} から１（注１） 公民　：　「公，倫」，「公，政・経」 数　：　「数Ⅰ，数Ａ」 「数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ」 理　：　「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」， 「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２（注２） 外　：　英，独，仏，中，韓から１ 情　：　情報Ⅰ ［６教科８科目］ ※「地総／歴総／公」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については２つを選択解答するため，選択解答した２つを１科目として採用する。 （注１）地歴・公民を２科目受験している場合は，第１解答科目を採用する。 （注２）「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する際に，同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。
出　願　期　間	令和６年 11 月１日（金）　～　令和６年 11 月７日（木）
試　　験　　日	令和６年 11 月 14 日（木）
合　格　者　発　表	令和７年２月 12 日（水）
そ　　の　　他	１．１学校あたりの推薦人員は制限しない。 ２．志願者が多数の場合は，面接が 11 月 15 日（金）にわたることがある。

実施教科・科目等及び配点

区分	学部学科等名		大学入学共通テスト・学力検査等の配点等																	
			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	課題作文	面接	英語面接	小テスト	志望理由書	調査書	推薦書	配点合計
学校推薦型選抜Ⅱ	多文化社会学部	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	共通テスト	80	*40		40	40	80	10									290
			学力検査等										170			30	(注4)	(注4)	200
			計	80	*40		40	40	80	10			170			30			490
学校推薦型選抜Ⅱ	教育学部	小学校教育コース 学校推薦型選抜A・B	共通テスト	100	*100 *50		100	*50 *100	100	10									460
			学力検査等								200		100						300
			計	100	*100 *50		100	*50 *100	100	10	200		100						760
		中学校教育コース 文系	共通テスト	200	*200				200										600
			学力検査等										300						300
			計	200	*200				200				300						900
		中学校教育コース 理系	共通テスト				500(注5)												500
			学力検査等										300				200		500
			計				500(注5)						300				200		1000
		幼児教育コース	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	*100									200
			学力検査等										200						200
			計	100	*100	*100	*100	*100	*100	*100			200						400
		特別支援教育コース	共通テスト	*100	*100	*100	*100	*100	*100	*100									100
			学力検査等								100		120						220
			計	*100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	100		120						320
学校推薦型選抜Ⅰ	経済学部	総合経済学科	共通テスト																
			学力検査等								80		20						100
			計								80		20						100
学校推薦型選抜Ⅱ	医学部	医学科 学校推薦型選抜ⅡA/C	共通テスト	200	*100		200	200	200	30									930
			学力検査等										120			80			200
			計	200	*100		200	200	200	30			120			80			1130
		医学科 学校推薦型選抜ⅡB	共通テスト	600(注6)															600
			学力検査等								100		120			80			300
			計	600(注6)							100		120			80			900
		医学科 学校推薦型選抜ⅡD	共通テスト	200	*100		200	200	200	30									930
			学力検査等										120	100		80			300
			計	200	*100		200	200	200	30			120	100		80			1230
		保健学科 (学校推薦型選抜①・②)	共通テスト	50			50	50	50	8									208
			学力検査等								100		90			10			200
			計	50			50	50	50	8	100		90			10			408
学校推薦型選抜Ⅱ	歯学部	歯学科	共通テスト	200	*100		200	250	250	100									1100
			学力検査等								150		100			50			300
			計	200	*100		200	250	250	100	150		100			50			1400
学校推薦型選抜Ⅱ	薬学部	薬学科	共通テスト				200	200	200	20									620
			学力検査等										120			80			200
			計				200	200	200	20			120			80			820
		薬科学科	共通テスト				200	200	200	20									620
			学力検査等										120			80			200
			計				200	200	200	20			120			80			820

区分	学部学科等名			大学入学共通テスト・学力検査等の配点等																	
				試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	課題作文	面接	英語面接	小テスト	志望理由書	調査書	推薦書	配点合計
学校推薦型選抜Ⅰ	情報データ科学部	情報データ科学科		共通テスト																
				学力検査等										100		100				200
				計										100		100				200
学校推薦型選抜Ⅱ		情報データ科学科		共通テスト				200	100	100	30									430
				学力検査等									100	100						200
				計				200	100	100	30		100	100						630
学校推薦型選抜Ⅱ	工学部	一般枠	機械工学コース	共通テスト				200	200		20									420
				学力検査等										100						100
				計				200	200		20			100						520
			電気電子工学コース	共通テスト				200	200(注7)		20									420
				学力検査等										100						100
				計				200	200(注7)		20			100						520
			構造工学コース	共通テスト				250	150(注7)		20									420
				学力検査等										100						100
				計				250	150(注7)		20			100						520
			社会環境デザイン工学コース	共通テスト				200	200		20									420
				学力検査等										100						100
				計				200	200		20			100						520
			化学・物質工学コース	共通テスト				200	200		20									420
				学力検査等										100						100
				計				200	200		20			100						520
		女子枠	全コース	共通テスト				200	200		20									420
				学力検査等										100						100
				計				200	200		20			100						520
学校推薦型選抜Ⅱ	環境科学部	選抜方法A(文系受験)		共通テスト	200	*200		100	100	200	20									820
				学力検査等										150				50		200
				計	200	*200		100	100	200	20			150				50		1020
		選抜方法B(理系受験)		共通テスト	100	*100		200	200	200	20									820
				学力検査等										150				50		200
				計	100	*100		200	200	200	20			150				50		1020
学校推薦型選抜Ⅱ	水産学部	水産学科		共通テスト	50(注8)															50
				学力検査等										100						100
				計	50(注8)									100						150

注１）「学校推薦型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないもの，「学校推薦型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものを表す。

２）配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

３）大学入学共通テストの配点は，配点等欄のとおり換算して利用する教科等がある。なお，外国語（英語）の配点（200点満点）は，「リーディング（100点満点）」，「リスニング（100点満点）」の1：1の比率となっているが，「リーディング（160点満点）」，「リスニング（40点満点）」の4：1の比率に変更し，その合計得点を各学部・学科等の配点に換算する。なお，リスニング免除者においては，リーディング（100点満点）を2倍したものを外国語の得点とし，各学部の配点に換算する。

４）調査書と推薦書については，面接の中で評価をおこなう。

５）数学（200点満点），理科（200点満点），外国語（50点満点）の合計得点（450点満点）を500点満点に換算する。

６）国語（200点満点），地歴・公民（100点満点），数学（200点満点），理科（200点満点），外国語（200点満点），情報（30点満点）の合計得点（930点満点）を600点満点に換算する。

７）電気電子工学コースにあっては物理（150点満点）と化学（50点満点）の合計200点満点に，構造工学コースにあっては物理（100点満点）と化学（50点満点）の合計150点満点に換算する。

８）国語（200点満点），地歴・公民（100点満点），数学（200点満点），理科（200点満点），外国語（200点満点），情報（20点満点）の合計得点（920点満点）を50点満点に換算する。

【 教科・科目名の表記方法について 】

大学入学共通テストの出題教科・科目名は，次のように略してあります。

教科名		科目名			
略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
国	国語	国	国語		
地歴	地理歴史	地総，地探	地理総合，地理探究	歴総，日探	歴史総合，日本史探究
		歴総，世探	歴史総合，世界史探究		
		地総／歴総／公	地理総合／歴史総合／公共		
公民	公民	公，倫	公共，倫理	公，政・経	公共，政治・経済
数	数学	数Ⅰ	数学Ⅰ	数Ⅰ，数A	数学Ⅰ，数学A
		数Ⅱ，数B，数C	数学Ⅱ，数学B，数学C		
理	理科	科目名については略していない。			
外	外国語	英	英語	独	ドイツ語
		仏	フランス語	中	中国語
		韓	韓国語		
情	情報	科目名については略していない。			

【 大学入学共通テストの「地理歴史，公民」及び「理科」の出題方法等について 】

教科	出題科目	出題方法(出題範囲，出題科目選択の方法等)
地理歴史 公民	『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『公共，倫理』 『公共，政治・経済』 →(b) 『地理総合／歴史総合／公共』→(a) (a)：必履修科目を組み合わせた出題科目 (b)：必履修科目と選択科目を組み合わせた出題科目	・左記出題科目の６科目のうちから最大２科目を選択し，解答する。 ・(a)の『地理総合／歴史総合／公共』は，「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」の３つを出題範囲とし，そのうち２つを選択解答する（配点は各 50 点）。 ・２科目を選択する場合，以下の組合せを選択することはできない。 (b)のうちから２科目を選択する場合 『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできない。 (b)のうちから１科目及び(a)を選択する場合 (b)については，(a)で選択解答するものと同一名称を含む科目を選択することはできない。**※ 下表を参照。**
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物　理』 『化　学』 『生　物』 『地　学』	・左記出題科目の５科目のうちから最大２科目を選択し，解答する。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」の４つを出題範囲とし，そのうち２つを選択解答する（配点は各 50 点）。

※受験する科目数は，大学入学共通テストの出願時に申し出る。

		(a)		
		「地理総合」「歴史総合」	「地理総合」「公共」	「歴史総合」「公共」
(b)	『地理総合，地理探究』	×	×	○
	『歴史総合，日本史探究』	×	○	×
	『歴史総合，世界史探究』	×	○	×
	『公共，倫理』	○	×	×
	『公共，政治・経済』	○	×	×

５．出願手続

(1) 出願方法

インターネット出願

本学ホームページ「入試情報」→「入試情報サイト」→「インターネット出願」からインターネット出願システムを利用して出願します。

https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/

出願書類の様式は，https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/application/からダウンロードしてください。

【注　意】

インターネット出願は，インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願完了にはなりません。以下の出願の流れに沿って①から④までの手続きを行い，必要書類を出願締切日時までに本学に必着するよう郵送してください。

【インターネットを利用した出願の流れ】

①募集要項の確認（ダウンロード）（事前準備書類の印刷）



本学HP「入試情報サイト」から「募集要項」をダウンロードし，受験希望の学部・学科等の出願条件・試験科目・出願期間や試験日等を確認します。

※志望理由書等，事前に自分で印刷して準備する書類もありますので，ご注意ください。

②出願情報の登録（一時保存機能付き）



パソコン又はスマートフォンから本学HP「入試情報サイト」のインターネット出願ページにアクセスし，画面の指示に従って登録内容を入力します。

【登録内容】◎入試区分の選択　◎学部・学科・受験科目等の選択
◎氏名・連絡先等の個人情報の入力

※一時保存機能により，検定料支払い前に学校の先生や保護者の方の確認も可能です。

※登録後に発行される整理番号とセキュリティコードは，受験票を印刷する際に必要となりますので，必ずメモをとる等して控えてください。

※検定料支払い後は，登録内容の変更はできませんので，支払い前に再度確認してください。

③支払い方法の選択・支払い



入学検定料の支払い方法を選択します。

【支払い方法】◎クレジットカード　◎コンビニエンスストア　◎銀行ATM（ペイジー）
◎ネットバンキング

選択した支払い方法に従って，**出願締切日時までに出願書類を郵送（必着）できるように**入学検定料を支払います。

④必要書類の印刷・郵送



インターネット出願システムから出願確認票を印刷し，自分で準備した調査書等の必要書類とともに封筒に入れます。
その封筒にシステムから印刷した宛名ラベルを貼り，長崎大学へ出願締切日時までに**必着**するように**郵送し，出願完了**となります。

【インターネット出願操作に関わるお問い合わせ】

出願受付操作サポート窓口　TEL　0120-752-257

お問い合わせの前に，以下の「よくある質問(Q&A)」をご確認ください。

アドレス　https://www.guide.52school.com/guidance/net-nagasaki-u/faq/

(2) インターネット出願登録開始日及び検定料支払開始日

区　分	学　部　等	出願登録開始日及び検定料支払開始日
学校推薦型 選抜Ⅰ	経済学部，情報データ科学部	**令和 6 年 10 月 25 日（金）**
学校推薦型 選抜Ⅱ	多文化社会学部，教育学部，水産学部	**令和 6 年 10 月 25 日（金）**
	医学部，歯学部，薬学部，情報データ科学部，工学部，環境科学部	**令和 6 年 12 月　9 日（月）**

注）下記の出願締切日時までに出願書類を提出できるように登録及び支払いを済ませてください。

(3) 出願期間(出願書類提出期間)

注）郵送受付のみ可(持参受付は行いませんので，郵便事情を考慮し，余裕をもって出願してください。)

区　分	学　部　等	出願期間	出願締切日時
学校推薦型 選抜Ⅰ	経済学部，情報データ科学部	令和 6 年 11 月　1 日（金） ～ 令和 6 年 11 月　7 日（木）	**11 月　7 日（木） 17 時必着（持参不可）**
学校推薦型 選抜Ⅱ	多文化社会学部，教育学部，水産学部	令和 6 年 11 月　1 日（金） ～ 令和 6 年 11 月　7 日（木）	**11 月　7 日（木） 17 時必着（持参不可）**
	医学部，歯学部，薬学部，情報データ科学部，工学部，環境科学部	令和 6 年 12 月　9 日（月） ～ 令和 6 年 12 月 17 日（火）	**12 月 17 日（火） 17 時必着（持参不可）**

注）出願書類等を郵送する際は，**市販の角形２号封筒に<u>インターネット出願システムから印刷した宛名ラベル</u>を必ず貼り付け，速達簡易書留とし，各出願締切日の 17 時までに必着**するよう郵送してください。出願書類について到着確認をしたい場合は，簡易書留郵便のお問い合わせ番号（引受番号）により，郵便追跡サービスで確認してください。

(4) 出　願　書　類

・下記の①～③の書類を提出してください。

・各書類の提出を要する学部については表の右側を参照してください。

①インターネット出願システムから印刷するもの
必ずＡ４サイズでカラー印刷してください。

出　願　書　類　等	摘　　要	該当学部
出　願　確　認　票	出願内容等に間違いがないか確認して，インターネット出願システム登録後に印刷してください（出願確認票と宛名ラベルは，証明写真のアップロードと検定料の支払いが完了しないと印刷できません。）。 出願確認票は大学へ郵送する書類です。 宛名ラベルは出願書類郵送時に封筒に貼付（糊付け可）してください。 **※多文化社会学部・教育学部・水産学部の出願者は，出願確認票を再度印刷して大学へ郵送する必要があります。 （詳細は 56 ページの「９．大学入学共通テスト成績請求票の提出（学校推薦型選抜Ⅱ志願者のみ)」を参照）**	**全学部**
宛　名　ラ　ベ　ル		

②出願者が各自で準備するもの

出願書類等	摘要	該当学部
調査書	以下のうち該当するものを郵送してください。 1．高等学校又は中等教育学校卒業（卒業見込み）の者，あるいは特別支援学校の高等部修了（修了見込み）の者 文部科学省が定めた様式により，出身学校長が作成し厳封したもの（1年以内に証明されたものであること。）。 ただし，特別な事情により調査書が得られない場合は，卒業証明書，成績通信簿（写）等を提出すること。この場合，学校長からの「調査書が発行できない旨の文書」を添付すること。なお，特別な事情とは，被災・廃校・記録の保存期間の経過その他の事情によるもののことである。 2．高等専門学校第３年次修了（修了見込み）の者 調査書の様式に準じて出身学校長が作成したもの	**全学部**
卒業（修了）証明書	出願要件に指定されている県以外の高等学校を卒業した者及び卒業見込みの場合は，出願要件に指定されている県の小学校，中学校いずれかの卒業証明書等を郵送してください。（卒業証書の写し等でも可）	**医学部医学科学校推薦型選抜ⅡA,B,C（宮崎県枠）志願者で，出願要件（出身県）の確認が必要な者**
地域医療ゼミナール受講修了証	長崎大学医学部医学科で令和６年８月３日に実施した令和６年度地域医療ゼミナールの受講修了証（原本）を郵送してください。	**医学部医学科学校推薦型選抜ⅡA 及びⅡB**
長崎県の推薦書	長崎県所定の様式による推薦書を郵送してください。	**医学部医学科学校推薦型選抜ⅡB（学校推薦型選抜ⅡAとの併願者を含む。）**
佐賀県の確認書	佐賀県所定の様式による確認書を郵送してください。	**医学部医学科学校推薦型選抜ⅡC（佐賀県枠）**
宮崎県の推薦書	宮崎県所定の様式による推薦書を郵送してください。	**医学部医学科学校推薦型選抜ⅡC（宮崎県枠）**
長崎大学薬学部・薬科学ゼミナール受講修了証	長崎大学薬学部薬科学科で令和６年８月１７日に実施した令和６年度長崎大学薬学部・薬科学ゼミナールの受講修了証（原本）を郵送してください。	**薬学部薬科学科学校推薦型選抜Ⅱ**

検　定　料	**１７，０００円** ①　支払期間 　前記「**(2)インターネット出願登録開始日及び検定料支払開始日**」を参照 ②　支払に際しての留意事項 　支払い時に別途必要な手数料は，入学志願者本人の負担となる。 ③　既納の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しない。 　検定料を支払ったが長崎大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合又は検定料を誤って二重に支払った場合には,支払った者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は，原則，入学志願者本人の負担とする。なお，返還の申し出は，出願期間の最終日から 14 日以内とする。 **問い合わせ先：長崎大学学生支援部入試課 TEL 095-819-2113**	**全学部**

注）改姓等がある場合は証明する書類を併せて提出すること。

③本学所定の用紙（ＨＰに掲載）を印刷し作成するもの
必ずＡ４サイズで印刷してください（両面印刷で提出してください）。

出願書類等	摘　　要	該当学部等
推　薦　書	50 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙により学校長が作成（Word 作成可）し厳封したものを郵送してください。	**全学部**
プレゼンテーション資料	50 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙により本人が作成（Word 作成可）したものを郵送してください。 作成する際には，様式内に記載されている「作成上の注意事項」を必ず確認してください。	**多文化社会学部**
志望理由書	50 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が記入したものを郵送してください。	**教育学部及び経済学部以外の全学部**
確　約　書	50 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人及び保護者が署名したものを郵送してください。	**歯学部**
志願調書	50 ページの URL からダウンロードした本学所定の用紙に本人が署名したものを郵送してください。	**薬学科**

注）「推薦書」及び「志望理由書」において，新型コロナウイルス感染症対策の影響により，部活動等の大会や資格・検定試験等の成果を記載できない場合は，その成果獲得に向けた努力のプロセス等を記載してください。
　なお，記載内容については他の出願書類と併せて総合的に評価します。

(5) 注　意　事　項

① 出願書類を郵送した時点で出願の意思ありと判断するため，それ以降の出願取消の申し出には一切応じない。
② 志望する学部・学科・コース等は，出願後に変更することは一切認めない。
③ 出願書類等に不備がある場合は，本学学生支援部入試課から電話等により連絡することがある。出願書類に不備があり解消されない場合は，出願を受理できないことがあるので，「記入もれ」，「誤記」など不備がないよう十分確認すること。
④ 一旦受理した出願書類等はいかなる理由があっても返還しない。
⑤ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は，入学許可を取り消すことがある。
⑥ 本学の学力検査等及び大学入学共通テストにおいて，志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全て受験していなければ，合格者とはなれない。

６．障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で，受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は，原則として出願期間開始２週間前までに下記の内容を記載した申請書（任意様式）に医師の診断書を添え，学生支援部入試課へ提出し，事前に相談すること。申請書等の内容を検討の上，配慮について通知する。上記期限経過後でも可能な限り事前相談に応じるが，十分な対応が出来なくなることもある。

入学者選抜において，事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

なお，必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行うこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

【申請書の内容】

（志願者の郵便番号・住所・氏名・連絡先電話番号・FAX 番号等を明記すること。）

①入試区分・志願学部・学科（コース・専攻）　②障がいの種類・程度
③受験上の配慮を希望する事項　④修学上の配慮を希望する事項
⑤出身学校等でとられていた配慮　⑥日常生活の状況
⑦大学入学共通テストにおいて，受験上の配慮決定通知を受けた者は，「大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（写）」を添付すること。

☆ 本学では，長崎大学障がい学生支援室を設置して，障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

○申請先：〒852-8521　長崎市文教町 1-14 長崎大学学生支援部入試課　（TEL. 095-819-2113）

７．長期履修制度

長期履修制度の内容及び申請に係る詳細（申請期間，申請できる学年等）は，各学部により異なるので，事前に入学を希望する学部の担当部署へ照会すること。

〇長期履修制度について

長期履修制度とは，職業を有している等の事情により標準修業年限では修学困難な者に対して，標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるものです。

長期履修を認められた者は，通常の標準修業年限において支払う授業料の総額を，長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は，次のいずれかに該当する者で，標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものとします。

① 職業を有し，就業している者　② 家事，育児，介護等に従事している者
③ 障がいのある者　④ その他相当の事由があると認められる者

【各学部照会先一覧】

学部（学科）	電話番号	担当部署	
多文化社会学部	095－819－2030	人文社会科学域事務部	多文化・教育学事務課（多文化）
教育学部	095－819－2266		多文化・教育学事務課（教育）
経済学部	095－820－6311		経済学事務課
医学部医学科	095－819－7010	生命医科学域・研究所事務部	学務課
医学部保健学科	095－819－7909		学務課
歯学部	095－819－7613		歯学系事務室
薬学部	095－819－2416		薬学系事務室
情報データ科学部	095－800－4190	総合生産科学域事務部	学務課　情報学務係
工学部	095－819－2490		学務課　工学学務係
環境科学部	095－819－2715		学務課　環境学務係
水産学部	095－819－2796		学務課　水産学務係

８．受験票の印刷

（１）受験票は，下記の期日の 11 時頃にインターネット出願システム上で印刷が可能となる（出願無資格者は印刷できない。）。

区　　分	学　　部　　等	受験票印刷開始日
学校推薦型選抜Ⅰ	経済学部，情報データ科学部	11 月 11 日（月）
学校推薦型選抜Ⅱ	多文化社会学部，教育学部，水産学部	11 月 11 日（月）
	医学部，歯学部，薬学部，情報データ科学部，工学部，環境科学部	12 月 20 日（金）

※　上記期日から１日経過しても受験票が印刷できない場合は，速やかに長崎大学入試課へ連絡すること（連絡先：℡095-819-2113）。

（２）**インターネット出願システムの申込確認画面から，整理番号とセキュリティコードを入力し，受験票を各自で印刷して試験当日持参すること。**

印刷の際は必ず**Ａ４サイズでカラー印刷（書き込み不可）**すること。

アドレス　https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/internet/

９．大学入学共通テスト成績請求票の提出（学校推薦型選抜Ⅱ志願者のみ）

学校推薦型選抜Ⅱの志願者は，大学入試センターから受験票とセットで送付される**大学入学共通テスト成績請求票**を貼付して郵送すること。

なお，**多文化社会学部，教育学部及び水産学部の学校推薦型選抜Ⅱの志願者**は，他の出願書類一式を先に郵送したうえ，**大学入学共通テスト成績請求票が届き次第**，出願時に提出した出願確認票を再度Ａ４サイズでカラー印刷し，大学入学共通テスト成績請求票（①）を所定欄に貼付け，②の締切日までに学生支援部入試課（③）まで郵送すること。

なお，**この成績請求票を提出しない場合は，合格者とはなれない。**また，期限までに提出できない者は学生支援部入試課へ連絡すること（連絡先：℡095-819-2113）。

① 出願確認票の所定欄には，大学入試センターから交付を受けた「**推薦令和７共通テスト成績請求票 国公立推薦型選抜用**」を貼ること。

② 郵送締切日：**令和７年１月７日（火）（必着）**

③ 郵送先：〒852-8521　長崎市文教町１－14　長崎大学学生支援部入試課

※郵送用の封筒には，出願時に使用した宛名ラベルは貼付しないこと。また，封筒の表面に「大学入学共通テスト成績請求票在中」と朱書きすること。

10. 試験日時・試験場

学部名等			試験日	試験科目	時間	試験場
多文化社会学部			令和6年11月30日（土）	面接(個人) (ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝを含む)	9:30 ～ 17:30予定	多文化社会学部
教育学部	小学校教育コース		令和6年11月13日（水）	小論文	13:30 ～ 15:10	教育学部
			令和6年11月14日（木）	面接(個人)	9:00 ～ 17:30予定	
	中学校教育コース	文系	令和6年11月14日（木）	面接(個人)	9:00 ～ 17:30予定	
		理系		面接(個人)	9:00 ～ 17:30予定	
	幼児教育コース			面接(個人)	9:00 ～ 17:30予定	
	特別支援教育コース		令和6年11月13日（水）	小論文	13:30 ～ 15:10	
			令和6年11月14日（木）	面接(個人)	9:00 ～ 17:30予定	
経済学部			令和6年11月21日（木）	小論文(英語の問題を含む)	9:30 ～ 11:30	経済学部
				面接(個人)	13:00 ～ 17:00予定	
医学部	医学科		令和7年 1月24日（金）	面接(個人又はグループ)	9:00 ～ 14:00予定	医学部医学科
				小論文 (注3)	面接後90分で実施予定	
	保健学科		令和7年 1月31日（金）	小論文(英語の問題を含む)	9:00 ～ 10:30	歯学部 (注2)
				面接(個人又はグループ)	12:00 ～ 17:00予定	
歯学部			令和7年 1月24日（金）	小論文	9:30 ～ 11:30	歯学部 (注2)
				面接(個人)	13:00 ～ 17:30予定	
薬学部			令和7年 1月23日（木）	面接(個人又はグループ)	9:00 ～ 17:00予定	薬学部
情報データ科学部	学校推薦型選抜Ⅰ		令和6年11月20日（水）	小テスト	10:30 ～ 11:30	情報データ科学部
				面接(個人) (口述試験を含む)	13:00 ～ 17:00予定	
	学校推薦型選抜Ⅱ		令和7年 1月30日（木）	課題作文	9:30 ～ 11:30	
				面接(個人)	13:00 ～ 17:30予定	
工学部			令和7年 1月28日（火）	面接(個人)	9:30 ～ 17:30予定	工学部
環境科学部			令和7年 1月31日（金）	面接(個人)	9:15 ～ 17:00予定	環境科学部
水産学部			令和6年11月14日（木） (注1)	面接(個人)	9:30 ～ 17:00予定	水産学部

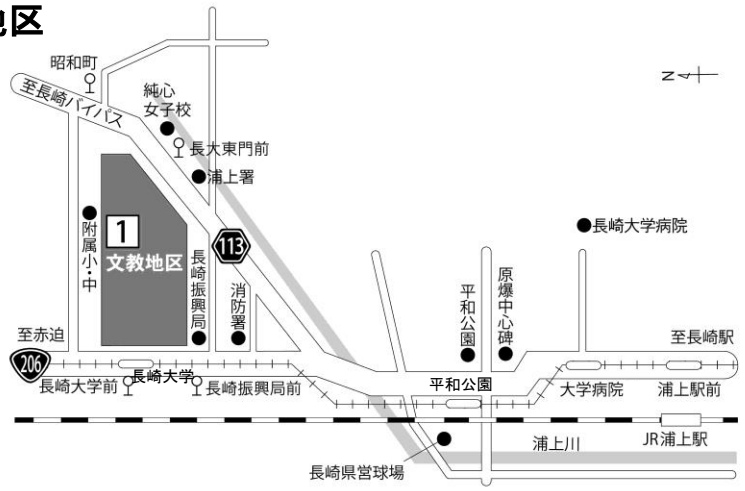
注1）水産学部は志願者多数の場合，面接が翌日にわたることがある。
2）医学部保健学科及び歯学部の試験は，医歯薬学総合教育研究棟（歯学部本館）で実施する。
3）医学部医学科の小論文試験は，学校推薦型選抜ⅡB志願者（学校推薦型選抜ⅡAとの併願者を含む。）にのみ実施する。

11. 試験場までの交通機関

志望学部	試験会場	交通機関	
多文化社会学部 教育学部 薬学部 情報データ科学部 工学部 環境科学部 水産学部	1 長崎大学文教地区 (長崎市文教町 1番14号)	JR長崎駅から	・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 ・バス利用（長崎バス） 「長崎駅前」から1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		JR浦上駅から	・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「長崎大学」下車 ・バス利用（長崎バス） 「浦上駅前」から1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行きで「長崎大学前」下車
		長崎空港から	・バス利用（県営バス） 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面（長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「長大東門前」下車（約45分）
経済学部	2 長崎大学片淵地区 (長崎市片淵 4丁目2番1号)	JR長崎駅から	・路面電車利用 「長崎駅前」から「蛍茶屋」行きで「諏訪神社」又は「新大工町」下車，徒歩約15分 ・バス利用（県営バス） 「長崎駅前東口」から「循環」,「浜平・立山」,「西山木場」行きで「経済学部前」下車
		長崎空港から	・バス利用 ①（長崎バス，県営バス：中央橋まで）「長崎空港5番のりば」から「長崎方面（出島道路経由)」行きで「中央橋」下車（約45分） →（県営バス：中央橋から）「循環」,「浜平・立山」,「西山木場」行きに乗り換えて「経済学部前」下車 ②（県営バス：JR長崎駅まで）「長崎空港4番のりば」から「長崎方面（長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「長崎駅前ターミナル」下車（約60分），その後は上記JR長崎駅からと同様
医学部 （医学科）	3 長崎大学坂本地区 （医学科） (長崎市坂本 1丁目12番4号)	JR長崎駅から	・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「原爆資料館」下車，徒歩約10分 ・バス利用（長崎バス） 「長崎駅前」から「下大橋（江平高部経由)」行きで「医学部前」下車
		JR浦上駅から	・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「原爆資料館」下車，徒歩約10分
		長崎空港から	・バス利用（県営バス） 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面（長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「平和公園」下車（約50分），徒歩約15分
医学部 （保健学科） 歯学部	4 長崎大学坂本地区 （医歯薬学総合教育研究棟（歯学部本館）） (長崎市坂本 1丁目7番1号)	JR長崎駅から	・路面電車利用 「長崎駅前」から「赤迫」行きで「大学病院」下車，徒歩約10分 ・バス利用（長崎バス） 「長崎駅前」から「下大橋（江平高部経由)」行きで「大学病院前」又は「坂本町」下車
		JR浦上駅から	・路面電車利用 「浦上駅前」から「赤迫」行きで「大学病院」下車，徒歩約10分
		長崎空港から	・バス利用（県営バス） 「長崎空港4番のりば」から「長崎方面（長崎バイパス・昭和町・浦上経由)」行きで「浦上駅前」下車（約55分），その後は上記JR浦上駅と同様

試 験 場 案 内 略 図

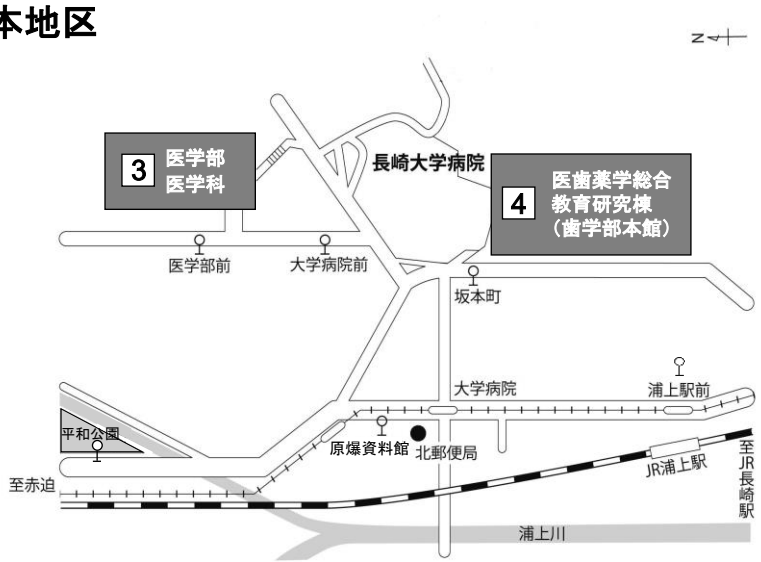
文教地区



片淵地区



坂本地区



※医学部保健学科の試験は医歯薬学総合教育研究棟（歯学部本館）で実施する。

12. 受験に際しての注意事項

（1）受験学部の試験日の前日午後（13 時～17 時）に試験室を確認しておくこと。ただし，教育学部中学校教育コース及び幼児教育コースの受験者については，試験日の前日午前（9 時～12 時）又は前日午後（15 時 30 分～17 時）に試験室を確認しておくこと。
　なお，試験室への入室はできない。

（2）詳細については，**受験票印刷開始日以降に本学ＨＰに掲載することがある。**

（3）試験当日は，**長崎大学入学試験受験票（学校推薦型選抜）（出願者が各自Ａ４サイズでカラー印刷すること。：書き込み不可）**を必ず持参すること。
　なお，医学部，歯学部，薬学部，情報データ科学部，工学部及び環境科学部の学校推薦型選抜Ⅱの受験者は，大学入学共通テスト受験票も必ず持参すること。

（4）受験者は，**試験開始の 30 分前までに所定の試験室に入室し、指定された席に着席**すること。
　面接の集合時間が指定されている場合は，その指示に従うこと。

（5）試験開始後 30 分以内の遅刻者（入室者）は受験を認めるが，試験時間の延長はない。30 分を超えた遅刻者には受験を認めない。ただし，面接については，指定された集合時間に遅れた場合，特別な事情がない限り，受験を認めない。

（6）試験中は，本学の受験票（医学部，歯学部，薬学部，情報データ科学部，工学部及び環境科学部の学校推薦型選抜Ⅱの受験者は大学入学共通テスト受験票も）を机の通路側上に置くこと。

（7）机の上には，受験票，黒鉛筆，シャープペンシル（シャープペンシルの芯可（ケースは不可）），鉛筆キャップ，消しゴム，鉛筆削り（電動式，大型のもの及びナイフ類を除く。），直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可，線引用のもののみ可），時計（辞書，電卓，端末等の機能があるもの（それらの機能の有無が判別しづらいものを含む。），秒針音のするもの，キッチンタイマー及び大型のものを除く。），眼鏡，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）及び目薬以外の所持品を置いてはいけない。

（8）試験室では監督者の指示に従うこと。指示に従わない場合は不正行為となることがある。また，試験時間中に用があるときは手を挙げること。

（9）試験中の退室はできない。ただし，体調不良等の場合は一時退室を認めるが，試験時間の延長は行わない。

(10) 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末等の電子機器類，時計等のアラームは設定を解除しておくこと。

(11) 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類は電源を切り，かばん等に入れ，身につけないこと。身につけていたり手にもっている場合，不正行為となることがある。なお，イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となる。

(12) 不正行為を行った受験者については，それ以降の受験はできない。また，受験した試験の全ての成績は無効とする。なお，極めて悪質な不正行為を行った場合は，警察に被害届を提出する場合がある。

(13) 正門付近などで，勧誘や資料の配布が行われている場合があるが，本学とは一切関係がないので注意すること。

(14) 受験者は，気象状況・交通状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。

(15) 疾病・負傷又は試験場に向かう途中の事故等による追試験は実施しないが，所定の日程による試験実施が困難となるような次の①～③の不測の事態が発生した場合は，再試験を実施することがあるので，試験当日の長崎大学ホームページ（ https://www.nagasaki-u.ac.jp ）で詳細について確認すること。
　① 定期運行している交通機関の事故又は災害等で，相当の数の受験者に係るもの
　② 試験開始後の不測の事態
　③ 大規模の災害等

(16) 耳栓は，監督者の指示が聞こえない場合があるので，使用できない。

(17) 自動車，バイク等での試験場内への乗り入れを禁止する。
　また，近隣のコンビニエンスストア等の駐車場へは駐車しないこと。

13. 不正行為について

（1）次のことをすると**不正行為**となります。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，**それ以後の受験はできなくなります。**また，**受験した試験の全ての（教科・科目）の成績を無効とします。**

ア　志願票，受験票・写真票，解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
イ　カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど。）をすること。
ウ　他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
エ　配付された問題冊子を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
オ　解答用紙を試験室から持ち出すこと。
カ　解答開始の指示の前に，問題冊子を開いたり解答を始めること。
キ　試験時間中に，直線定規以外の定規，コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具を使用すること。
ク　試験時間中に，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※　イヤホンについては，耳に装着していれば使用しているものとみなす。（試験時間中，病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は，受験上の配慮申請が必要である。）
ケ　試験終了の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

（2）上記（1）以外にも，次のことをすると**不正行為となることがあります。**指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，（1）と同様です。

ア　試験時間中に，直線定規以外の定規，コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具や携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類，教科書，参考書，辞書等の書籍類をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていること。
イ　試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。
ウ　試験に関することについて，自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
エ　試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
オ　試験場において監督者等の指示に従わないこと。
カ　その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

14. 選抜結果の発送

（1）選抜結果については，下記の選抜結果発送日に学校長あてに文書で通知するとともに，合格者に対しては，「合格通知書」をレターパックプラス（対面で届けられ，受領印又は署名が必要な郵便※）で下記の期日に発送する。なお，不合格者への通知はしない。

また，参考として，長崎大学ホームページ（ https://www.nagasaki-u.ac.jp ）に各発送日の11 時頃に合格者受験番号を掲載する。

<u>掲示による合格者発表は行わない。</u>（電話による合否の照会には一切応じない。）

〔選抜結果発送日〕

区　　分	学　　部　　等	選抜結果発送日
学校推薦型選抜Ⅰ	経済学部，情報データ科学部	**令和 6 年 12 月　2 日（月）**
学校推薦型選抜Ⅱ	多文化社会学部，教育学部，医学部，歯学部，薬学部，情報データ科学部，工学部，環境科学部，水産学部	**令和 7 月　2 月 12 日（水）**

※ 不在の場合はポスト等に「不在票」が投かんされるので，担当郵便局へ再配達依頼等の連絡を必ず行うこと。

15. 入 学 手 続 等

（1）合格した者は，下記により入学手続を行うこと。詳細については，合格者に別途通知する。

① 手続期日（区分により異なるので注意すること。）

注）郵送のみ可（持参による手続きは行いませんので，郵便事情を考慮し，余裕をもって郵送してください。）

【合格通知書受領後から下記の手続期日（16 時必着）まで】

区　　分	手続期日
学校推薦型選抜Ⅰ	**令和 6 年 12 月 13 日（金）16 時必着（持参不可）**
学校推薦型選抜Ⅱ	**令和 7 年　2 月 19 日（水）16 時必着（持参不可）**

② 必要書類の提出

ア．令和７年度長崎大学入学試験受験票（学校推薦型選抜）

イ．令和７年度大学入学共通テスト受験票（学校推薦型選抜Ⅱの合格者）

ウ．誓約書，保証書，その他の書類（別途送付）

③ 納付金の納入

入学料　282,000 円

（注）別途送付する「入学手続案内」に綴じ込んでいる振込書により，入学手続時までに振り込むこと。既納の入学料は返還しない。

（参考）

１．令和６年度授業料（年額）535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）

２．授業料の納入時期は，前期分４月，後期分１０月になる。

３．入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用される。

４．入学料及び授業料については，免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は，入学手続関係書類で通知する。

（2）注意事項

① 本選抜による合格者は，下記③に定める推薦入学辞退届を提出したものを除き，出願済みの本学及び他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下②において同じ。）の一般選抜を受験しても合格者とはならない。

※公立大学協会ホームページ　http://www.kodaikyo.org/

② 本選抜による合格者が，入学手続期間内に入学手続を行わないときは，本学に**入学する権利を消失する**ので十分注意すること。

この場合において，本学及び他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはならない。

③ 本選抜による合格者で，特別の事情により入学を辞退する場合は，本学が定める「学校推薦型選抜辞退願」を上記（１）①の期日までに推薦学校長から提出し，許可を得なければならない。

なお，詳細については，学生支援部入試課へ問い合わせること。

④ 本選抜による合格者及び入学手続者の個人情報（氏名，高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号）は，国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うために，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。

16. 学生寮への入居（多文化社会学部へ入学する者）

多文化社会学部に入学する学生のうち希望者については，入学時から１年間，大学キャンパス外でも多文化状況に触れることを目的とした学生寮「国際学寮ホルテンシア」に入居し，外国人留学生とのルームシェアによる共同生活を行うことができます。ただし，入寮希望者が多数の場合は，希望に沿えないことがあります。

学生寮の概要は，次のとおりです。

なお，防犯対策として，各ユニットの玄関にカードキー対応ドアを，各個室に暗証番号対応ドアを装備しています。

寮名称	国際学寮ホルテンシア
所在地	Ａ棟：長崎市白鳥町８－７７ Ｂ棟：長崎市白鳥町８－７８　　（大学まで徒歩１２分程度）
収容人数	１３５人（Ａ棟７２人・Ｂ棟６３人） １ユニット４人（外国人留学生１人を含む。）のルームシェア形式 （ただし，１ユニットのみ車椅子対応の３人のルームシェア）
入居費用	寄宿料：25,000円/月（ただし，入学時及び在学中に寄宿料の改定が行われた場合には，改定時から新寄宿料が適用される。水道・ガス料金は別途自己負担） 共益費：3,000円/月（電気代及び管理運営費。追加徴収の可能性がある。） ※　寄宿料及び共益費は原則4月及び10月に半期分（6カ月分）を徴収 ※　退去時のクリーニング費用として10,000円（入居時に徴収） ※　上記のほか，借家人賠償責任保険等の加入が必要（入居時のみ）
共用施設	集会室，駐輪場，中庭，ゴミ置き場
個室部分の設備 （洋室4.5帖）	机，椅子，電気スタンド，エアコン，ベッド（収納庫（ベッド下）及びマットレス付き），光回線インターネット（有線），ＴＶ端子，照明，暗証番号対応ドア
ユニット内の設備 （DK8.2帖）	シャワーブース，トイレ，洗面台，システムキッチン，ダイニングセット（テーブル，椅子），冷蔵庫，食器棚，電子オーブンレンジ，洗濯機，衣類乾燥機，掃除機，炊飯器，エアコン，カードキー対応玄関ドア等
食事	食事の提供なし（各ユニットのキッチンで自炊可能）

注）入学者の状況によっては，外国人留学生とのルームシェアとならない場合がある。

詳しくは，長崎大学多文化社会学部ホームページをご覧ください。

https://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/

問い合わせ先：長崎大学学生支援センター（学生支援課生活支援班）　TEL 095-819-2103

17. 学校推薦型選抜志願者の一般選抜への出願

本選抜において不合格となった場合に（又はその場合に備えて），国立大学志願者は，一般選抜において，「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，合計二つまでの大学・学部へ出願することができる。なお，本学の総合型選抜Ⅱに出願した者は，本学の学校推薦型選抜Ⅱに出願することはできない。

また，出願する大学・学部の出願要件に留意すること。

〔本学の一般選抜の学生募集要項は，令和６年 11 月下旬に発表する予定である。〕

18. 問い合わせ先

〒852-8521　長崎市文教町１番 14 号　　長崎大学学生支援部入試課　　TEL. 095-819-2113

19. 個人情報の取扱

（１）個人情報の利用

① 出願書類により取得された個人情報は，入学者選抜業務のために利用する。
また，合格者の個人情報は入学手続案内業務のため，入学者の個人情報は，学籍登録業務のために利用する。

② 出願書類により取得された高等学校等の成績は，奨学生への推薦資料に利用する。

③ 出願書類により取得された高等学校等の成績及び入学試験の成績は，入学料免除等及び授業料免除等並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。

④ 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は，入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。

⑤ 医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱ Ｂ地域医療特別枠において，出願書類により取得された合格者の個人情報は，長崎県における医師修学資金の手続きに利用する。

⑥ 医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱ Ｃ佐賀県枠において，出願書類により取得された個人情報は，佐賀県における医師修学資金の手続き及び志望動向の調査・分析に利用する。

⑦ 医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱ Ｃ宮崎県枠において，出願書類により取得された合格者の個人情報は，宮崎県における医師修学資金の手続きに利用する。

⑧ 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は，個人情報の保護に関する法律に規定されている場合を除き，以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはない。

（２）個人情報に関する業務の委託について

出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は，個人情報の適切な取扱いに関する契約等を締結した上で，データ登録業務を外部の事業者に委託することがある。

20. 安全保障輸出管理について

本学は，外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう，「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより，希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお，詳細については，55 ページの「各学部照会先一覧」まで問い合わせること。

21. 入試情報の提供

（１）個人成績

個人成績については，インターネット出願時における希望の有無により開示します。出願期間後のメール，電話等による請求は受け付けませんのでご注意願います。

※学校推薦型選抜Ⅱの医学部医学科Ａ（長崎医療枠）及び医学部医学科Ｂ（地域医療特別枠）については，第１希望における選抜結果の成績を開示します。ただし，第２希望の合格者については，第２希望における選抜結果の成績を開示します。

① 請求方法
インターネット出願時の個人情報登録画面の「入試成績の開示請求」欄で「希望する」を選択してください。

② 開示内容
(1) 大学入学共通テストの教科ごとの得点（学校推薦型選抜Ⅱに限る。）
（本学が判定に使用した教科の配点換算後の点数）
(2) 本学が実施する学力・実技等検査の得点
(3) (1)＋(2)の総得点及び順位

③ 開示期間
令和７年６月１日（日）から６月３０日（月）

④ 開示請求者
受験者本人に限ります。

⑤　開示手数料

１回の出願につき開示請求手数料６００円が必要です。入学検定料と併せて支払ってください。

⑥　閲覧方法

長崎大学ホームページ（入試情報サイト）から個人成績開示システムへ進んでください。
https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/grades/

「氏名（フリガナ)」,「受験番号」，インターネット出願時の「セキュリティコード」を入力すると閲覧できます。

出願期間から開示期間までは，かなりの期間がありますので「受験番号」及び「セキュリティコード」の管理には注意してください。

（２）採点・評価基準

採点・評価基準については，本要項の 66 ページから 67 ページに記載している。

（３）合否判定基準

合否判定基準については，本要項の 68 ページから 70 ページに記載している。

（４）過去３年間の入試状況

過去３年間の入試状況については，本要項の 71 ページから 73 ページに記載している。

（2）採点・評価基準

学部名・教科名				採点・評価基準
多文化社会学部		面接（個人）		日本語及び英語により実施し，提出された書類（志望理由書，調査書，推薦書等）とプレゼンテーションを参考に，志望動機，批判的・論理的思考力，コミュニケーション・自己表現能力，多文化状況への興味・関心，英語能力等を総合的に判断する。
		志望理由書		志望理由書を点数化する。
教育学部	小学校教育コース	学校推薦型選抜A	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接（個人）	調査書，推薦書等の出願書類を参考に，地域とともにすすめる小学校教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		学校推薦型選抜B	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接（個人）	調査書，推薦書等の出願書類を参考に，離島における教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	中学校教育コース	文系	面接（個人）	調査書，推薦書等の出願書類を参考に，国語科教育，社会科教育又は英語科教育に関する熱意，意欲，目的意識，及び，志望する教科に関する思考力・判断力・表現力等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		理系	面接（個人）	調査書，推薦書等の出願書類を参考に，数学教育又は理科教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，併せて，数学又は理科の教科に関する知識や理解力などを評価することで，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
			調査書	学業成績を点数化する。
	幼児教育コース		面接（個人）	調査書，推薦書等の出願書類を参考に，幼児教育に関する問題意識，コミュニケーション能力，表現活動に対する体験や関心等から，教育者を目指すにあたっての適性を総合的に判断する。
	特別支援教育コース		小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接（個人）	調査書，推薦書等の出願書類を参考に，特別支援教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
経済学部		小論文（英語の問題を含む）		基礎的学力，論理的思考力，コミュニケーション力等を評価する。
		面接（個人）		調査書，推薦書等の出願書類を参考に，コミュニケーション力，学習意欲，主体性，行動力等を評価する。評価は点数化する。
医学部	医学科	調査書・推薦書・志望理由書		調査書の学業成績及び他の特記事項，推薦書並びに志望理由書を点数化する。
		面接（個人又はグループ）		推薦書・志望理由書を参考に，以下の項目を評価する。 ①応用力（問題解決力）　②意欲（積極性）　③協調性　④総合能力
		学校推薦型選抜ⅡB	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
医学部	保健学科	小論文		英語を含む論理的思考力，論文構成力等をみる。
		調査書・推薦書・志望理由書		調査書の学業成績及び他の特記事項（調査書記入担当者の主観で記入する箇所は除く。），推薦書並びに志望理由書から，思考力等，主体性等を判断する。評価は点数化する。
		面接（個人又はグループ）		志望動機，コミュニケーション能力等から，医療技術者としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。

学部名・教科名				採　点　・　評　価　基　準
歯学部		小　論　文		基礎的学力，論理的思考力，論文構成力，独創力等を見る。
		調査書・推薦書 ・志望理由書		調査書の学業成績及び他の特記事項，推薦書並びに志望理由書を点数化する。
		面　　接 （個　人）		アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，意欲，将来展望，積極性，コミュニケーション能力，協調性等から歯科医師としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する
薬学部	薬学科	調査書・推薦書 ・志望理由書		調査書の学業成績及び他の特記事項，推薦書並びに志望理由書を点数化する。
		面　　接 （個人又はグループ）		アドミッション・ポリシーに基づき，志願調書を参考に，志望動機，意欲，将来展望，積極性，コミュニケーション能力，協調性等から薬剤師としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
	薬科学科	調査書・推薦書 ・志望理由書		調査書の学業成績及び他の特記事項，推薦書並びに志望理由書を点数化する。
		面　　接 （個人又はグループ）		アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，意欲，将来展望，積極性，自己表現能力，行動力等から研究者としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
情報データ科学部	学校推薦型選抜Ⅰ	小テスト		数学は，数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数Bから出題し基礎学力を評価する。 情報関連科目は，「情報技術検定２級」，「情報処理検定２級」及び大学入学共通テスト「情報関係基礎」程度の基礎学力を評価する。
		一般枠	面　接 （個人） （口述試験を含む）	複数の面接員により実施する。調査書，推薦書，志望理由書等の出願書類を参考に，志望動機，学習意欲，基礎知識，社会性及び修学状況等についての質疑応答及び英語の口述試験によって適性と基礎学力をそれぞれ点数化する。英語は基礎的な短文の音読・読解・会話で評価する。調査書の各科目の学習成績の状況も総合評価の参考にする。 女子枠との併願者は，一般枠の採点・評価基準に基づき評価する。
		女子枠	面　接 （個人） （口述試験を含む）	複数の面接員により実施する。調査書，推薦書，志望理由書等の出願書類を参考に，志望動機，学習意欲，基礎知識，社会性，修学状況及び女性活躍社会に貢献するために学びたいことや自身の将来像等についての質疑応答及び英語の口述試験によって適性と基礎学力をそれぞれ点数化する。英語は基礎的な短文の音読・読解・会話で評価する。調査書の各科目の学習成績の状況も総合評価の参考にする。
	学校推薦型選抜Ⅱ	課 題 作 文		分野関心度，論理的思考力，表現力，発想の豊かさ等の観点から総合的に評価する。
		一般枠	面　接 （個人）	複数の面接員により実施する。調査書，推薦書，志望理由書等の出願書類を参考に，志望動機，学習意欲，基礎知識，社会性及び修学状況等についての質疑応答によって適性を点数化する。調査書の各科目の学習成績の状況も総合評価の参考にする。 女子枠との併願者は，一般枠の採点・評価基準に基づき評価する。
		女子枠	面　接 （個人）	複数の面接員により実施する。調査書，推薦書，志望理由書等の出願書類を参考に，志望動機，学習意欲，基礎知識，社会性，修学状況及び女性活躍社会に貢献するために学びたいことや自身の将来像等についての質疑応答によって適性を点数化する。調査書の各科目の学習成績の状況も総合評価の参考にする。
工学部	一般枠	面　　接 （個　人）		アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，コースに対する関心度，発想の豊かさ，勉学意欲，将来展望等について総合的に評価する。調査書及び志望理由書も総合評価の参考にする。
	女子枠	面　　接 （個　人）		アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，コースに対する関心度，発想の豊かさ，勉学意欲，将来展望，女子枠を志望した理由等について総合的に評価する。調査書及び志望理由書も総合評価の参考にする。
環境科学部		調　査　書		学業成績を点数化する。
		面　　接 （個　人）		調査書，推薦書，志望理由書等の出願書類を参考に，環境への関心度，意欲・積極性，思考力等から判断し評価する。評価は点数化する。
水産学部		面　　接 （個　人）		調査書，推薦書，志望理由書等の出願書類を参考に，志望動機，学部への関心，将来展望，高校生活等について質疑応答を行い，入学への関心度と学力素養について総合的に評価する。

（3）合否判定基準

学部名		合　否　判　定　基　準
多文化社会学部		(1) 面接の得点率が50%未満の者は不合格とする。 　また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総得点の得点率が，原則として 50%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 50%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テストと学力検査等の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
教育学部		(1) 面接の得点率が 20%未満の者は不合格とする。 　また，各コース・系が指定する大学入学共通テストの総得点の得点率が，原則として 50%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 50%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テストと学力検査等の総得点の高い順に合格者を決定する。(中学校教育コースにおいては，出願時に届け出た入学後に専攻を希望する教科ごとに合格者を決定する。) (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
経済学部		(1) 次のいずれかに該当する者は不合格とする。 （ア）小論文の得点率が30%未満の者 （イ）面接の得点率が40%未満の者 (2) (1)を除いた者の中から，小論文と面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
医学部	医学科	【学校推薦型選抜ⅡA】 (1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 　また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として 75%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 75%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 出願時に届け出た第１希望及び第２希望に基づき，次のように合格者を決定する。 ① 第１希望について，(2)の総得点の高い順に合格者を決定する。 ② 第１希望の合格者で募集人員に満たない場合は，その不足した人員を第２希望の受験者を対象に(2)の総得点の高い順に合格者を決定する。 (4) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点が上位の者 (5) 個別学力検査等の得点が小数第 3 位以下まである場合は，課す科目毎に小数第 3 位を切り捨てる。 【学校推薦型選抜ⅡB】 (1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 　また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として 75%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 75%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト，小論文及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 出願時に届け出た第１希望及び第２希望に基づき，次のように合格者を決定する。 ① 第１希望について，(2)の総得点の高い順に合格者を決定する。 ② 第１希望の合格者で募集人員に満たない場合は，その不足した人員を第２希望の受験者を対象に(2)の総得点の高い順に合格者を決定する。 (4) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点が上位の者 (5) 個別学力検査等の得点が小数第 3 位以下まである場合は，課す科目毎に小数第 3 位を切り捨てる。

学部名		合　否　判　定　基　準
医学部	医学科	【学校推薦型選抜ⅡC】 (1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 　また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として 75%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 75%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点が上位の者 (4) 個別学力検査等の得点が小数第 3 位以下まである場合は，課す科目毎に小数第 3 位を切り捨てる。 【学校推薦型選抜ⅡD】 (1) 日本語及び英語によるいずれかの面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 　また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として 75%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が 75%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書，大学入学共通テスト，日本語による面接及び英語による面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接（学校推薦型選抜ⅡDにおいては，日本語による面接）の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点が上位の者 (4) 個別学力検査等の得点が小数第 3 位以下まである場合は，課す科目毎に小数第 3 位を切り捨てる。
	保健学科	(1) 小論文又は面接のいずれかの得点率が 20%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テスト，小論文，面接，調査書，推薦書及び志望理由書の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，小論文の成績を優先し順位を決定する。
歯学部		(1) 面接の得点率が 51%未満の者は不合格とする。 　また，大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として 65%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，大学入学共通テストの指定教科・科目の総合計の得点率が 65%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テストの得点と小論文，調査書，推薦書，志望理由書及び面接の得点の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 大学入学共通テストの総合計の得点が上位の者 ② 小論文の得点が上位の者 ③ 面接の得点が上位の者
薬学部	薬学科 薬科学科	(1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 　また，大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が，原則として薬学科は 70%，薬科学科は 60%未満の者は，不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮して，総得点の得点率が薬学科は 70%，薬科学科は 60%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，調査書，推薦書，志望理由書，大学入学共通テスト及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は，次の順序で決定する。 ① 面接の得点が上位の者 ② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の総得点が上位の者 ③ 大学入学共通テストの総得点が上位の者

学部名		合　否　判　定　基　準
情報データ科学部	一般枠 女子枠	【学校推薦型選抜Ⅰ】 (1) 面接の得点率が 33%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から，提出された書類等を参考に，小テスト及び面接（口述試験を含む）の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
	一般枠 女子枠	【学校推薦型選抜Ⅱ】 (1) 以下のいずれかに該当する者は不合格とする。 （ア）大学入学共通テストの成績，課題作文及び面接の総得点の得点率が，原則として 60%未満の者。ただし，大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）を考慮して，総得点の得点率が 60%未満の者でも不合格者としない場合がある。 （イ）面接の得点率が 33%未満の者 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テスト，課題作文及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
工学部	一般枠 女子枠	(1) 面接の得点率が 30%未満の者は不合格とする。 また，大学入学共通テストと面接の総得点の得点率が，原則として 60%未満の者は不合格とする。ただし，大学入試センターが発表する大学入学共通テスト（本試験）平均点（中間集計）における平均点を考慮し，総得点の得点率が 60%未満の者でも不合格者としない場合がある。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テストと面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
環境科学部		(1) 面接の得点が 50 点未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テスト，調査書及び面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。
水産学部		(1) 面接の得点率が 21%未満の者は不合格とする。 (2) (1)を除いた者の中から，大学入学共通テストと面接の総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合，その同点者全員を合格とする。

（４）過去３年間の入試状況

①　令和４年度

学部・学科等				募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育	小学校教育コース	推薦A		20	21	21	15	15
		推薦B		5	8	8	5	5
		小計		25	29	29	20	20
	中学校教育コース	文系		9	13	13	9	9
		理系		5	19	19	5	5
		小計		14	32	32	14	14
	幼児教育コース			5	22	22	5	5
	特別支援教育コース			4	8	8	4	4
	計			48	91	91	43	43
経済	総合経済学科（昼間コース）			20	31	31	20	20
医学	医学科	推薦A		15	30	30	15	15
		推薦B		15	27	25	15	15
		推薦C（佐賀県枠）		2	4	4	2	2
		推薦C（宮崎県枠）		2	3	3	2	2
		推薦D		10	26	25	10	10
	保健学科	看護学専攻	推薦①	12	33	25	11	11
			推薦②	2	2	2	2	2
		理学療法学専攻		2	6	6	2	2
		作業療法学専攻		3	8	5	3	3
	計			63	139	125	62	62
歯学	歯学科			10	10	8	1	1
薬学	薬学科			6	26	24	4	4
	薬科学科			4	1	1	0	0
	計			10	27	25	4	4
情報データ科学	推薦Ⅰ			5	16	16	5	5
	推薦Ⅱ			10	28	23	8	8
	計			15	44	39	13	13
工学	工学科	機械工学コース		7	13	13	2	2
		電気電子工学コース		6	16	13	5	5
		構造工学コース		7	16	16	6	6
		社会環境デザイン工学コース		2	1	1	0	0
		化学・物質工学コース		8	17	17	4	4
		計		30	63	60	17	17
環境科学	推薦①A（文系）			9	25	24	9	9
	推薦①B（理系）			9	17	17	6	6
	推薦②			4	6	5	3	3
	計			22	48	46	18	18
水産	水産学科			15	40	40	15	15
合計				233	493	465	193	193

② 令和５年度

学部・学科等				募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会	国際公共政策・社会動態・共生文化・言語コミュニケーションコース			10	18	18	10	10
教育	小学校教育コース	推薦A		20	28	28	17	17
		推薦B		5	7	7	4	4
		小計		25	35	35	21	21
	中学校教育コース	文系		9	21	21	9	9
		理系		7	12	12	7	7
		小計		16	33	33	16	16
	幼児教育コース			5	17	17	5	5
	特別支援教育コース			4	6	6	4	4
	計			50	91	91	46	46
経済	総合経済学科			20	24	24	20	20
医学	医学科	推薦A		15	30	29	15	15
		推薦B		15	48	42	15	15
		推薦C（佐賀県枠）		2	4	4	2	2
		推薦C（宮崎県枠）		2	6	6	2	2
		推薦D		10	33	30	10	10
	保健学科	看護学専攻	推薦①	12	29	29	12	12
			推薦②	2	2	2	2	2
		理学療法学専攻		3	3	3	3	3
		作業療法学専攻		3	9	9	3	3
	計			64	164	154	64	64
歯学	歯学科			10	3	2	1	1
薬学	薬学科			6	23	21	6	6
	薬科学科			4	2	2	1	1
	計			10	25	23	7	7
情報データ科学	推薦Ⅰ			8	19	19	8	8
	推薦Ⅱ			12	24	20	12	12
	計			20	43	39	20	20
工学	工学科	機械工学コース		7	14	12	7	7
		電気電子工学コース		6	6	6	4	4
		構造工学コース		7	15	13	2	2
		社会環境デザイン工学コース		2	3	3	2	2
		化学・物質工学コース		8	6	5	2	2
		計		30	44	39	17	17
環境科学	推薦①A（文系）			9	16	15	9	9
	推薦①B（理系）			9	22	18	6	6
	推薦②			4	7	7	4	4
	計			22	45	40	19	19
水産	水産学科			25	62	62	25	25
合計				261	519	492	229	229

③　令和６年度

学部・学科等			募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会	国際公共政策・社会動態・共生文化・言語コミュニケーションコース		15	24	24	15	15
教育	小学校教育コース	推薦A	20	30	30	14	14
		推薦B	5	7	7	4	4
		小計	25	37	37	18	18
	中学校教育コース	文系	9	18	18	9	9
		理系	7	10	10	7	7
		小計	16	28	28	16	16
	幼児教育コース		5	22	22	6	6
	特別支援教育コース		4	5	5	4	4
	計		50	92	92	44	44
経済	総合経済学科		20	22	22	20	20
医学	医学科	推薦A	15	34	33	15	15
		推薦B	15	40	37	15	15
		推薦C（佐賀県枠）	2	5	5	2	2
		推薦C（宮崎県枠）	2	6	6	2	2
		推薦D	5	19	18	5	5
	保健学科	看護学専攻 推薦①	16	30	30	16	16
		看護学専攻 推薦②	2	3	2	2	2
		理学療法学専攻	3	22	22	3	3
		作業療法学専攻	3	9	9	3	3
	計		63	168	162	63	63
歯学	歯学科		10	4	4	2	2
薬学	薬学科		6	26	24	3	3
	薬科学科		4	4	4	2	2
	計		10	30	28	5	5
情報データ科学	推薦Ⅰ		8	11	11	8	8
	推薦Ⅱ		12	11	11	7	7
	計		20	22	22	15	15
工学	工学科	機械工学コース	7	4	4	1	1
		電気電子工学コース	6	4	4	0	0
		構造工学コース	7	9	9	4	4
		社会環境デザイン工学コース	2	2	2	2	2
		化学・物質工学コース	8	7	7	2	2
		計	30	26	26	9	9
環境科学	推薦①A（文系）		9	13	13	7	7
	推薦①B（理系）		9	11	10	1	1
	推薦②		4	5	5	4	4
	計		22	29	28	12	12
水産	水産学科		25	56	56	25	25
合計			265	473	464	210	210

22. パソコン必携制度のご案内

◆ はじめに

パソコン必携制度は、ICT を活用したアクティブラーニングを行うための施策の一つであり、授業の進度に応じて様々な学修体験を得ること、授業外においても授業中と同等な ICT 環境を利用できるようにすることを目的としています。また、学生生活や就職活動を見据え、所有する機器を使いこなす ICT スキル(生産性ツールの利活用、セキュリティ管理、さまざまなデバイスとの接続、クラウドの利用等)の涵養もその目的としております。

新入生の皆様には、大学へノートパソコンを持参して、ノートパソコンを利活用した様々な学修を行っていただきます。

◆ 必携パソコンについて

令和 7 年度必携パソコンの基本仕様は、令和 6 年 10 月頃、長崎大学ホームページの「受験生の入試情報サイト」でお知らせする予定です。ICT リテラシーの入門科目授業を始め、多くの授業は基本仕様を前提としています。すでに Microsoft Office(Web 版ではない)が十分な速度で動作するノートパソコン(メモリ:8GB、ディスク:SSD)をお持ちの場合、まずはそのノートパソコンをご持参ください。入学後、お持ちのノートパソコンで対応できない状況が生じたら、基本仕様を満たす機種への買い換えをご検討ください。新たにノートパソコンを購入する場合は、基本仕様を満たす機種をご購入ください。

なお、基本仕様を満たす機種の例を、長崎大学 ICT 基盤センターウェブサイトの「必携パソコンサポート」(※1) に順次掲載する予定です。

https://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/pcsetup/ (※1)

◆ ノートパソコンを購入(準備)できない方

経済的理由により購入ができない方のために、ノートパソコンを大学より貸与します。貸与は、学費負担者の収入が一定の基準を満たす方に対して行います。

長崎大学公式ホームページの「教育・学生生活」(※2) をご覧ください。

https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/life/money/Personalcomputer/index.html (※2)

ノートパソコン必携化に関する問い合わせ窓口

長崎大学 ICT 基盤センター・情報企画課 (平日 : 9 時～17 時)

E-MAIL : pc_support@gl.nagasaki-u.ac.jp

23. 出願書類作成上の注意事項

１．全　　般

（１）ボールペン（黒）による自筆とし，楷書で丁寧に記入すること。
（２）数字については，算用数字を用いること。
（３）**太線枠内の該当するものは，すべて記入又は○で囲むこと。**
（４）各書類の※欄は記入しないこと。
（５）志望した学部・学科・コース等を**出願後に変更することは一切認めない。**

２．出願確認票

医学部，歯学部，薬学部，情報データ科学部，工学部及び環境科学部の学校推薦型選抜Ⅱの志願者は，「令和７共通テスト成績請求票　国公立推薦型選抜用」を貼付すること。

なお，「令和７共通テスト成績請求票　国公立推薦型選抜用」が手元に届くのが遅れる場合は，他の出願書類一式を先に郵送し，手元に届き次第追加送付しても良い。この場合は，その旨を記したメモ等を同封すること。

また，**多文化社会学部，教育学部及び水産学部の学校推薦型選抜Ⅱの志願者は，出願時には「令和７共通テスト成績請求票　国公立推薦型選抜用」を貼付せずに郵送し，後日「令和７共通テスト成績請求票　国公立推薦型選抜用」が手元に届き次第郵送すること**（詳細は 56 ページの「９．大学入学共通テスト成績請求票の提出（学校推薦型選抜Ⅱ志願者のみ）」を参照）。

３．推　薦　書

「推薦書記入上の注意」を参照のうえ作成すること。
なお，Word で作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと。

（多文化社会学部）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長崎大学長　　殿

学校

学校長名　　印

下記の者を，貴大学学校推薦型選抜学生募集要項に基づき，責任をもって推薦いたします。

フリガナ		生　年　月　日	
氏　名		平成	年　　月　　日
推薦理由			

人 物	
学 習 態 度	
課 外 活 動 そ の 他	

推 薦 書 記 入 上 の 注 意

推薦理由，人物，学習態度などについての記入は，単に「まじめである」「よく活動する」というような概評ではなく，具体的事実をあげて記入してください。

ワープロ使用の場合は，本学ＨＰ掲載の Word 形式の様式データをダウンロードし，それぞれの欄の枠内に入力してください（Word で作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと）。

Ⅰ　推薦理由
　推薦される理由を具体的に記入してください。
Ⅱ　人物
　人物，性格について本人の特徴をよく表現するような事実を具体的に記入してください。
Ⅲ　学習態度
　主体的に学習に取り組む姿勢について具体的に記入してください。
Ⅳ　課外活動その他
　本人が主体的に実施した活動（例：部活動，異文化・国際交流，ボランティア活動，社会経験等）に関して，特記すべきことがあれば具体的に記入してください。

(教育学部)

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長　崎　大　学　長　殿

立　　学校
学校長名　　公印

下記の者を、貴大学学校推薦型選抜学生募集要項に基づき、責任をもって推薦いたします。

志望学部	教育学部	志望コース等の欄に○をつけてください。		小学校教育コース　学校推薦型選抜 A
				小学校教育コース　学校推薦型選抜 B
				中学校教育コース　文系(国語)
				中学校教育コース　文系(社会)
				中学校教育コース　文系(英語)
				中学校教育コース　理系(数学)
				中学校教育コース　理系(理科)
				幼児教育コース
				特別支援教育コース

フリガナ		生　年　月　日
氏　名		平成　　年　　月　　日

■入学意志確認のお願い

この学生募集では、長崎大学教育学部での学修を自ら強く志望し、合格した場合には必ず入学する志願者を求めています。

志願者に面接のうえ、合格した場合には必ず入学することを確認してください。
確認後、下欄の□にチェックしてください。

□ **志願者が長崎大学教育学部＿＿＿＿＿＿教育コースでの学修を自ら強く志望し合格した場合には、必ず入学することを確認した。**

■　志願者の学習歴・活動歴をふまえて、成績証明書にはあらわれない面などについて、具体的に記載してください。

(1)　本学のカリキュラム履修に必要な基礎学力について

(2)　前項(1)を元にした志願者の思考力・判断力・表現力について

(3)　主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲・態度について

(4)　志願者が教師としての適性を有していると感じた場面について

(5)　その他

記載責任者・職名・氏名(直筆) 問い合せ先

※Ａ４（両面）１枚で作成してください。

（ 経 済 学 部 ）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

立　　学校
学校長名　　印

下記の者を，貴大学学校推薦型選抜学生募集要項に基づき，経済学部に責任をもって推薦いたします。

フリガナ 氏　名		生　年　月　日 平成　　年　　月　　日
推薦理由		

<table>
<tr><td rowspan="3">学

業</td><td>順　　位</td><td>第　1　学　年
位
人中</td><td>第　2　学　年
位
人中</td><td>第　3　学　年
位
人中</td><td>第　4　学　年
位
人中</td></tr>
<tr><td>全体の学習成績の状況</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（特記事項）</td></tr>
<tr><td>人

物</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>課外活動及び生活状況その他</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

推　薦　書　記　入　上　の　注　意

推薦理由，学業，人物，生活状況などについての記入は，単に「まじめである」「よく活動する」というような概評ではなく，具体的事実をあげて記入してください。なお，推薦書の記入にあたってワープロを使用される場合は，本学ＨＰ掲載のWord形式の様式データをダウンロードし，それぞれの欄の枠内に入力してください（Wordで作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと）。

Ⅰ　推薦理由

推薦される理由を具体的に記入してください。

Ⅱ　学業

１．３か年（定時制は４か年）にわたる学年ごとの学年全体での成績順位を記入してください。もし，順位が出ていない場合は，貴校で定めてある順位を記入してください。

２．全体の学習成績の状況の欄は，すべての教科・科目の評定（１～５の５段階）の合計数をすべての評定数で除した数値（小数点以下第２位を四捨五入）を記入してください。

３．授業中の活動状況，勉学の自発性，計画性，持続性，あるいは理解力，創造的思考能力などにつき，なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

４．推薦される根拠となった学業上の特別の事由があれば記入してください。

Ⅲ　人物

調査書の「指導上参考となる諸事項」に基づき，より具体的事項（人物，性格について本人の特性をよく表現するような事実など）を記入してください。

Ⅳ　課外活動及び生活状況その他

１．本人の趣味，特技，生活態度などについて，具体的に記入してください。

２．その他，本人について特記すべき事項があれば記入してください。

〔医学部（医学科）〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

立　　学校

学校長名　　印

下記の者を，貴大学医学部（医学科）の学校推薦型選抜制度に基づき，責任をもって推薦いたします。

記

推　薦　区　分				
学校推薦型選抜ⅡＡ	学校推薦型選抜ⅡＢ	学校推薦型選抜ⅡＣ（佐賀）	学校推薦型選抜ⅡＣ（宮崎）	学校推薦型選抜ⅡＤ

＊　推薦区分は，該当するものを○で囲んでください。
　なお，「学校推薦型選抜ⅡＡ」及び「学校推薦型選抜ⅡＢ」を併願する志願者は，両方を○で囲んだ上で，下の欄に志望順位（１，２）を記入してください。

フリガナ

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

平成　　年　　月　　日生

令和　　年　　月　　日卒業見込み・卒業

<table>
<tr><th colspan="6">推　　薦　　理　　由</th></tr>
<tr><td rowspan="3">学

業</td><td>順　　位</td><td>第　1　学　年</td><td>第　2　学　年</td><td>第　3　学　年</td><td>第　4　学　年</td></tr>
<tr><td></td><td>位
人中</td><td>位
人中</td><td>位
人中</td><td>位
人中</td></tr>
<tr><td>全体の学習成績の状況</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（特記事項）</td></tr>
<tr><td>人

物</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>生
活
態
度
等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

【長崎大学医学部医学科の学校推薦型選抜制度について】

１．教育理念・目標

医学部医学科は，ポンペの言葉「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上，もはや医師は自分自身のものではなく，病める人のものである。もしそれを好まぬなら，他の職業を選ぶがよい。」を建学の基本理念とし，卒業生に以下の学修成果を身につけることを教育目標としています。

・豊かな人間性と高い倫理観を持ち，良好な人間関係を構築できる能力
・医学・医療の基本的知識と技能を有し，チームの一員として診療に参加できる能力
・医科学領域における課題探求・解決能力を有し，論理的思考ができる能力
・グローバルな視点を有し，地域社会および国際社会に貢献できる能力

２．アドミッション・ポリシー

医学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

(1) 入学後の学修に必要な基礎学力を有している。
　医学に関する専門的知識を修得するために必要な科学的素養を広く有する。
　専門的情報を収集・理解する上で必要な日本語および英語の読解力・表現力を有する。
(2) 医学・医療分野の職業に生涯にわたり従事するというプロフェッショナリズムを認知して，強い目的意識と高い志を持つ。また，その実践のために必要な思考力，判断力を有する。
(3) 生命の尊厳を重んじ，高い倫理観と豊かな人間性を持つ。
(4) チーム医療への貢献のために必要な協調性，コミュニケーション能力，リーダーシップと強い責任感を有する。
(5) 広く生命科学分野への探求心を有し，さらに，社会的諸問題や国際問題などへのグローバルな問題意識を常に持つ。
(6) 地域社会における問題点解決に取り組む積極性を有する。

選抜方法に関する別表

入試区分 / 求める資質等	学校推薦型選抜Ⅱ
基礎学力	共通テスト，小論文（ⅡＢのみ），推薦書，調査書
読解力・表現力	共通テスト，小論文（ⅡＢのみ）
コミュニケーション能力	小論文（ⅡＢのみ），面接
思考力・判断力・表現力	共通テスト，小論文（ⅡＢのみ），推薦書，志望理由書
態度・意欲，倫理性・共感性，協調性・リーダーシップ，社会的関心	小論文（ⅡＢのみ），推薦書，志望理由書，調査書，面接

以上を踏まえて，合格した際には入学の確約など，出願要件を遵守できる優秀な生徒をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

推薦書記入上の注意

推薦理由の各項目については，単なる概評ではなく，できるだけ具体的事実をあげて記入してください。新型コロナウイルス感染症対策の影響により，部活動等の大会や資格・検定試験等の成果その他に関して記載できない場合は，必要に応じその成果獲得に向けた努力のプロセス等を記載してください。記載内容については他の出願書類と併せて総合的に評価します。

なお，推薦書の記入にあたってワープロを使用される場合は，本学ＨＰ掲載のWord形式の様式データをダウンロードし，それぞれの欄の枠内に入力してください（Wordで作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと）。

Ⅰ　学　業

１．３か年（定時制は４か年）にわたる学年ごとの学年全体での成績順位を記入してください。もし，順位が出ていない場合は，貴校で定めてある順位を記入してください。

２．全体の学習成績の状況の欄は，すべての教科・科目の評定（１～５の５段階）の合計数をすべての評定数で除した数値（小数点以下第２位を四捨五入）を記入してください。

３．３か年（定時制は４か年）にわたる授業中の活動状況，勉学の創造力，持続力，理論的思考力や特記すべき教科などについて，なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

４．推薦される根拠となった学業上の特別の事由があれば記入してください。

Ⅱ　人　物

調査書の「指導上参考となる諸事項」に基づき，より具体的事項，つまり責任感や協調性並びに他者に対する思いやりなどの性格，及び意欲の面について，本人の特性を良く表現するような事実を踏まえて記入してください。

Ⅲ　生活態度等

課外活動・ボランティア活動・本人の日頃の生活態度，その他学校内外における活躍あるいはリーダーシップなど，特記すべき事項について具体的に記入してください。

〔医学部（保健学科）〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長崎大学長　　殿

立　　学校

学校長名　　印

下記の者を，貴大学医学部（保健学科）の学校推薦型選抜制度出願にふさわしい者と認め，責任をもって推薦いたします。

記

志望専攻　　専攻

＊看護学専攻志望の場合，下記の推薦区分から該当するものを○で囲んでください。

推　薦　区　分	
学校推薦型選抜①（一般推薦枠）	学校推薦型選抜②（離島看護師推薦枠）

フリガナ

氏　　名

平成　　年　　月　　日生

令和　　年　　月　　日卒業見込

推　　薦　　理　　由	
学業	
人物	
課外活動等	

【長崎大学医学部保健学科の学校推薦型選抜制度について】

長崎大学医学部保健学科の教育目標は，生命や人間の尊厳に基づく心豊かな教養を備え，高度な専門的知識・技能を修得し，広く社会に貢献できる資質の高い医療専門職者を育成することにあります。そのために，本学科のカリキュラムは，教養教育から専門教育への４年一貫教育の中で，総合大学の特長を生かした他学部との共修による豊かな教養や自主的かつ創造的な課題探求能力の育成，また，医学科との共修によるチーム医療や統合ケアを学ぶことによって，保健・福祉等の幅広い領域を含む地域・国際医療に貢献できる能力の育成，専門性の確立を目指した実践・教育・研究の基礎的能力の育成，などに焦点を当てて系統的に編成されています。

上記の教育目標を達成するために，基礎的な学力を有し，優れた医療専門職者になろうとする強い意欲と感性にあふれ，他者へのいたわりの気持ち，基本的なマナーや倫理観，協調性を身につけている者の入学を求めています。

以上のことをご配慮いただき，合格した際には入学することを確約できる優秀な生徒をご推薦くださいますようお願い申し上げます。推薦人数につきましては，１学校あたりの推薦人員に制限はありません。

推薦書記入上の注意

推薦理由の各項目については，単なる概評ではなく，できるだけ具体的事実をあげて記入してください。なお，推薦理由欄はできるだけワープロを用いて，本学ＨＰ掲載のWord形式の様式データをダウンロードし，それぞれの欄の枠内に入力してください（Wordで作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと）。

Ⅰ　学　業

３か年（定時制は４か年）にわたる授業中の活動状況，勉学の自発性・持続性，論理的・創造的思考力などについて，なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

推薦される根拠となった特別の事由，例えば本人の特に関心の高い又は得意とする教科などがあれば，記入してください。

Ⅱ　人　物

調査書の「指導上参考となる諸事項」に基づき，より具体的事項，つまり責任感や協調性並びに他者に対する思いやりなどの性格，及び意欲の面について，本人の特性を良く表現するような事実を踏まえて記入してください。

Ⅲ　課外活動等

課外活動・ボランティア活動・語学力・本人の日頃の生活態度，その他学校内外における活躍あるいはリーダーシップなど，特記すべき事項について具体的に記入してください。活動ぶりを示す，新聞・雑誌の記事などの資料や実用英語技能検定の合格証書，TOEIC,TOEFL等のスコアシート等の語学力を証明する証書があれば添付してください。（A4サイズの写し，または，Ａ４用紙に資料を貼付し，新聞名や日付等を記入。）この項目については，特に重視します。

（　歯　学　部　）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

立　　学校
学校長名　　印

下記の者を，貴大学学校推薦型選抜学生募集要項に基づき，歯学部に責任をもって推薦いたします。

フリガナ 氏　名				生　年　月　日 平成　　年　　月　　日	
学 業	順　位	第１学年 位 人中	第２学年 位 人中	第３学年 位 人中	第４学年 位 人中
	全体の学習成績の状況				
	（特記事項）				

人 物	
生 活 態 度 等	

【長崎大学歯学部の学校推薦型選抜制度について】

歯学部の学校推薦型選抜制度の目的は，一般選抜では評価が難しい,問題発見・解決能力,高いコミュニケーション能力,チーム医療を実践できる協調性,豊かな人間性と倫理観を持つ人材を選抜することにあります。本学部の教育は，責任感，社会性，倫理観，豊かな人間性，コミュニケーション能力，協調性，リサーチマインドを備え，先進的な歯科口腔医療に対応できる幅広い知識と基本的技能を身につけた人材を育成することを目的としています。特に，離島等の地域歯科口腔医療について保健・医療・福祉の側面から総合的に考えることができる歯科医師，および高度の専門的知識と経験，課題探求能力を身につけた研究者・教育者の養成を積極的に推進することを目標としています。なお，学校推薦型選抜による入学後は歯学研究コース（大学院の進学を目指す学生を対象とした所定のカリキュラムコースで，第3年次から履修する）を履修し，大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学する者に限ります。

推 薦 書 記 入 上 の 注 意

推薦理由の各項目については，単なる概評ではなく，できるだけ具体的事実をあげて記入してください。なお，推薦書の記入にあたってワープロを使用される場合は，本学ＨＰ掲載のWord形式の様式データをダウンロードし，それぞれの欄の枠内に入力してください（Wordで作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと)。

Ⅰ　学　業

１．３か年（定時制は４か年）にわたる学年時の学年全体での成績順位を記入してください。もし，順位が出ていない場合は，貴校で定めてある順位を記入してください。

２．全体の学習成績の状況の欄は，すべての教科・科目の評定（１～５の５段階）の合計数をすべての評定数で除した数値（小数点以下第２位を四捨五入）を記入してください。

３．３か年（定時制は４か年）にわたる授業中の活動状況，勉学の創造力，持続力，理論的思考力や特記すべき教科などについて，なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

４．推薦される根拠となった学業上の特別の事由があれば記入してください。

Ⅱ　人　物

調査書の「指導上参考となる諸事項」に基づき，より具体的事項，つまり責任感や協調性並びに他者に対する思いやりなどの性格，及び意欲の面について，本人の特性を良く表現するような事実を踏まえて記入してください。

Ⅲ　生活態度等

課外活動・ボランティア活動・本人の日頃の生活態度，その他学校内外における活躍あるいはリーダーシップなど，特記すべき事項について具体的に記入してください。

〔薬学部〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

学校

学校長名　　印

下記の者を，貴大学薬学部の学校推薦型選抜制度に基づき，責任をもって推薦いたします。

記

志　望 学　部	薬　学　部	志望学科を〇で 囲んでください。	・薬　学　科 ・薬 科 学 科

フリガナ

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

平成　　年　　月　　日生

令和　　年　　月　　日卒業見込み・卒業

<table>
<tr><th colspan="6">推　　薦　　理　　由</th></tr>
<tr><td rowspan="3">学

業</td><td>順　　位</td><td>第　1　学　年</td><td>第　2　学　年</td><td>第　3　学　年</td><td>第　4　学　年</td></tr>
<tr><td></td><td>位
人中</td><td>位
人中</td><td>位
人中</td><td>位
人中</td></tr>
<tr><td>全体の学習成績の状況</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（特記事項）</td></tr>
<tr><td>人

物</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>生
活
態
度
等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

推薦書記入上の注意

推薦理由の各項目については，単なる概評ではなく，できるだけ具体的事実をあげて記入してください。なお，推薦書の記入にあたってワープロを使用される場合は，本学ＨＰ掲載のWord形式の様式データをダウンロードし，それぞれの欄の枠内に入力してください（Wordで作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと）。

Ⅰ　学　業

１．３か年（定時制は４か年）にわたる学年ごとの学年全体での成績順位を記入してください。もし，順位が出ていない場合は，貴校で定めてある順位を記入してください。

２．全体の学習成績の状況の欄は，すべての教科・科目の評定（１～５の５段階）の合計数をすべての評定数で除した数値（小数点以下第２位を四捨五入）を記入してください。

３．３か年（定時制は４か年）にわたる授業中の活動状況，勉学の創造力，持続力，理論的思考力や特記すべき教科などについて，なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

４．推薦される根拠となった学業上の特別の事由があれば記入してください。

Ⅱ　人　物

調査書の「指導上参考となる諸事項」に基づき，より具体的事項，つまり責任感や協調性並びに他者に対する思いやりなどの性格，及び意欲の面について，本人の特性を良く表現するような事実を踏まえて記入してください。

Ⅲ　生活態度等

課外活動・ボランティア活動・本人の日頃の生活態度，その他学校内外における活躍あるいはリーダーシップなど，特記すべき事項について具体的に記入してください。

（情報データ科学部）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

立　　学校
学校長名　　印

下記の者を，貴大学学校推薦型選抜学生募集要項に基づき，情報データ科学部に責任をもって推薦いたします。

フリガナ		生 年 月 日
氏　名		平成　　年　　月　　日

令和　　年　　月	卒　業 卒業見込

希望する推薦区分 （〇で囲んでください）	学校推薦型選抜Ⅰ
	学校推薦型選抜Ⅱ

推 薦 理 由 （※）	

（※）特に裏面「推薦書記入上の注意」３を確認のうえ記入してください。

人 物	
学 業	
生 活 態 度 等	

推　薦　書　記　入　上　の　注　意

1．推薦理由，人物等各項目については，学校推薦型選抜制度の趣旨に鑑みて，単なる概評でなくできるだけ具体的事実をあげて記入してください。
2．推薦書の記入にあたってワープロを使用される場合は，本学ＨＰ掲載の Word 形式の様式データをダウンロードし，それぞれの欄の枠内に入力してください（Word で作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと）。
3．「推薦理由」欄には各出願要件に沿った内容を記入してください。
4．「人物」欄には責任感や協調性，物事に対する意欲，本人の特性を良く表現するような事実等を含めて記入してください。
5．「学業」欄には勉学に対する自発性，持続性，理解力，創造的思考能力等について，具体的事実をあげて記入してください。
6．「生活態度等」欄には日頃の生活態度，課外活動，ボランティア活動，その他学校内外における活動等特記すべき事項について具体的に記入してください。

（ 工 学 部 ）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

立　　学校
学校長名　　印

下記の者を，貴大学学校推薦型選抜学生募集要項に基づき，責任をもって推薦いたします。

志望コース等の欄に○を付けてください。		機械工学コース
		電気電子工学コース
		構造工学コース
		社会環境デザイン工学コース
		化学・物質工学コース

フリガナ	
氏　名	
推薦理由	

人 物	
学 習 態 度	
課外活動及び生活状況その他	

推 薦 書 記 入 上 の 注 意

推薦理由，人物等各項目については，学校推薦型選抜制度の趣旨に鑑みて，単なる概評でなく，できるだけ具体的事実をあげて記入してください。なお，推薦書の記入にあたってワープロを使用される場合は，本学ＨＰ掲載の Word 形式の様式データをダウンロードし，それぞれの欄の枠内に入力してください（Word で作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと）。

Ⅰ　推薦理由

推薦される理由を具体的に記入してください。

Ⅱ　人物

本人の特性を良く表現するような事実等，具体的事項を記入してください。

Ⅲ　学習態度

授業中の取組みの姿勢や学習における自発性，計画性，理解力，創造的思考能力等について，なるべく具体的事実をあげて記入してください。

Ⅳ　課外活動及び生活状況その他

日頃の生活態度，課外活動，ボランティア活動，その他学校内外における活動等，特記すべき事項について具体的に記入してください。

（ 環 境 科 学 部 ）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

立　　学校
学校長名　　印

下記の者を，貴大学学校推薦型選抜学生募集要項に基づき，環境科学部に責任をもって推薦いたします。

フリガナ		生 年 月 日
氏　名		平成　　年　　月　　日

令和　　年　　月　卒　業 卒業見込	選抜方法 （〇で囲んでください）	選抜方法Ａ（文系受験）
		選抜方法Ｂ（理系受験）

推 薦 理 由	

人 物	
学 業	
生 活 態 度 等	

推　薦　書　記　入　上　の　注　意

1．推薦理由，人物等各項目については，学校推薦型選抜制度の趣旨に鑑みて，単なる概評でなくできるだけ具体的事実をあげて記入してください。
2．推薦書の記入にあたってワープロを使用される場合は，本学ＨＰ掲載のWord形式の様式データをダウンロードし，それぞれの欄の枠内に入力してください（Wordで作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと）。
3．「人物」欄には責任感や協調性，物事に対する意欲，本人の特性を良く表現するような事実等を含めて記入してください。
4．「学業」欄には勉学に対する自発性，持続性，理解力，創造的思考能力等について，具体的事実をあげて記入してください。
5．「生活態度等」欄には日頃の生活態度，課外活動，ボランティア活動，その他学校内外における活動等特記すべき事項について具体的に記入してください。

（ 水 産 学 部 ）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

立　　学校
学校長名　　印

下記の者を，貴大学学校推薦型選抜学生募集要項に基づき，水産学部に責任をもって推薦いたします。

フリガナ 氏　名		生　年　月　日 平成　　年　　月　　日
推 薦 理 由		

学業		
その他	教育コース名	

【長崎大学水産学部の学校推薦型選抜制度について】

水産学部の学校推薦型選抜制度の目的は，一般選抜では評価が難しい学問への目的意識，創造性，理論的思考力に富む人間性豊かな人材を選抜することにあります。本学部の教育目標は，大学教育における基本的教養と専門の基盤となる幅広い知識を修得させるとともに，海洋環境，海洋生物に代表される水圏に関する基本的な知識及び研究方法を修得させ，水圏と社会の係わりを総合的に判断する力を培い，もって水産学に係る社会の各分野において広く貢献できる人材を養成することです。水産学部の教育研究分野は海洋環境や海洋生物を対象とした単一の分野に見えますが，基礎となる学問分野等により非常に幅広いものとなっています。したがって，入学者には自己の学問への興味によってあらかじめ学習したい分野を理解して志望することを期待しています。

推 薦 書 記 入 上 の 注 意

１．推薦書の記入にあたってワープロを使用される場合は，本学ＨＰ掲載のWord形式の様式データをダウンロードし，それぞれの欄の枠内に入力してください（Wordで作成する場合は，各欄の幅等の体裁を変更しないこと）。

２．推薦理由の欄には，学問への興味，創造性，理論的思考力等をできるだけ具体的事実をあげて記入してください。

３．学業の欄には，得意な学問分野，大学での勉学に対応できる基礎学力に関する評価について記入してください。

４．その他の欄には，121ページに記載する教育コース名を挙げ，本学部において希望する専門分野，将来の進路について記入してください。

〔多文化社会学部〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　望　理　由　書

令和　　年　　月　　日

長崎大学長　　殿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（平成　　年　　月　　日生）

（記入上の注意事項）
1．志望理由書は，本人自筆に限る。
2．志望理由は，この枠内におさめること。（1000 字以内。）
3．記入にあたっては，ボールペン（黒）を使用すること。

私は，貴大学多文化社会学部に入学を希望しますので，ここに志望理由書を提出します。

志望理由（希望の動機，入学後に学びたいこと）

〔医学部（医学科）〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　望　理　由　書

令和　　年　　月　　日

長崎大学長　　殿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（平成　　年　　月　　日生）

（記入上の注意事項）

1．ボールペン（黒）による自筆とし，楷書で丁寧に記入すること。ワープロ不可。コピーでの提出不可
2．志望理由は，この枠内におさめること。経歴の記入欄が不足する場合，最終行に「別紙に続く」と記入し，本様式を更に１枚出力した上で経歴を記載し，署名後，１枚目と併せて提出すること。
3．経歴には，学歴・職歴・賞罰のすべての履歴を空白期間がないよう，退学・退社・予備校・自宅学習などを含めて記入すること。
4．学歴は，高等学校，中等高等学校，特別支援学校高等部又は高等専門学校以降の履歴を記入すること。
5．職歴・賞罰は，必ず「なし」「あり」のいずれかにチェックを付けること。

私は，貴大学医学部（医学科）に入学を希望しますので，ここに志望理由書を提出します。

1．推薦区分

以下の該当するものを○で囲むこと。なお，「学校推薦型選抜ⅡA」及び「学校推薦型選抜ⅡB」を併願する志願者は，両方を○で囲んだ上で，下の欄に志望順位（1，2）を記入すること。

学校推薦型選抜ⅡA	学校推薦型選抜ⅡB	学校推薦型選抜ⅡC（佐賀県）	学校推薦型選抜ⅡC（宮崎県）	学校推薦型選抜ⅡD

2．志望理由（動機，入学後に学びたいこと）

記入欄は裏面へ続く

3．経歴　（注）S：昭和，H：平成，R：令和

「3．経歴」については，P126 を参考に記載すること。

学歴 （高等学校等以降から 予備校・自宅学習などを含めて記載すること。）	いずれかにチェックして高校名を記載すること。 S・H・R　年　月　□　卒業（修了）見込 □　卒業（修了） S・H・R　年　月～S・H・R　年　月 S・H・R　年　月～S・H・R　年　月 S・H・R　年　月～S・H・R　年　月　現在に至る
職歴 いずれかにチェック □　なし □　あり	職歴がある場合は以下に詳細を記載 S・H・R　年　月～S・H・R　年　月 S・H・R　年　月～S・H・R　年　月 S・H・R　年　月～S・H・R　年　月　現在に至る
賞罰 いずれかにチェック □　なし □　あり	賞罰がある場合は以下に詳細を記載 S・H・R　年　月 S・H・R　年　月 S・H・R　年　月

長 崎 大 学 長　殿

上記の記載内容に相違ありません。なお，記載漏れ，虚偽記載が判明した場合，入学許可が取り消されても，異存ありません。

令和　　年　　月　　日

本人による署名

〔医学部（保健学科）〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　望　理　由　書

令和　　年　　月　　日

長崎大学長　　殿

志望専攻＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿専攻

フリガナ

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（平成　　年　　月　　日生）

私は，貴大学医学部（保健学科）に入学を希望しますので，ここに志望理由書を提出します。

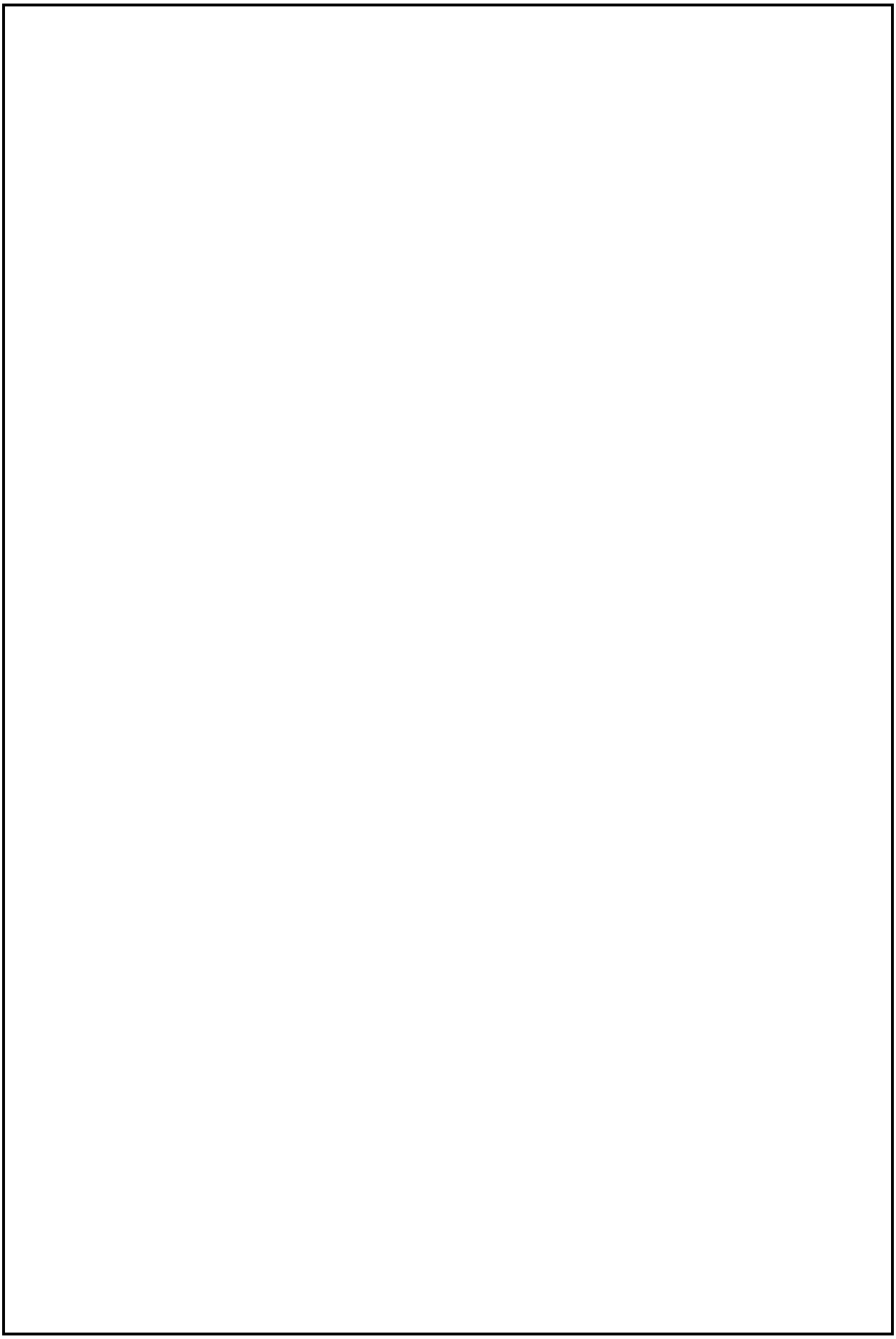
推　薦　区　分	
学校推薦型選抜①（一般推薦枠）	学校推薦型選抜②（離島看護師推薦枠）

＊　看護学専攻志望の場合，上記の推薦区分から該当するものを○で囲んでください。

（注意事項）
1．志望理由書は，本人自筆に限る。
2．字数制限はないが，この用紙の枠内におさめること。
3．記入にあたっては，ボールペン（黒）を使用すること。

志望の動機及び入学後に学びたいこと

記入欄は裏面へ続く



〔歯学部〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　望　理　由　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

フリガナ

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（平成　　年　　月　　日生）

私は，貴大学歯学部に入学を希望しますので，ここに志望理由書を提出します。

志望理由（動機，入学後に学びたいこと）

記入欄は裏面へ続く

（注意事項）
1．ボールペン（黒）による自筆とし，楷書で丁寧に記入すること。
2．志望理由は，この枠内におさめること（800 文字以内）。

〔薬学部〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　望　理　由　書

令和　　年　　月　　日

長崎大学長　　殿

フリガナ

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（平成　　年　　月　　日生）

私は，貴大学薬学部に入学を希望しますので，ここに志望理由書を提出します。

志　望 学　部	薬　学　部	志望学科を〇で 囲んでください。	・薬　学　科 ・薬 科 学 科

志望理由（動機，入学後に学びたいこと）

記入欄は裏面へ続く

（注意事項）
1．ボールペン（黒）による自筆とし，楷書で丁寧に記入すること。
2．志望理由は，この枠内におさめること（800 文字以内）。

（ 情報データ科学部 ）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　望　理　由　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　 殿

フリガナ
氏　　名

（平成　　年　　月　　日生）

推薦区分 （〇で囲んでください）	学校推薦型選抜Ⅰ
	学校推薦型選抜Ⅱ

私は，貴大学情報データ科学部に入学を希望しますので，ここに志望理由書を提出します。

（注意事項）
1．志望理由書は，本人自筆に限る。
2．字数制限はないが，この用紙の枠内におさめること
3．ボールペン（黒）を使用し，楷書で丁寧に記入すること。

志望理由（希望の動機及び入学後に学びたいこと）

記入欄は裏面へ続く

〔工学部〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　望　理　由　書

令和　　年　　月　　日

長崎大学長　　殿

フリガナ

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（平成　　年　　月　　日生）

私は，貴大学工学部に入学を希望しますので，ここに志望理由書を提出します。

志望コース等の欄に○を付けてください。		機械工学コース
		電気電子工学コース
		構造工学コース
		社会環境デザイン工学コース
		化学・物質工学コース

（注意事項）
1．志望理由書は，本人自筆に限る。
2．この用紙の枠内におさめること。（800字以内。）
3．記入にあたっては，ボールペン（黒）を使用すること。

志望理由（動機，入学後に学びたいこと）

記入欄は裏面へ続く

（環　境　科　学　部）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　望　理　由　書

令和　　年　　月　　日

長　崎　大　学　長　　殿

フリガナ
氏　　名

（平成　　年　　月　　日生）

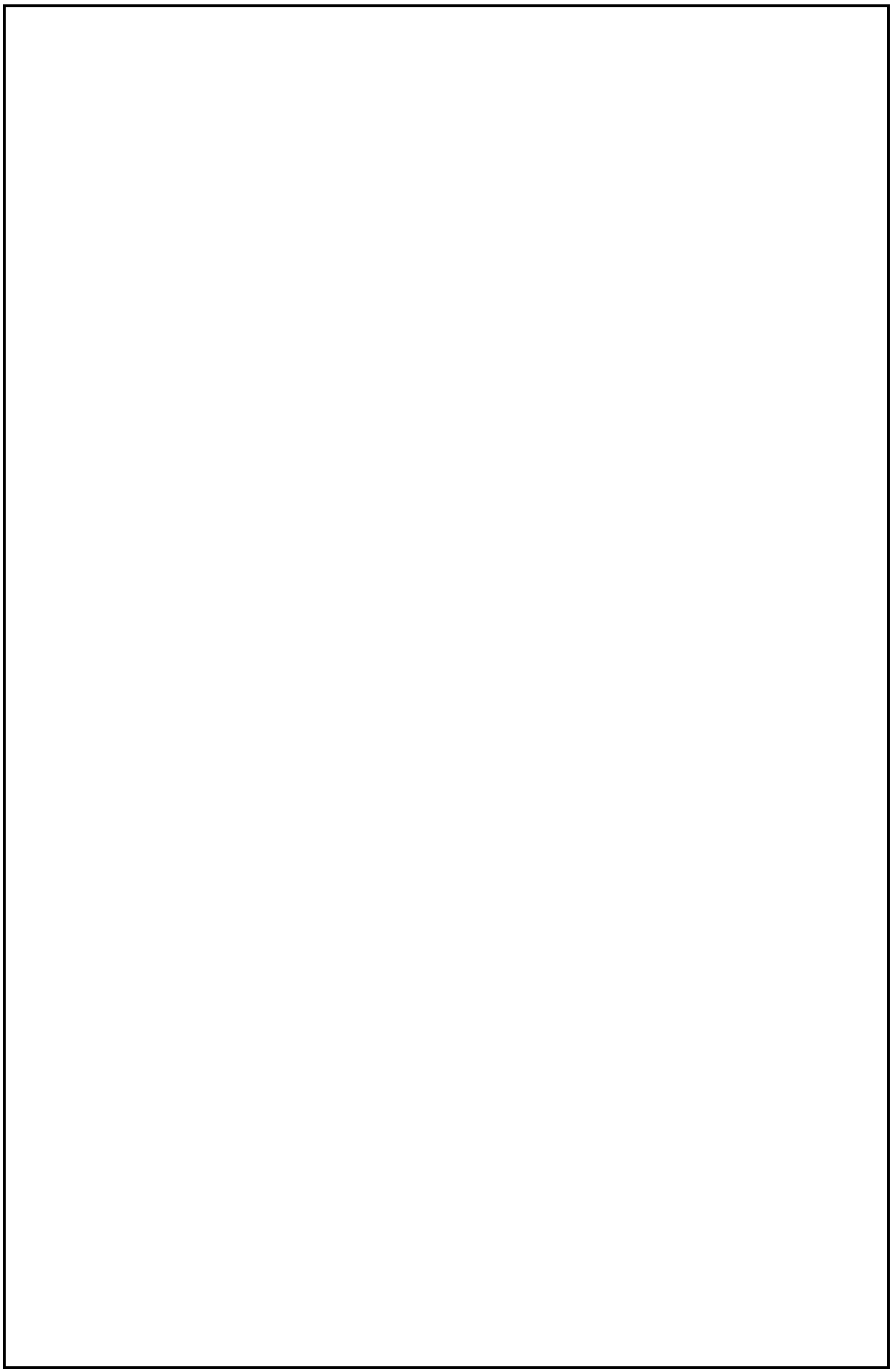
選抜方法 （〇で囲んでください）	選抜方法Ａ（文系受験）
	選抜方法Ｂ（理系受験）

私は，貴大学環境科学部に入学を希望しますので，ここに志望理由書を提出します。

（注意事項）
１．本人自筆に限る。
２．字数制限はないが，この用紙の枠内におさめること。
３．ボールペン（黒）で記入すること。
４．選抜方法は，該当するものを〇で囲むこと。

希望の動機及び入学後に学びたいこと

記入欄は裏面へ続く



（水 産 学 部）

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　望　理　由　書

令和　　年　　月　　日

長 崎 大 学 長　　殿

フリガナ

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（平成　　年　　月　　日生）

私は，貴大学水産学部に入学を希望しますので，ここに志望理由書を提出します。

（ア）水産学部を希望した理由及び入学後に学びたい分野（「長崎大学案内」及び「長崎大学水産学部案内」を参考に，学びたい教育コースを明確にすること。）や卒業後の進路等と，（イ）学校時代経験したことやあなた自身のことなどを自由な気持ちで書いてください。〔（ア）及び（イ）の両方について記入すること。〕

（注意事項）

１．志望理由書は，本人の自筆に限る。

２．この用紙の枠内におさめること。

３．記入にあたっては，ボールペン（黒）を使用すること。

【　長崎大学水産学部の教育コース　】

３つの教育コースの内容について

① 水圏環境資源コース

水圏環境資源コースでは海洋の環境と生物資源，非生物資源について総合的に学習し，海の生態系サービスの持続的な利用や，地域の持続可能な発展に貢献できる人材を育成する。

② 水圏生命科学コース

水圏生命科学コースでは，海洋生物の特性を明らかにし，食品開発とフードセキュリティ，有用物質の開発，種の保存と増養殖技術への応用等を通じて，プラネタリーヘルスに貢献できる人材を育成する。

③ 海洋未来創生コース

海洋未来創生コースでは長崎の地域の課題を研究題材として，新しい価値創造や地域発展モデルを開発し，世界に発信する。

〔多文化社会学部〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

プレゼンテーション資料

フリガナ

氏名

（平成　　年　　月　　日生）

（作成上の注意事項）

1. 手書き，コンピューター作成のいずれも可とする。なお，文字の大きさ・色・フォント等については指定しない。
2. 図やイラストの使用を認める。
3. **提出時は両面印刷とし，ページ枚数は２枚（両面印刷で１枚）以内とすること。**また提出された書類については大学側で印刷・準備するため，当日の持参は不要とする。
4. 試験当日は，出願時に提出した「プレゼンテーション資料」を基にプレゼンテーションをおこなうこと。パソコンを含め，他の備品や資料等の持ち込みは認めない。ただし，面接室に設置するホワイトボードは任意で使用することができる。
5. 出願後の資料修正は認めない。
6. この「作成上の注意事項」の欄は，提出時に削除してもかまわない。

（歯 学 部）

確　約　書

令和　　年　　月　　日

長崎大学歯学部長　殿

私は、長崎大学歯学部に出願するにあたって下記の事項を確約します。

記

１．歯学研究コースを履修します。
２．歯学部卒業後、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学します。

以上

平成　　年　　月　　日生

フ リ ガ ナ

本人氏名……

保護者氏名……

※ 必ず黒ボールペンで記入し、本人及び保護者が署名して下さい。

〔薬学部（薬学科）：学校推薦型選抜Ⅱ〕

受　験　番　号
※

※欄は記入しないこと。

志　　願　　調　　書

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（平成　　年　　月　　日生）

（記入上の注意事項）

1．ボールペン（黒）による自筆とし，楷書で丁寧に記入すること。ワープロ不可。コピーでの提出不可
2．志望理由は，この枠内におさめること。経歴書の記入欄が不足する場合，最終行に「別紙に続く」と記入し，本様式を更に１枚出力した上で経歴を記載し，署名後，１枚目と併せて提出すること。
3．経歴書には，学歴・職歴・賞罰のすべての履歴を空白期間がないよう，退学・退社・予備校・自宅学習などを含めて記入すること。
4．学歴は，高等学校，中等教育学校，特別支援学校高等部又は高等専門学校以降の履歴を記入すること。
5．**職歴・賞罰は，必ず「なし」「あり」のいずれかにチェックを付けること。**

１．本学科を志望する理由（志望理由書の要約）

２．経歴（注）S：昭和，H：平成，R：令和

学歴 （高等学校等以降から**予備校・自宅学習などを含めて**記載すること。）	**いずれかにチェックして高校名を記載すること。**	
	R　年　月　□	卒業（修了）見込
	R　年　月　□	卒業（修了）
	R　年　月	
	R　年　月	
	R　年　月	
	R　年　月	
	R　年　月	現在に至る。
職歴 **いずれかにチェック** □　なし □　あり	職歴がある場合は以下に詳細を記載	
	S・H・R　年　月～S・H・R　年　月	
	S・H・R　年　月～S・H・R　年　月	
	S・H・R　年　月～S・H・R　年　月	現在に至る。
賞罰 **いずれかにチェック** □　なし □　あり	賞罰がある場合は以下に詳細を記載	
	S・H・R　年　月	
	S・H・R　年　月	
	S・H・R　年　月	

長 崎 大 学 長　殿

上記の記載内容に相違ありません。なお，記載漏れ，虚偽記載が判明した場合，入学許可が取り消されても，異存ありません。

令和　　年　　月　　日

本人による署名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※以下は記入例です。記入上の注意事項とチェックポイントを確認し、不備のない書類を作成してください。
なお、不備のある書類では出願が受理できないことがあります。そのため、作成には万全を期してください。

〔薬学部（薬学科）：学校推薦型選抜Ⅱ〕

受験番号
※

※欄は記入しないこと。

志願調書

氏名 長崎太郎 （平成18年4月21日生）

（記入上の注意事項）
1．ボールペン（黒）による自筆とし，楷書で丁寧に記入すること。ワープロ不可。コピーでの提出不可
2．志望理由は，この枠内におさめること。経歴書の記入欄が不足する場合，最終行に「別紙に続く」と記入し，
様式を更に1枚出力した上で経歴を記載し，署名後，1枚目と併せて提出すること。
3．経歴書には，学歴・職歴・賞罰のすべての履歴を空白期間がないよう，退学・退社・予備校・自宅学習などを含
めて記入すること。
4．学歴は，高等学校，中等教育学校，特別支援学校高等部又は高等専門学校以降の履歴を記入すること。
5．**職歴・賞罰は，必ず「なし」「あり」のいずれかにチェックを付けること。**

チェックポイント①
必ず注意事項を読むこと

1．本学科を志望する理由（志望理由書の要約）

幼刀
いを
療
知識
教
えたいという思
通して，地域医
場で必要とされる
れ寄り添い，
ています。

チェックポイント②
「本学科を志望する理由」（志望理由書の要約）は必ず1枚に収めること。理由を2枚以上で作成した場合は不備書類です。

2．経歴書（注）S：昭和，H：平成，R：令和

学歴 （高等学校等以降から**予備校・自宅学習などを含めて**記載すること。）	**いずれかにチェックして高校名を記載すること。**	
	R 6年 3月	□ 卒業（修了）見込
		☑ ○○高等学校 卒業（修了）
	R 6年 4月	○○予備校 入学
	R 年 月	
	R 年 月	
	R 年 月	
	R 年 月	現在に至る。
職歴 **いずれかにチェック** ☑ なし □ あり	職歴がある場合は以下に詳細を記載 S・H・R 年 月～S・H・R 年 月 S・H・R 年 月 S・H・R 年 月 現在に至る。	
賞罰 **いずれかにチェック** ☑ なし □ あり	詳細を記載 S・H・R 年 月 S・H・R 年 月	

チェックポイント③
全ての履歴において空白期間が無いように書くこと。

チェックポイント④
必ず「職歴」「賞罰」のなし、ありにチェックをすること。

長崎大学長 殿

上記の記載内容に相違ありません。なお，記載漏れ，虚偽記載が判明した場合，入学許可が取

令和 ○ 年 △ 月 □ 日

本人による署名 長崎太郎

チェックポイント⑤
日付けと本人による署名を漏らさないこと。未記入は不備書類です。

大学入学共通テスト指定教科・科目確認表（学校推薦型選抜Ⅱ）

志望する学部・学科等により大学入学共通テストの指定教科・科目が異なるので，十分確認すること。
なお，大学入学共通テストにおいて，志望する学部・学科等が指定した教科・科目を全科目受験していなければ，本学・学部に出願できないので，十分注意すること。

〇印は必須科目を表す。選択科目は選択範囲及び選択数に留意すること。

学部・学科等 ＼ 大学入学共通テスト 教科・科目等			国語	地理歴史，公民						数学①		数学②	理科					外国語					情報
			国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理基礎／化学基礎	生物基礎／地学基礎	物理	生物	化学	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
多文化社会学部	多文化社会学科		〇	1選択						1選択			1選択					1選択					〇
教育学部	小学校教育コース		〇	1又は2選択（注1）（注2）						1選択			1又は2選択（注2）（注3）					1選択					〇
	中学校教育コース	文系	〇	2選択（注1）														1選択					
		理系									〇	〇	2選択（注3）					1選択					
	幼児教育コース		〇	1選択																			
	特別支援教育コース			1選択																			
医学部	医学科		〇	1選択							〇	〇		2選択				1選択					〇
	保健学科		〇							1選択		〇	1選択（注4）					1選択					〇
歯学部	歯学科		〇	1選択							〇	〇		2選択				1選択					〇
薬学部	薬学科										〇	〇		1選択	〇			1選択					〇
	薬科学科										〇	〇		1選択	〇			1選択					〇
情報データ科学部	情報データ科学科										〇	〇		1選択				〇					〇
工学部	工学科										〇	〇		〇			〇						〇
環境科学部	環境科学科	選抜方法A（文系受験）	〇	1選択						1選択		〇	1選択					1選択					〇
		選抜方法B（理系受験）	〇	1選択							〇	〇	1選択					1選択					〇
水産学部	水産学科		〇	1選択							〇	〇	2選択（注3）					1選択					〇

※「地理総合／歴史総合／公共」及び「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については2つを選択解答するため，選択解答した2つを1科目として採用する。

（注1）「地理歴史，公民」を2科目選択する場合
(1)「公共，倫理」と「公共，政治・経済」を選択することはできない。
(2)「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合は，選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称（「地総」と「地総，地探」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。

（注2）「地理歴史，公民」から2科目及び理科から1科目選択，又は「地理歴史，公民」から1科目及び理科から2科目選択の合計3科目選択となる。

（注3）「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する際に，同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。

（注4）「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」については，地学基礎を除く『物理基礎／化学基礎／生物基礎』から2つを選択解答することとし，選択解答した2つを1科目として採用する。

大学入学共通テスト受験教科・科目チェック表

（受験する教科・科目全てに〇印を付けて確認すること。）

大学入学共通テスト 教科・科目等	国語	地理歴史，公民						数学①		数学②	理科					外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理基礎／化学基礎	生物基礎／地学基礎	物理	生物	化学	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
受験する科目																					

旧教育課程履修者で「旧教育課程による出題科目（経過措置）」を希望した者は，7ページを参照のうえ，次ページの表についても大学入学共通テストで受験する教科・科目全てに〇印を付けて確認すること。

大学入学共通テスト 教科・科目等	地理歴史						公民				数学						情報
											数学①		数学②				
	旧世界史A	旧世界史B	旧日本史A	旧日本史B	旧地理A	旧地理B	旧現代社会	旧倫理	旧政治・経済	旧倫理，旧政・経済	旧数学Ⅰ	旧数学Ⅰ・旧数学A	旧数学Ⅱ	旧数学Ⅱ・旧数学B	旧簿記・会計	旧情報関係基礎	旧情報
受験する科目																	

旧教育課程とは，平成21年3月告知の高等学校学習指導要領に基づく課程をいう。
新教育課程とは，平成30年3月告知の高等学校学習指導要領に基づく課程をいう。
上表は，旧教育課程履修者が希望する場合に選択できる旧教育課程による出題科目である（旧教育課程履修者も，新教育課程による出題科目を選択できる。）。

学校推薦型選抜以外の 募集要項 公表時期

一般選抜学生募集要項 （11月下旬発表）	※　左記の時期に下記のＵＲＬに募集要項を掲載いたします。 （掲載先ＵＲＬ） https://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/selection/ ※　冊子等の紙媒体での配布等はいたしません。 出願書類準備の際は，各自で印刷しご準備ください。 ※お問い合わせ先 〒 852－8521　長崎市文教町１番１４号 長崎大学学生支援部入試課 TEL.095-819-2113　FAX.095-819-2112
社会人選抜学生募集要項 （9月上旬発表）	
外国人留学生選抜学生募集要項 （9月上旬発表）	